

長岡京市まちづくりのための
市民・地域活動団体アンケート調査
報告書

令和元（2019）年
長岡京市

【目次】

市民アンケート調査

1. 調査概要	1
2. 調査結果概要	2
3. 調査結果	8
1. 回答者属性	8
(1) 年代と性別	8
(2) 居住小学校区	9
(3) 転入歴	10
(4) 居住開始時期	10
(5) 職業と従業地・通学地	11
2. 長岡京市の住み心地について	12
(1) 定住意向とその理由	12
(2) 長岡京市で自慢・誇りに思うこと	15
3. 市の政策について	17
(1) 各政策の満足度	17
(2) 各政策の重要度	18
(3) 各政策の満足度と重要度	19
(4) 各政策の今後の方向性	31
(5) 各政策分野の満足度・重要度・今後の方向性・特に重要と思う取組み	32
■ 柱1『こども』政策分野 1～4	32
■ 柱2『くらし』政策分野 5～8	37
■ 柱3『かがやき』政策分野 9～11	41
■ 柱4『まち』政策分野 12～15	46
■ 柱5『みどり』政策分野 16～19	54
■ 柱6『けいえい』政策分野 20～21	59

4. 地域との関わりについて	62
(1) 近所付き合いの状況	62
(2) 「人への信頼」に関する考え方	64
(3) 地域・団体活動への参加状況	65
(4) 地域・団体活動に「参加したくない」と思った経験の有無	68
5. 市政への関わりについて	71
(1) 市政への意見の反映方法	71
(2) 知りたい市政の情報	73
(3) 市政情報の入手方法	75
6. 防災について	77
(1) 災害発生時等の災害・防災に関する情報の入手手段	77
(2) 充実させることで災害・防災に関する情報を得やすくなる手段	78
(3) 地区で実施している防災活動の認知	79
(4) 過去 5 年以内の防災訓練などへの参加状況	80
7. 空き家について	81
(1) 周囲の迷惑になっている近隣の空き家への対応	81
(2) 持ち家の将来の対応	81
8. 行財政改革について	82
(1) 行政サービスと市民負担の在り方	82
(2) 行財政改革として優先すべきこと	84
9. 自由記述について	87

地域活動団体アンケート調査

1. 調査概要	92
2. 調査結果	93
【地域活動団体】	
(1) 団体の概況.....	93
(2) 団体活動を通じて感じた長岡京市の現状.....	95
(3) 団体の活動にあたっての問題点・課題と対応策	96
(4) 団体の活動に対して市に期待／協力したい取組み.....	97
(5) 地域や団体の活動が活発化するために大切なこと	97
(6) これからの長岡京市のまちづくりについて	98
【自治会】	
(1) 自治会活動を行う上で、特に課題となっていること	99
(2) 自治会活動に関連し、市に期待する取組み、市と協力して進めたい取組み	102
資料編	104

市民アンケート調査

1. 調査概要

① 調査の目的

この調査は「長岡京市第4次総合計画」の策定から5年が経過し、令和2年度に「第1期基本計画」が目標年度を迎えることから、次期計画となる「第2期基本計画」を策定するにあたって、まちづくりに対する評価やニーズ等の市民意見を広く把握することを目的に実施しました。

② 調査の対象

【調査対象】長岡京市在住の18歳以上の市民

【選定方法】無作為抽出

抽出数：3,000人

抽出基準日：令和元年7月1日 現在

③ 調査の方法

調査は無記名とし、令和元年7月25日（木）～8月9日（金）を調査期間として、郵送により実施しました。

④ 回収の状況

有効回収数：1,084件／有効回答率：36.1%

⑤ 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、本結果が母集団（長岡京市の18歳以上人口）の意識や課題としてどの程度の精度があるものなのかを以下の数式で求めました。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を対象を変えて行った場合に、100回中95回は同様の結果が得られると考えてもよい）の水準を求めることが一般的とされており、これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出しました。この結果、標本誤差=2.95%（小数第3位四捨五入）となり、母集団の回答は今回のアンケート調査結果の±2.95%の区間に95%の確率で存在すると言えます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

±1.96：信頼度95%の時の係数

N：母集団数（調査時点の長岡京市の18歳以上人口：67,432） n：標本数（有効回答数：1,084）

P：標本測定値0.5（50%（0.5）のときに最大となるため0.5で計算）

2. 調査結果概要

(1) 回答者属性について

「70 歳代」が最も多く約 2 割、次いで「40 歳代」が 1.5 割強、「60 歳代」が約 1.5 割、「女性」が 5 割強、「男性」が 4.5 割となっています。

居住小学校区は、「長岡第五小学校区」が最も多く約 2 割、次いで「神足小学校区」「長岡第九小学校区」が約 1 割などとなっています。

転入者が約 8.5 割を占め、居住開始時期は、「昭和 41～50 年」が最も多く約 2 割、「平成 8～17 年」が約 1.5 割、「平成 18 年～27 年」が 1.5 割となっています。

(2) 長岡京市の住み心地について

① 定住意向とその理由について

定住意向（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は約 9 割で、その理由として「生活利便性が高い」「自然環境が良い」が上位となっています。

転居希望（「移りたい」と「できれば移りたい」の合計）は 1 割未満で、その理由として「個人的な事情」「生活利便性が低い」「娯楽や文化が不足している」「地域への愛着がない」が上位となっています。

年代別にみると「18 歳～29 歳」において他の年代よりも定住意向が低く、年代が上がるにつれて、定住意向がより強くなっています。

小学校区別による定住意向の差はみられません。

② 長岡京市で自慢・誇りに思うことについて

長岡京市で自慢・誇りに思うことは、「交通の利便性」が最も多く約 6.5 割、次いで「歴史的景観」「季節の花々」が約 5 割などとなっています。

前回調査においても「交通の利便性」が最も多くなっています。

(3) 市の政策について

① 各政策の満足度について

『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）は「水資源」が最も多く 3 割強、次いで「環境共生」「産み育てる環境」「就学前教育・保育」が約 3 割、「保健・医療」が 2.5 割強などとなっています。

一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は、「道路・交通」が 3.5 割、次いで「市街地」が約 2.5 割、「社会保障」「魅力発信」が約 1.5 割、「産業」が 1.5 割などとなっています。

② 各政策の重要度について

『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）は、「産み育てる環境」が最も多く約 6.5 割、次いで「道路・交通」が 6 割強、「就学前教育・保育」「市街地」が 5.5 割強などとなっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）は、「魅力発信」が最も多く 0.5 割強などとなっています。

③ 各政策の満足度と重要度について

政策ごとに、現在の満足度、今後のまちづくりにおける重要度を 5 段階で評価する問いを設けています。

それぞれの設問において、結果の加重平均を求め、2 軸 4 象限にプロットすることで、各政策について、満足度と重要度の関係性を評価しました。

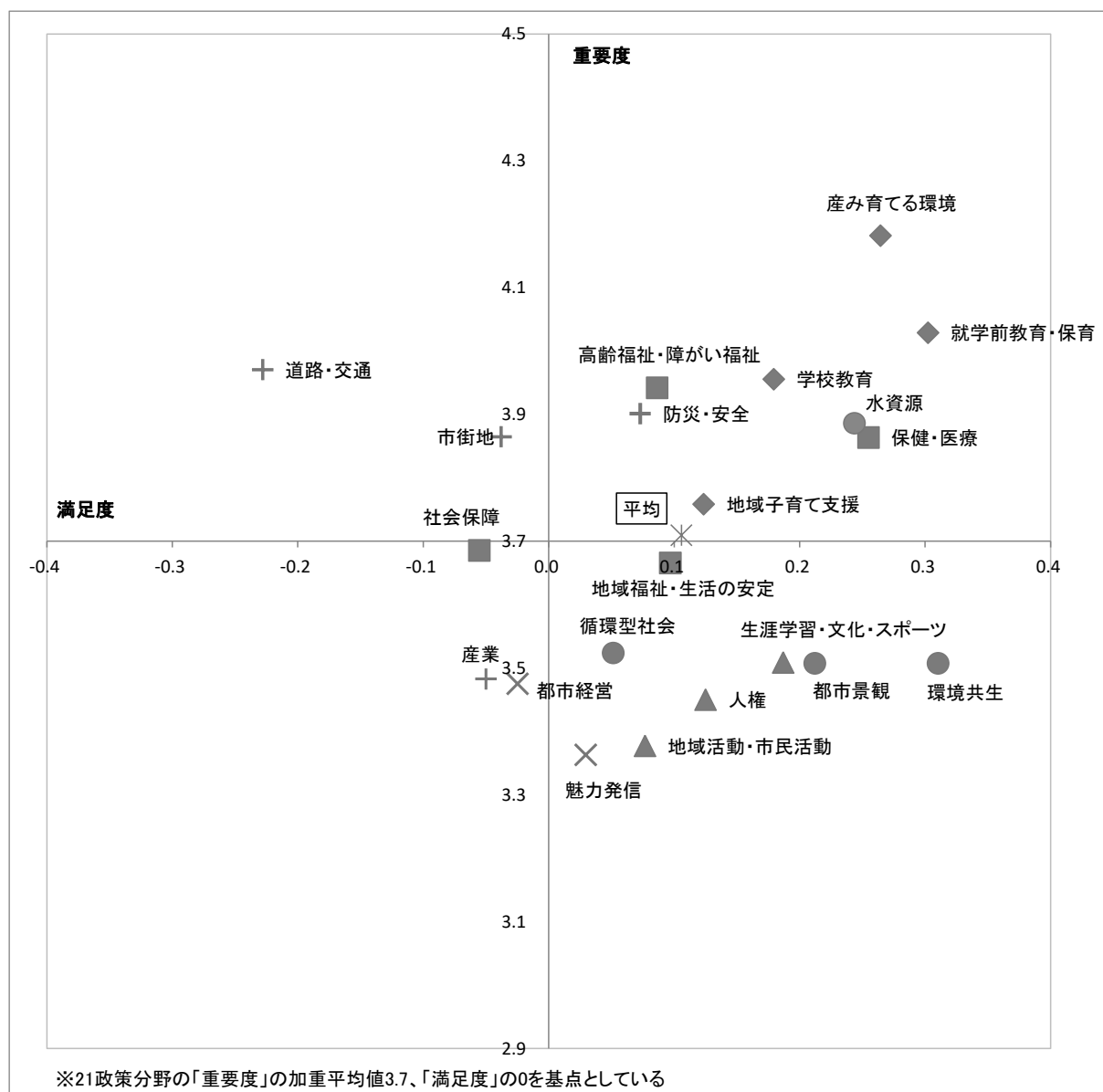
【「満足度」「重要度」ともに高い政策分野】

「産み育てる環境」「就学前教育・保育」「学校教育」「地域子育て支援」
「高齢福祉・障がい福祉」「保健・医療」
「防災・安全」
「水資源」

【「満足度」が低く「重要度」が高い政策分野】

「道路・交通」「市街地」

【各政策の満足度と重要度】



※21政策分野の「重要度」の加重平均値3.7、「満足度」の0を基点としている

※ 満足度については、「満足」+2、「やや満足」+1、「普通」0、「やや不満」-1、「不満」-2、また、重要度については、「重要」+5、「やや重要」+4、「普通」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

【凡例】

- 柱1『こども』分野（◆）
- 柱2『くらし』分野（■）
- 柱3『かがやき』分野（▲）
- 柱4『まち』分野（+）
- 柱5『みどり』分野（●）
- 柱6『けいえい』分野（×）

④ 各政策の今後の方向性について

『拡充』（「拡充」と「やや拡充」の合計）は、「道路・交通」が最も多く約 6 割、次いで「高齢者福祉・障がい福祉」「市街地」が約 5.5 割、「産み育てる環境」「防災・安全」が約 5 割などとなっています。

一方、『縮小』（「やや縮小」と「縮小」の合計）は、「魅力発信」が最も多く 0.5 割、次いで「社会保障」「地域活動・市民活動」などとなっています。

（４）地域・団体の活動・市政への参加・地域との関わりについて

① 近所付き合いについて

「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が最も多く 4.5 割、次いで「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」が 3.5 割強などとなっています。

② 人への信頼について

「人に対する信頼度」の平均点は 3.65、「同じ地域に住む人への信頼度」の平均点は 3.75、「同じ地域の人困っている際に手助けをするか」の平均点は 4.32 となっています。

③ 地域・団体活動への参加状況について

「参加している」は「自治会の活動」が最も多く約 4.5 割、次いで「スポーツ・文化活動」が 2.5 割強などとなっています。

「地域コミュニティ協議会の活動」は「参加していない」が約 7.5 割となっています。

また、前回調査と比較し、すべての活動において参加状況が高くなっています。

（５）市政への関わりについて

① 市政への意見の反映方法について

「アンケート調査があれば回答したい」が最も多く約 6 割、次いで「市長・市役所や議員に任せる」が 1.5 割強などとなっています。

② 知りたい市政情報について

「新しい制度や手続き」が最も多く約 5.5 割、次いで「将来構想の内容」が約 4.5 割などとなっています。

③ 市政情報の入手方法について

「市の広報紙」が最も多く約 8.5 割、次いで「自治会などの回覧板」が 3.5 割強などとなっています。

(6) 防災について

① 災害発生時等の災害・防災に関する情報の入手手段について

「テレビ」が最も多く約 8 割、次いで「スマートフォンアプリ」が約 4 割、「電子メール（市防災情報お知らせメール）」が 3.5 割強などとなっています。

② 充実させることで災害・防災に関する情報を得やすくなる手段について

「テレビ」が最も多く約 6 割、次いで「電子メール（市防災情報お知らせメール）」が約 4 割、「スマートフォンアプリ」が約 3.5 割などとなっています。

③ 地区で実施している防災活動の認知について

「防災訓練」が最も多く 5 割強、次いで「地域での避難場所・経路の指定」が 3 割強などとなっています。一方で、「わからない」が 2.5 割強となっています。

④ 過去 5 年以内の防災訓練などへの参加状況と不参加の理由について

「どれも参加・体験したことがない」が最も多く約 6 割、その理由として「訓練などがあることを知らなかった」が最も多く約 4.5 割となっています。

参加したことの防災訓練は、「自治会など主催の防災訓練」が最も多く約 2.5 割となっています。

(7) 空き家について

① 周囲の迷惑になっている近隣の空き家への対応について

「市役所に相談する」が最も多く約 5 割、次いで「何もしない」が 1.5 割強、「自治会長や民生児童委員に相談する」が約 1.5 割などとなっています。

② 持ち家の将来の対応について

「子や親族間で事前に話し合う」「子や親族に任せる」が約 2.5 割となっています。また、「考えていない」が約 1 割などとなっています。

（８）行財政改革について

① 行政サービスと市民負担のあり方について

「市民の負担を増やさないようにするべきであり、そのためなら行政サービスを削減してもよい」が最も多く 3.5 割強、次いで「行政サービスを維持するべきであり、そのためなら市民の負担が増えてもよい」が 2.5 割強などとなっています。

② 行財政改革として優先すべきこと

「行政サービスの見直しや統廃合」「職員数の適正化」が約 4 割、「公共工事の見直しや経費の削減」が 3.5 割強などとなっています。

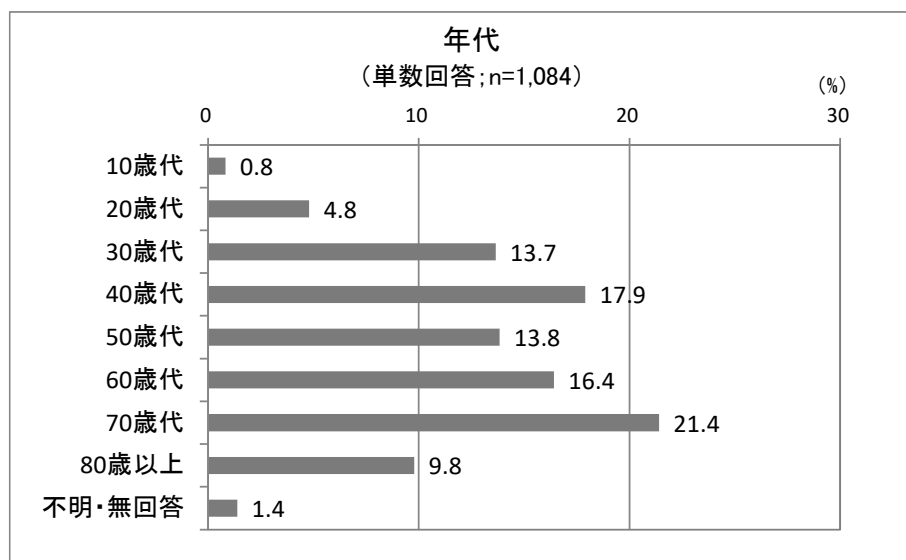
前回調査と比較すると、「職員数の適正化」が少なくなっています。

3. 調査結果

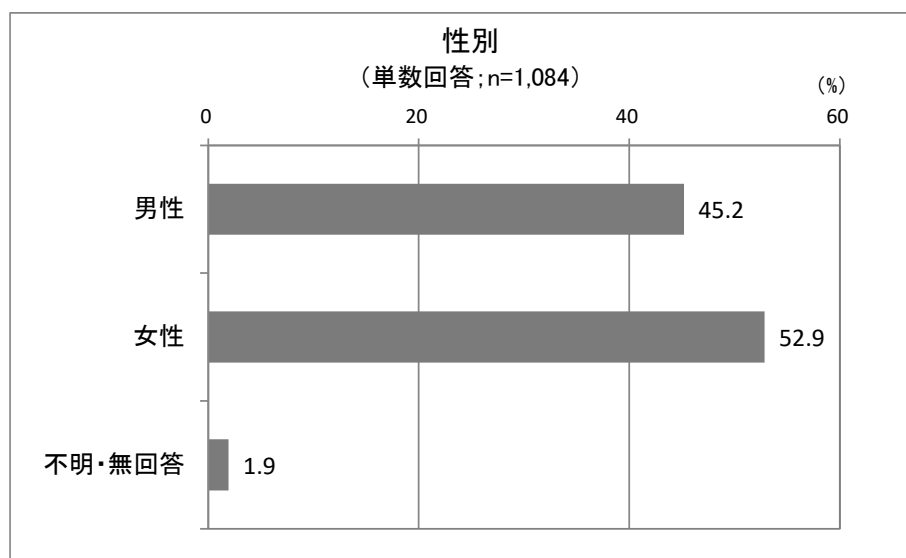
1. 回答者属性

(1) 年代と性別

「70 歳代」が最も多く 21.4%、次いで「40 歳代」が 17.9%、「60 歳代」が 16.4%、「50 歳代」が 13.8%などとなっています。

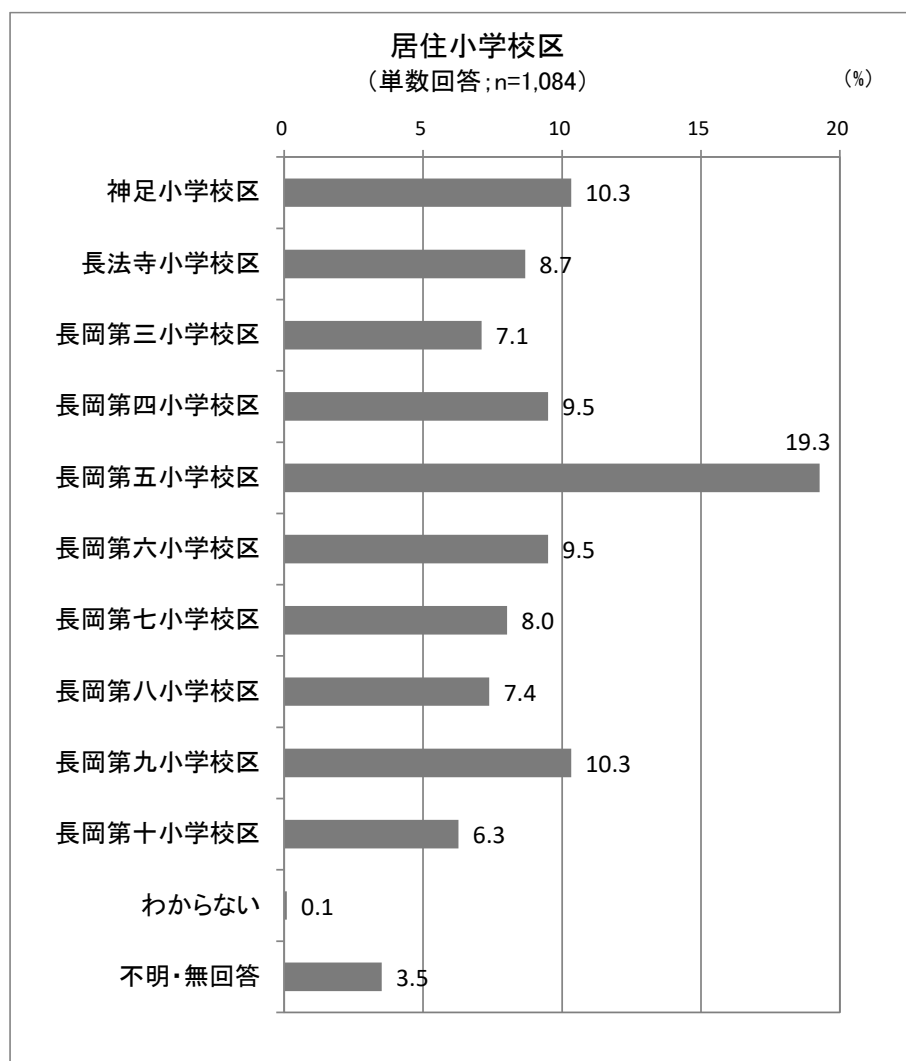


「女性」が 52.9%、「男性」が 45.2%となっています



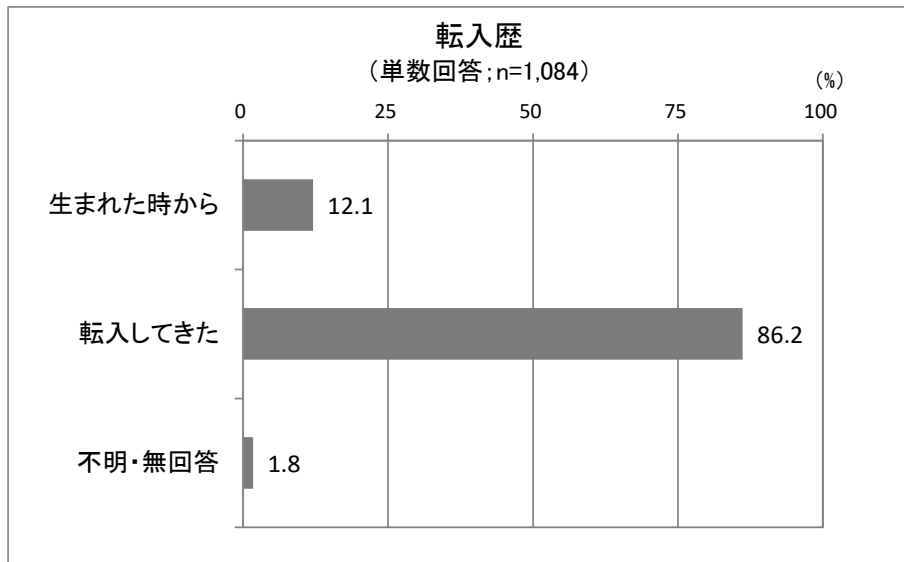
(2) 居住小学校区

「長岡第五小学校区」が最も多く 19.3%、次いで「神足小学校区」「長岡第九小学校区」が 10.3%などとなっています。



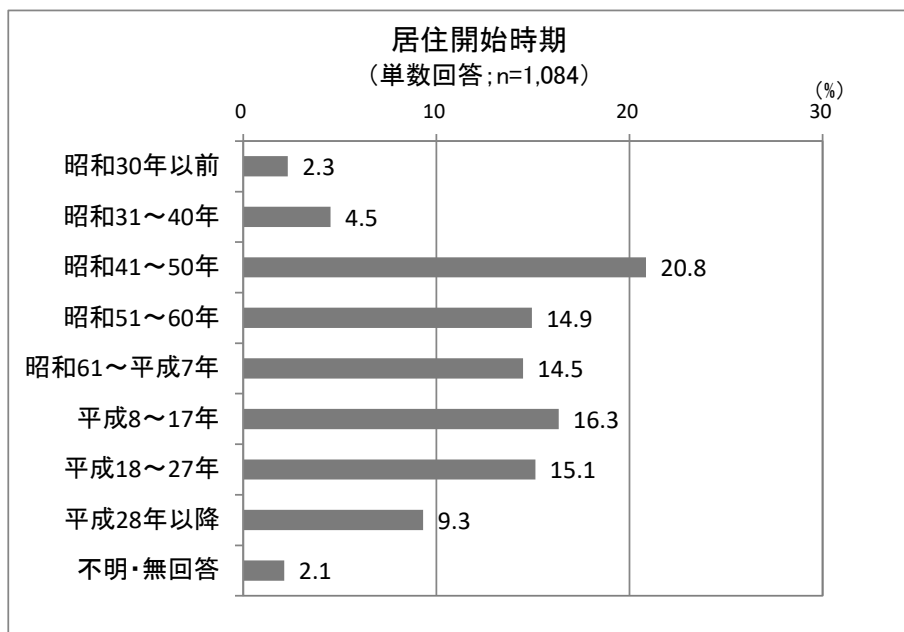
(3) 転入歴

「転入してきた」が86.2%、次いで「生まれた時から」が12.1%となっています。



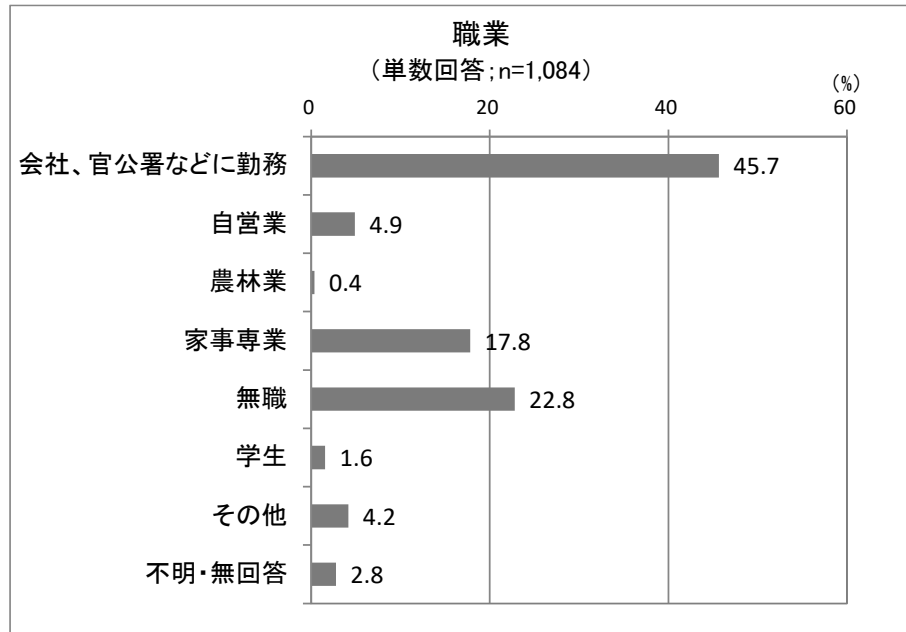
(4) 居住開始時期

「昭和41～50年」が最も多く20.8%、次いで「平成8～17年」が16.3%、「平成18～27年」が15.1%などとなっています。



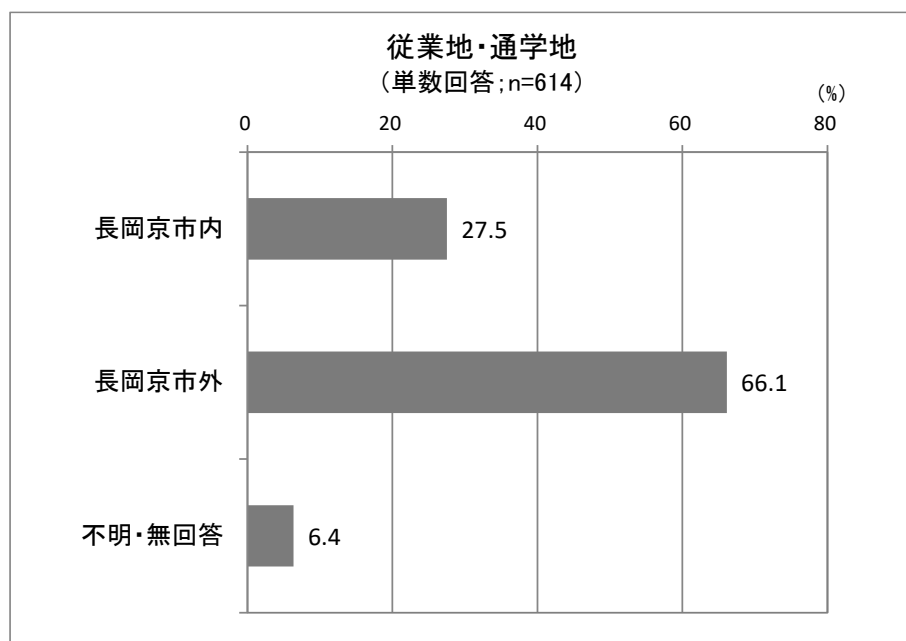
(5) 職業と従業地・通学地

「会社、官公署などに勤務」が最も多く 45.7%、次いで「無職」が 22.8%などとなっています。



【従業地・通学地】

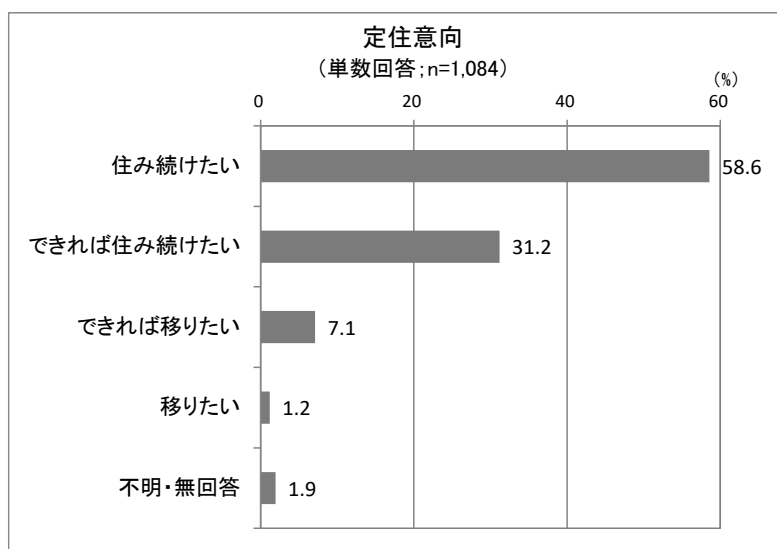
「長岡京市外」が 66.1%、「長岡京市内」が 27.5%となっています。



2. 長岡京市の住み心地について

(1) 定住意向とその理由

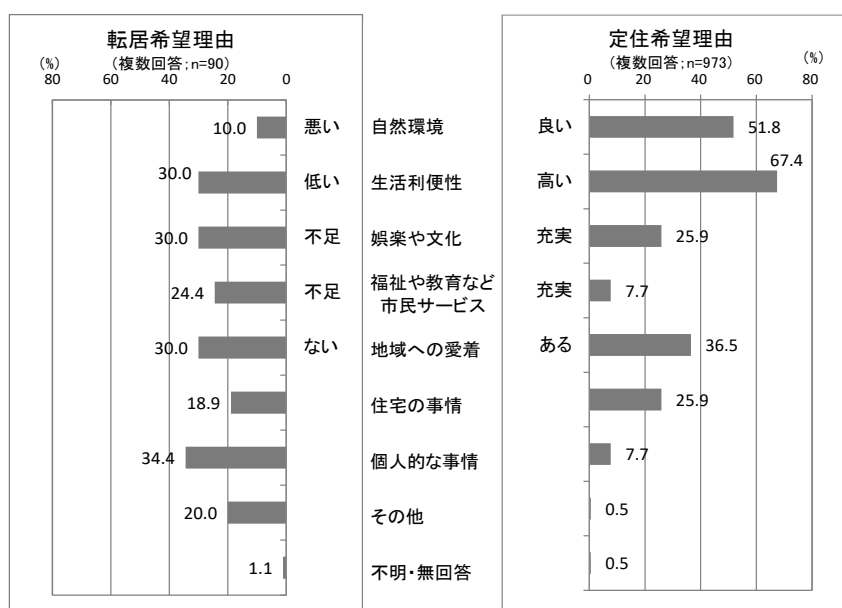
「住み続けたい」が最も多く 58.6%、次いで「できれば住み続けたい」が 31.2%となっています。一方、「できれば移りたい」が 7.1%、「移りたい」が 1.2%などとなっています。



【定住希望理由・転居希望理由】

定住希望理由は「生活利便性が高い」が最も多く 67.4%、次いで「自然環境が良い」が 51.8%、「地域への愛着がある」が 36.5%などとなっています。

転居希望理由は「個人的な事情」が最も多く 34.4%、次いで「生活利便性が低い」「娯楽や文化が不足している」「地域への愛着がない」が 30.0%などとなっています。

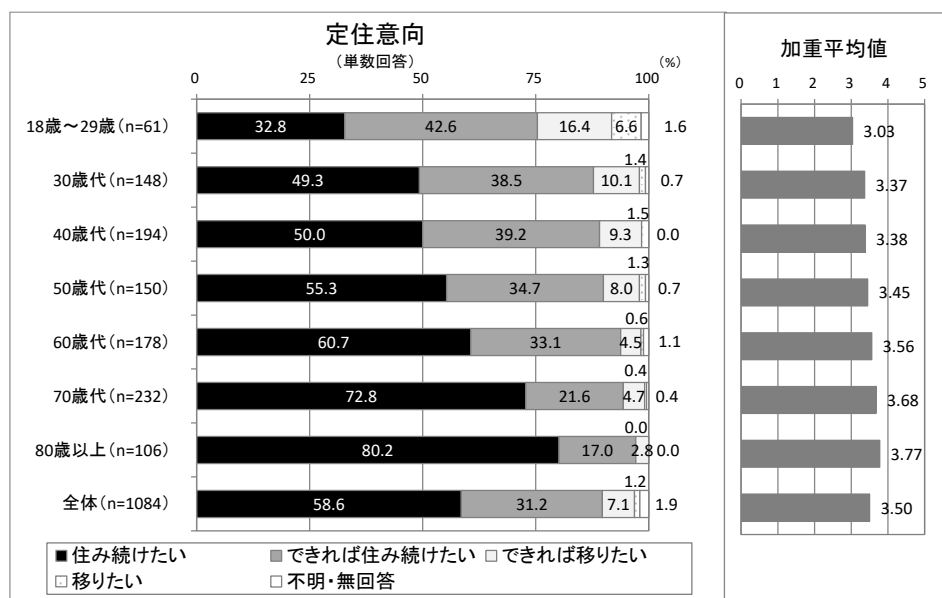


<年齢別>

『住み続けたい』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）がすべての年代で75%を越えています。

また、「18歳～29歳」では「移りたい」が他の年代よりも多くなっています。

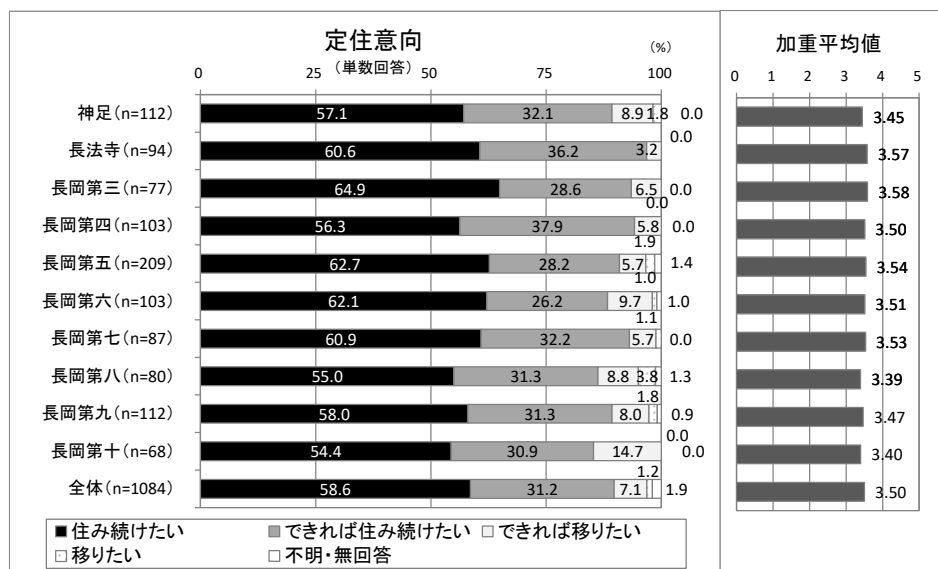
加重平均値でみると、「18～29歳」の定住意向が最も低く、年代が上がるにつれて、定住意向がより強くなっています。



※ 「住み続けたい (4点)」「できれば住み続けたい (3点)」「できれば移りたい (2点)」「移りたい (1点)」として加重平均値を算出した

<小学校区別>

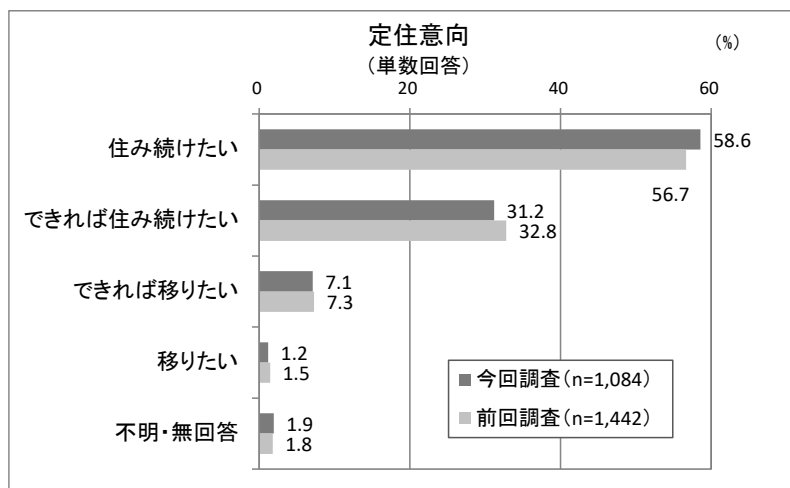
『住み続けたい』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）がすべての小学校区で85%を越えています。なお、小学校区別による差はみられません。



※ 「住み続けたい (4点)」「できれば住み続けたい (3点)」「できれば移りたい (2点)」「移りたい (1点)」として加重平均値を算出した

■ 前回調査との比較

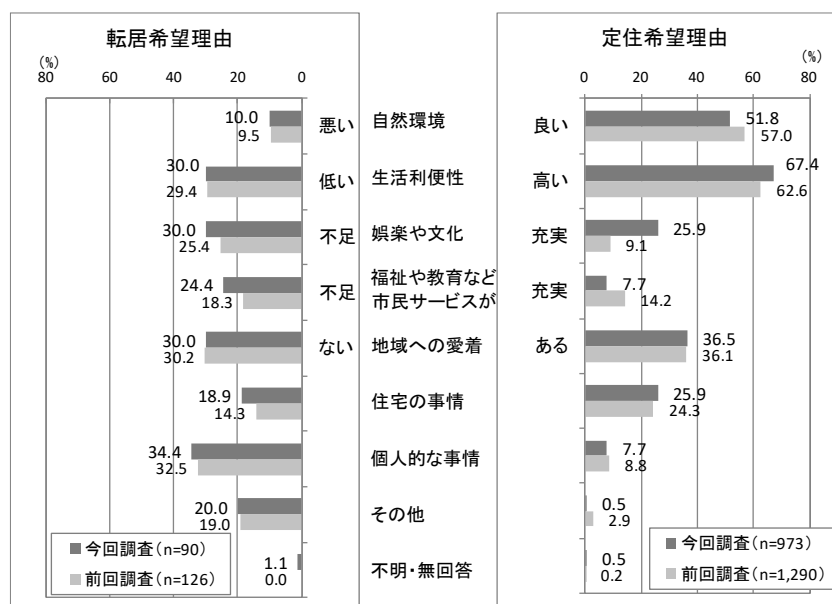
前回調査、今回調査ともに「住み続けたい」が最も多くなっています。なお、「住み続けたい」について、前回調査と今回調査で差はみられません。



【定住希望理由・転居希望理由】

定住希望理由について、前回調査、今回調査ともに「通勤・通学や買物など生活する上で便利がよいから」が最も多くなっています。

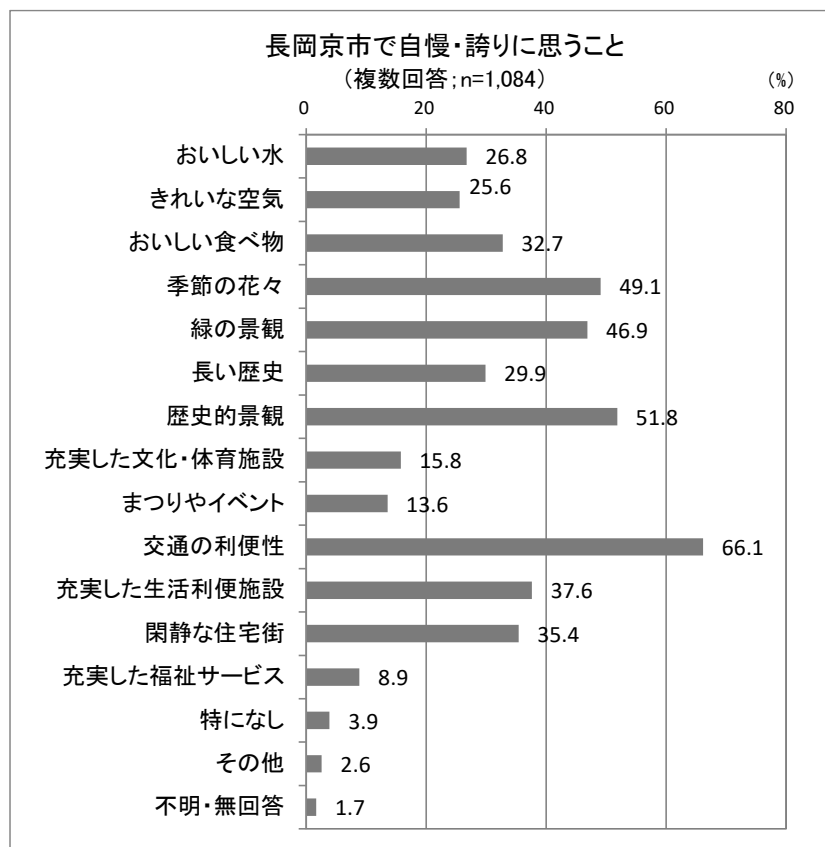
転居希望理由について、前回調査、今回調査ともに「個人的な事情で」が最も多くなっています。



※ 上記の「前回調査」の数値について、前回調査の結果報告書「長岡京市第4次総合計画資料編」では、「不明・無回答」を含めない計算方法のため上記の数値とは異なる。

(2) 長岡京市で自慢・誇りに思うこと

「交通の利便性」が最も多く 66.1%、次いで「歴史的景観」が 51.8%、「季節の花々」が 49.1% などとなっています。



■ 年代別（上位 3 位）

「80 歳以上」を除くすべての年代で「交通の利便性」が第 1 位となっています。

(%)

	18～29 歳	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	全体
第 1 位	交通の利便性 63.9	交通の利便性 68.9	交通の利便性 62.4	交通の利便性 74.0	交通の利便性 70.2	交通の利便性 65.9	季節の花々 67.0	交通の利便性 66.1
第 2 位	歴史的景観 42.6	歴史的景観 48.0	歴史的景観 43.3	歴史的景観 50.0	緑の景観 61.8	季節の花々 64.2	歴史的景観 63.2	歴史的景観 51.8
第 3 位	季節の花々 37.7	季節の花々／ 閑静な住宅街 37.8	季節の花々 40.7	緑の景観 47.3	歴史的景観 60.1	緑の景観 58.6	交通の利便性 62.3	季節の花々 49.1

■ 前回調査との比較（上位 5 位）

(%)

	今回調査		前回調査	
第 1 位	交通の利便性	66.1	交通の利便性	62.6
第 2 位	歴史的景観	51.8	季節の花々	58.6
第 3 位	季節の花々	49.1	歴史的景観	58.0
第 4 位	緑の景観	46.9	緑の景観	51.2
第 5 位	充実した生活利便施設	37.6	おいしい食べ物	39.4

※ 上記の「前回調査」の数値について、前回調査の結果報告書「長岡京市第 4 次総合計画資料編」では、「不明・無回答」を含めない計算方法のため上記の数値とは異なる。

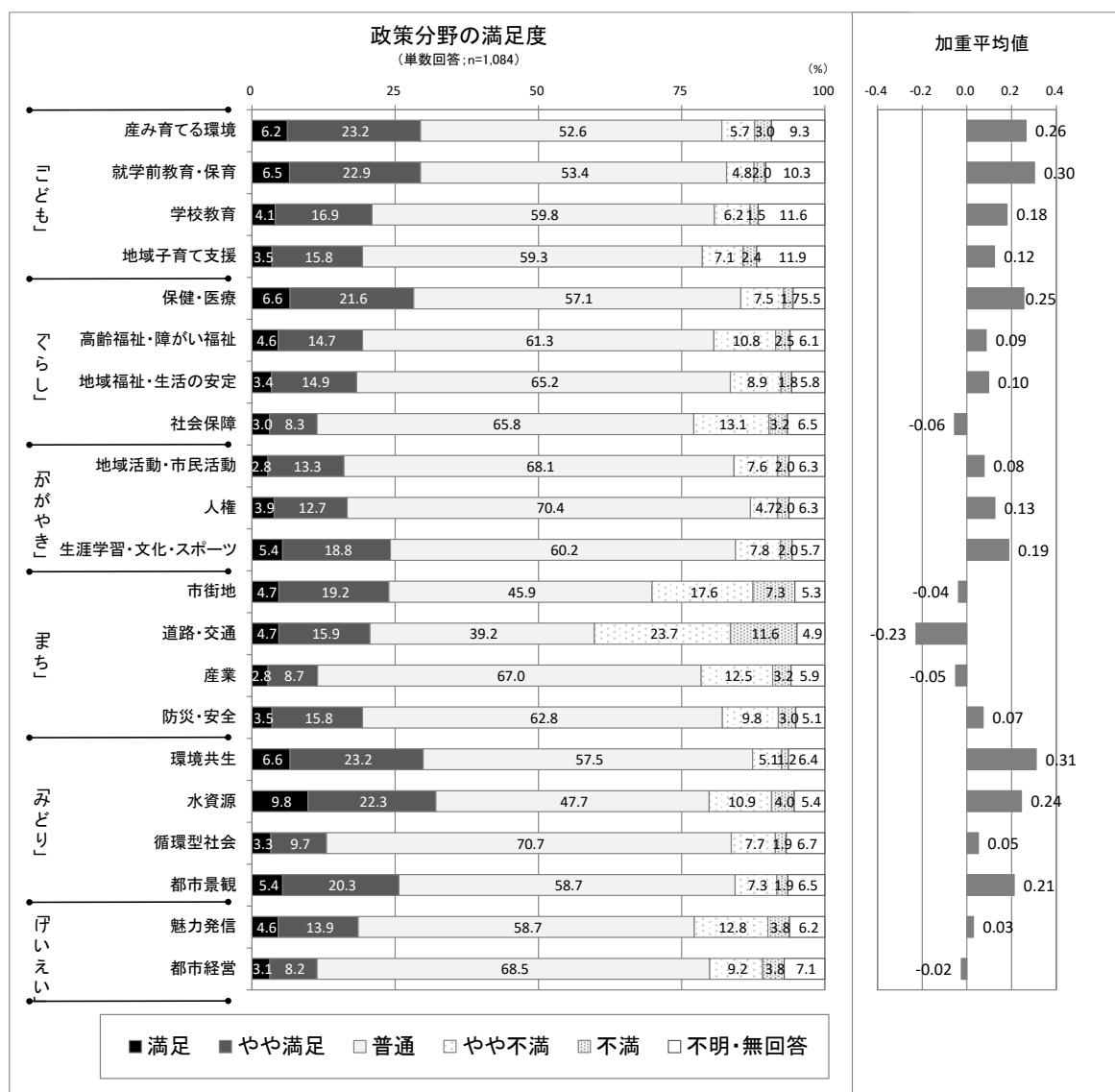
3. 市の政策について

(1) 各政策の満足度

『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）は「水資源」が最も多く 32.1%、次いで「環境共生」が 29.8%、「産み育てる環境」「就学前教育・保育」が 29.4%、「保健・医療」が 28.2% などとなっています。

一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は、「道路・交通」が 35.3%、次いで「市街地」が 24.9%、「魅力発信」が 16.6%、「社会保障」が 16.3%、「産業」が 15.7% などとなっています。

加重平均値でみると、「環境共生」が最も高く 0.31、次いで「就学前教育・保育」が 0.30、「産み育てる環境」が 0.26 などとなっています。一方、「道路・交通」が最も低く -0.23、次いで「社会保障」が -0.06、「産業」が -0.05 などとなっています。



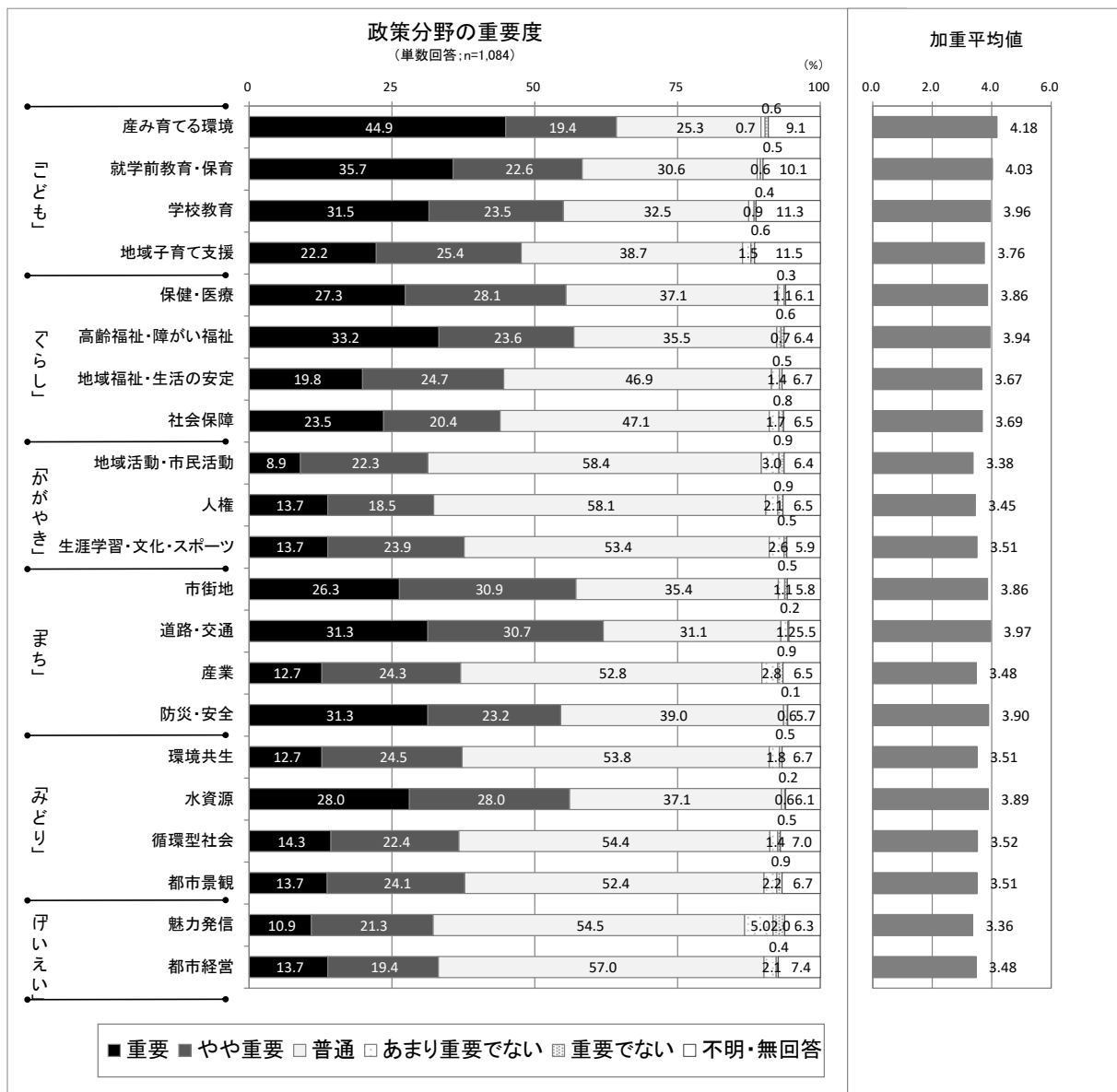
※ 加重平均は「満足」+2、「やや満足」+1、「普通」0、「やや不満」-1、「不満」-2 の加重評点を与えて平均点を算出しています。

(2) 各政策の重要度

『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）は、「産み育てる環境」が最も多く 64.3%、次いで「道路・交通」が 62.0%、「就学前教育・保育」が 58.3%、「市街地」が 57.2%などとなっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）は、「魅力発信」が最も多く 7.0%、「地域活動・市民活動」が 3.9%、「産業」が 3.7%、「都市景観」が 3.1%などとなっています。

加重平均値でみると、「産み育てる環境」が最も高く 4.18、次いで「就学前教育・保育」が 4.03、「道路・交通」が 3.97 などとなっています。



※ 加重平均は「重要」+5、「やや重要」+4、「普通」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

(3) 各政策の満足度と重要度

■ 全体

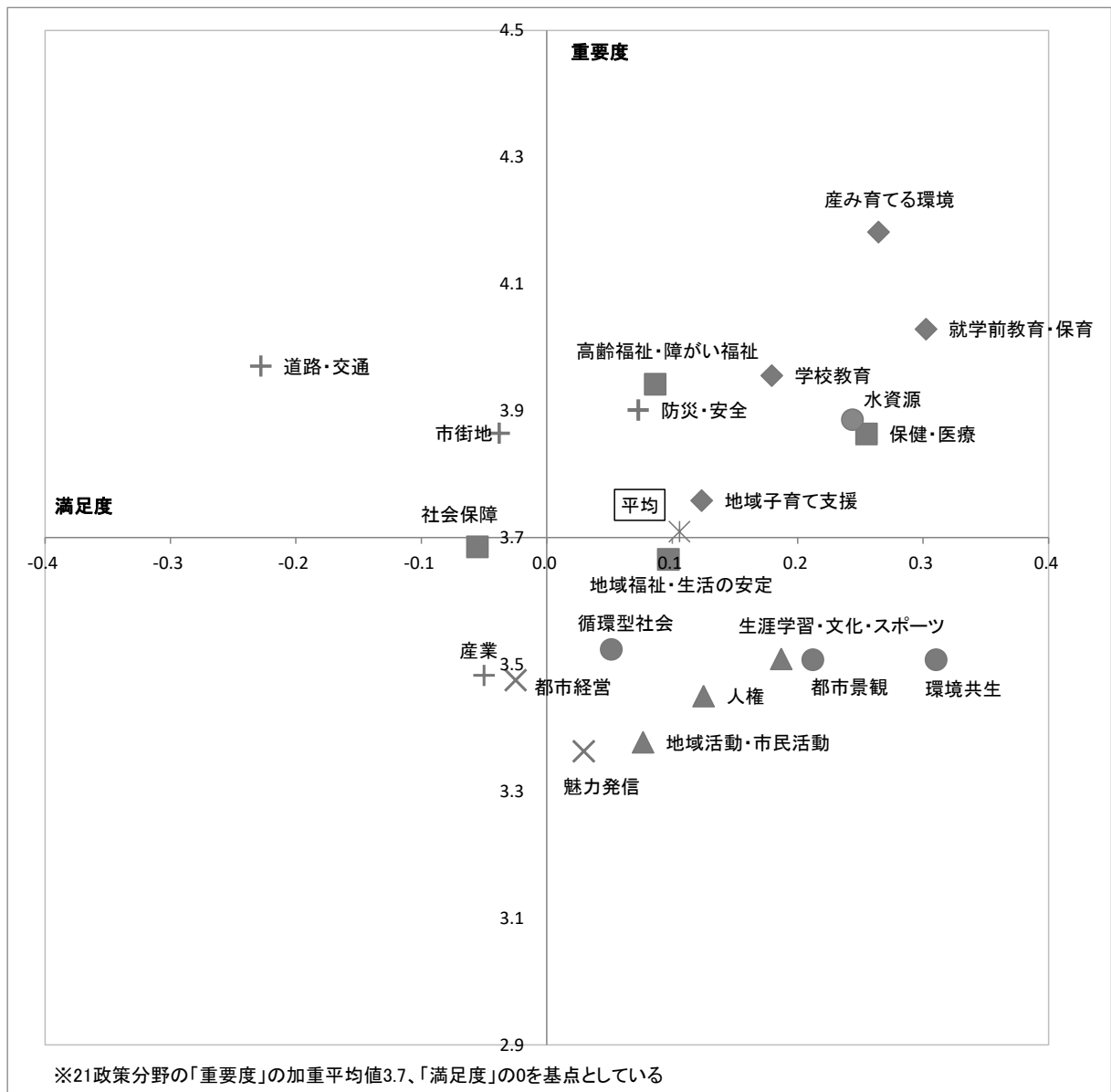
それぞれの設問において、結果の加重平均を求め、2軸4象限にプロットすることで、各政策について、満足度別にみた重要度を評価しました。

なお加重平均は、満足度については、「満足」+2、「やや満足」+1、「普通」0、「やや不満」-1、「不満」-2、また、重要度については「重要」+5、「やや重要」+4、「普通」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

＜分野：カッコ内は図中の記号＞

【柱1 『こども』 政策分野1～4】(◆) 1. 産み育てる環境 2. 就学前教育・保育 3. 学校教育 4. 地域子育て支援	【柱4 『まち』 政策分野12～15】(+) 12. 市街地 13. 道路・交通 14. 産業 15. 防災・安全
【柱2 『くらし』 政策分野5～8】(■) 5. 保健・医療 6. 高齢福祉・障がい福祉 7. 地域福祉・生活の安定 8. 社会保障	【柱5 『みどり』 政策分野16～19】(●) 16. 環境共生 17. 水資源 18. 循環型社会 19. 都市景観
【柱3 『かがやき』 政策分野9～11】(▲) 9. 地域活動・市民活動 10. 人権 11. 生涯学習・文化・スポーツ	【柱6 『けいえい』 政策分野20～21】(×) 20. 魅力発信 21. 都市経営

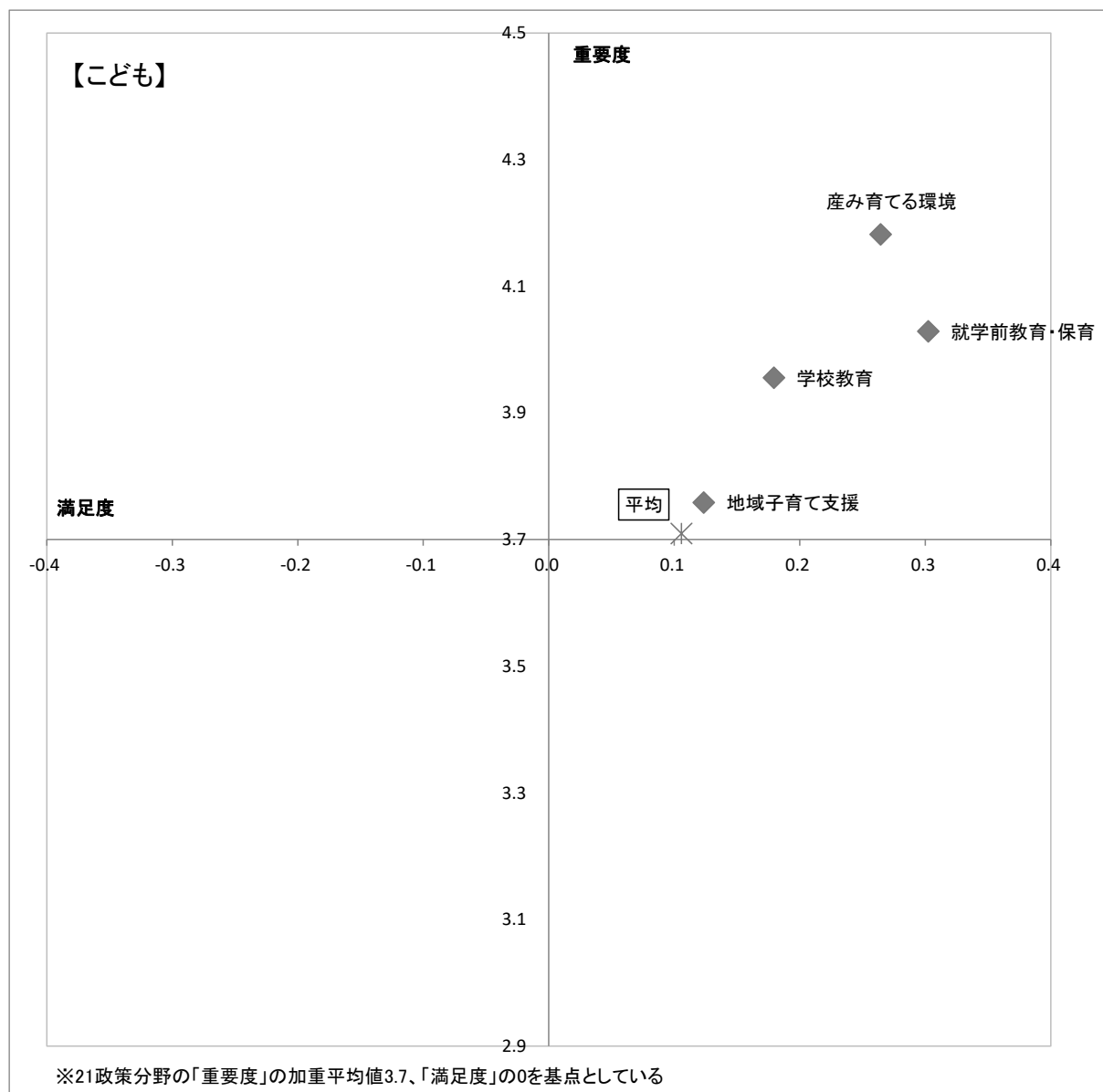
「道路・交通」「市街地」は重要度が高く、満足度が低くなっています。



■ 柱別

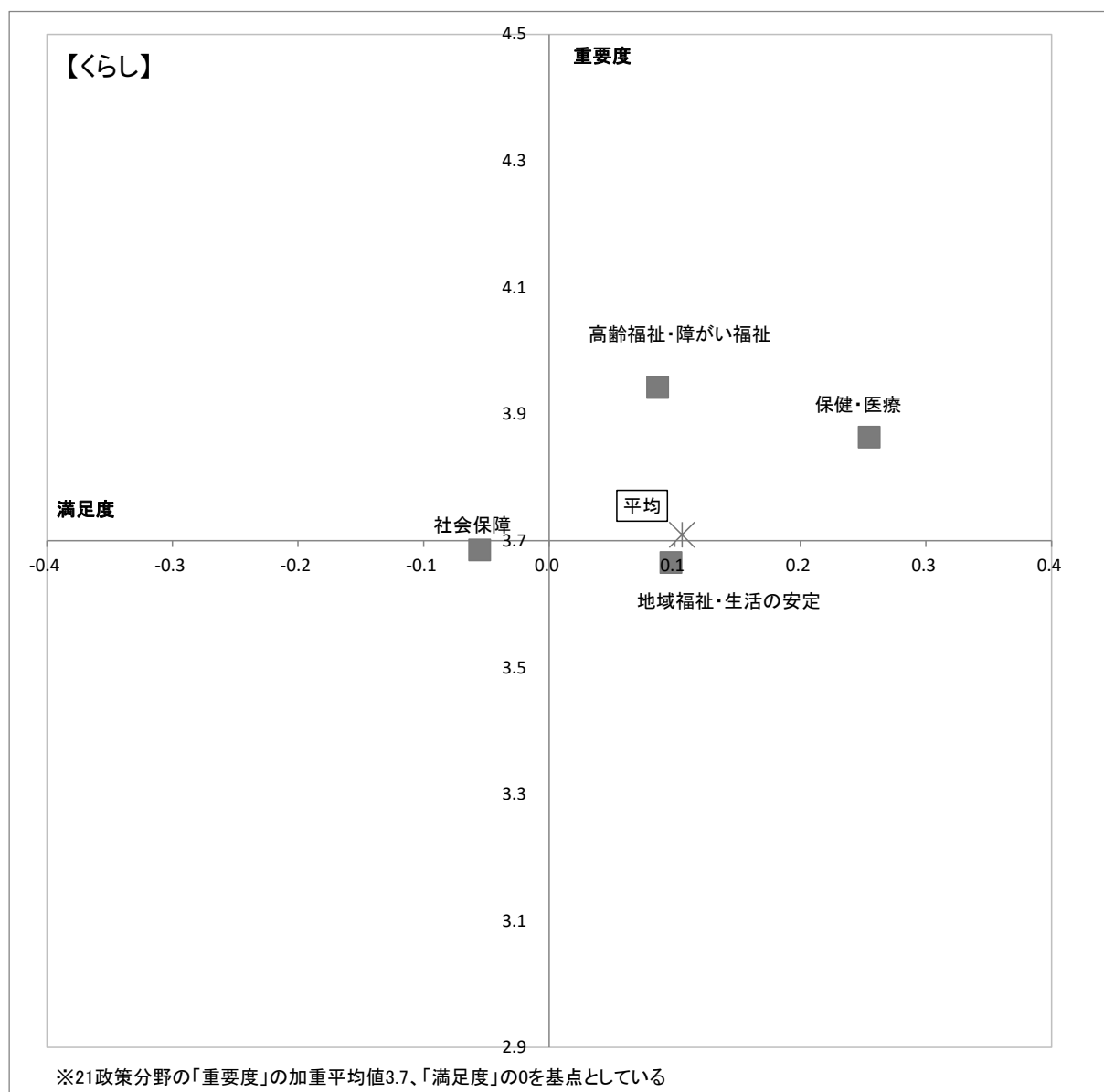
【柱1『こども』政策分野1～4】

すべての分野において、満足度はプラスを示す位置にあり、重要度も平均よりも高くなっています。「産み育てる環境」は全 21 分野の中で最も重要度が高くなっています。



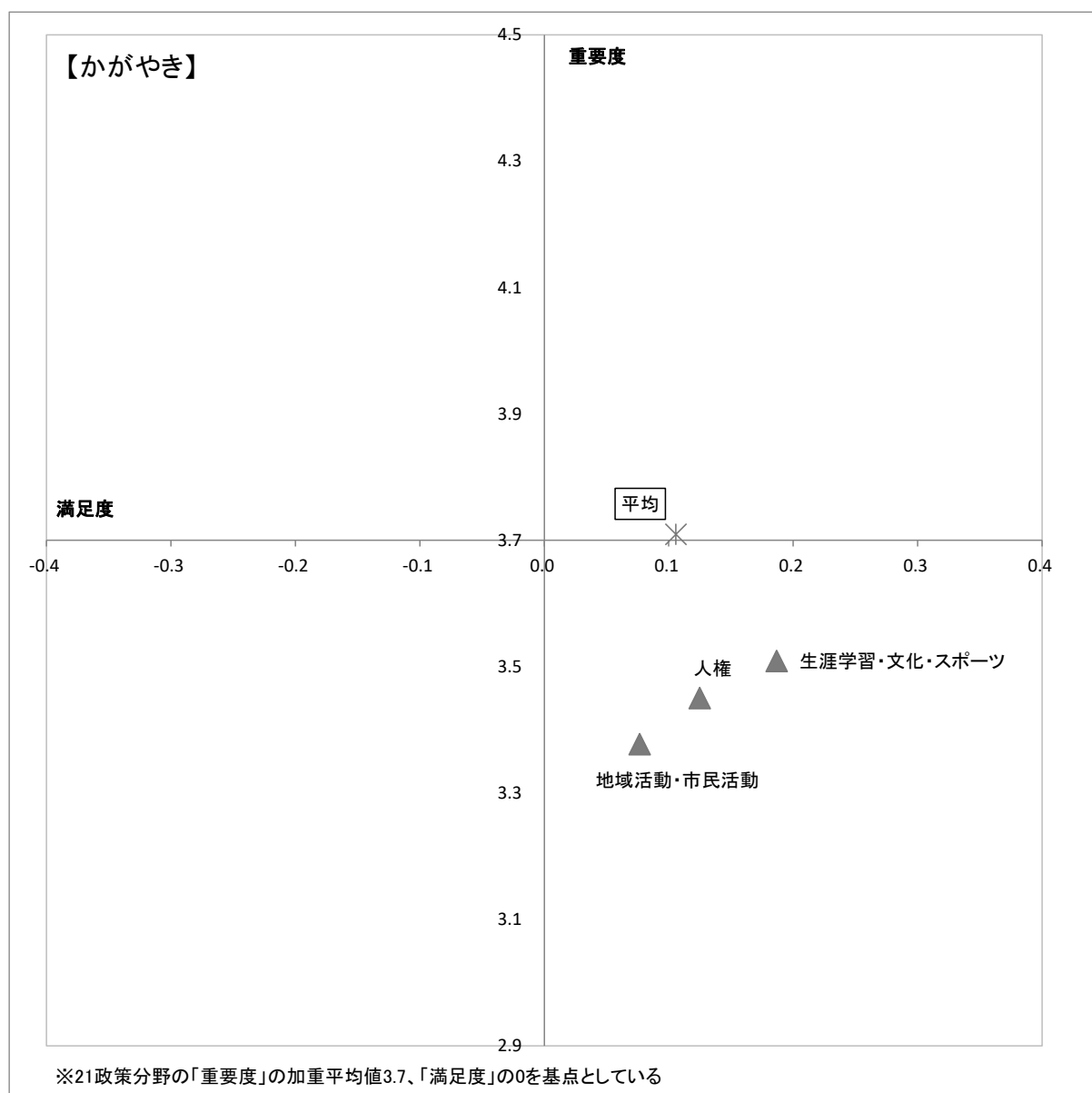
【柱2『くらし』政策分野5～8】

満足度がプラスを示す位置にある分野が3分野、また、重要度が平均を下回る分野が2分野となっています。また、「社会保障」の満足度、重要度がともに低くなっています。



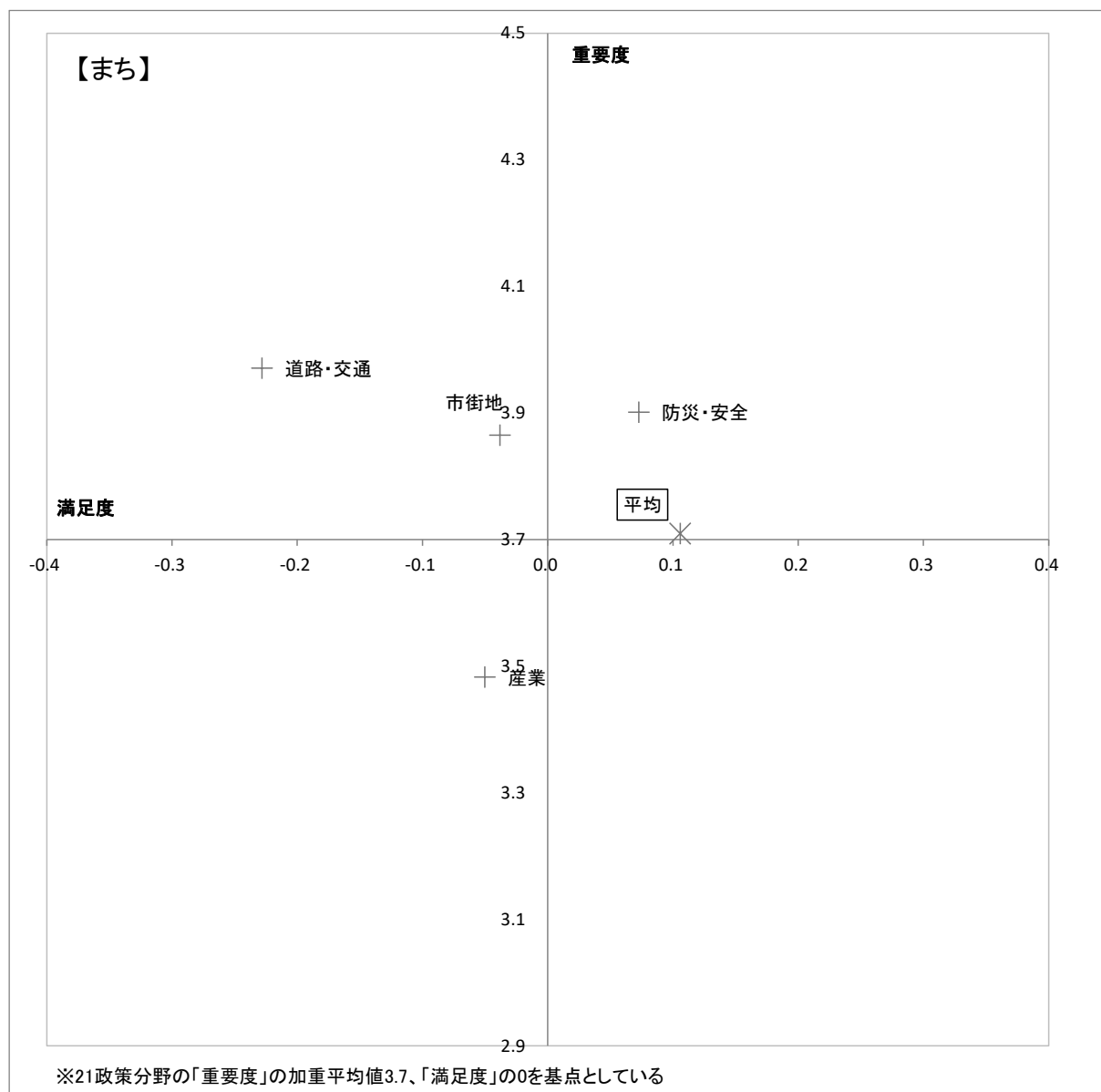
【柱3『かがやき』政策分野9～11】

すべての分野において、満足度はプラスを示す位置にありますが、重要度は平均よりも低くなっています。



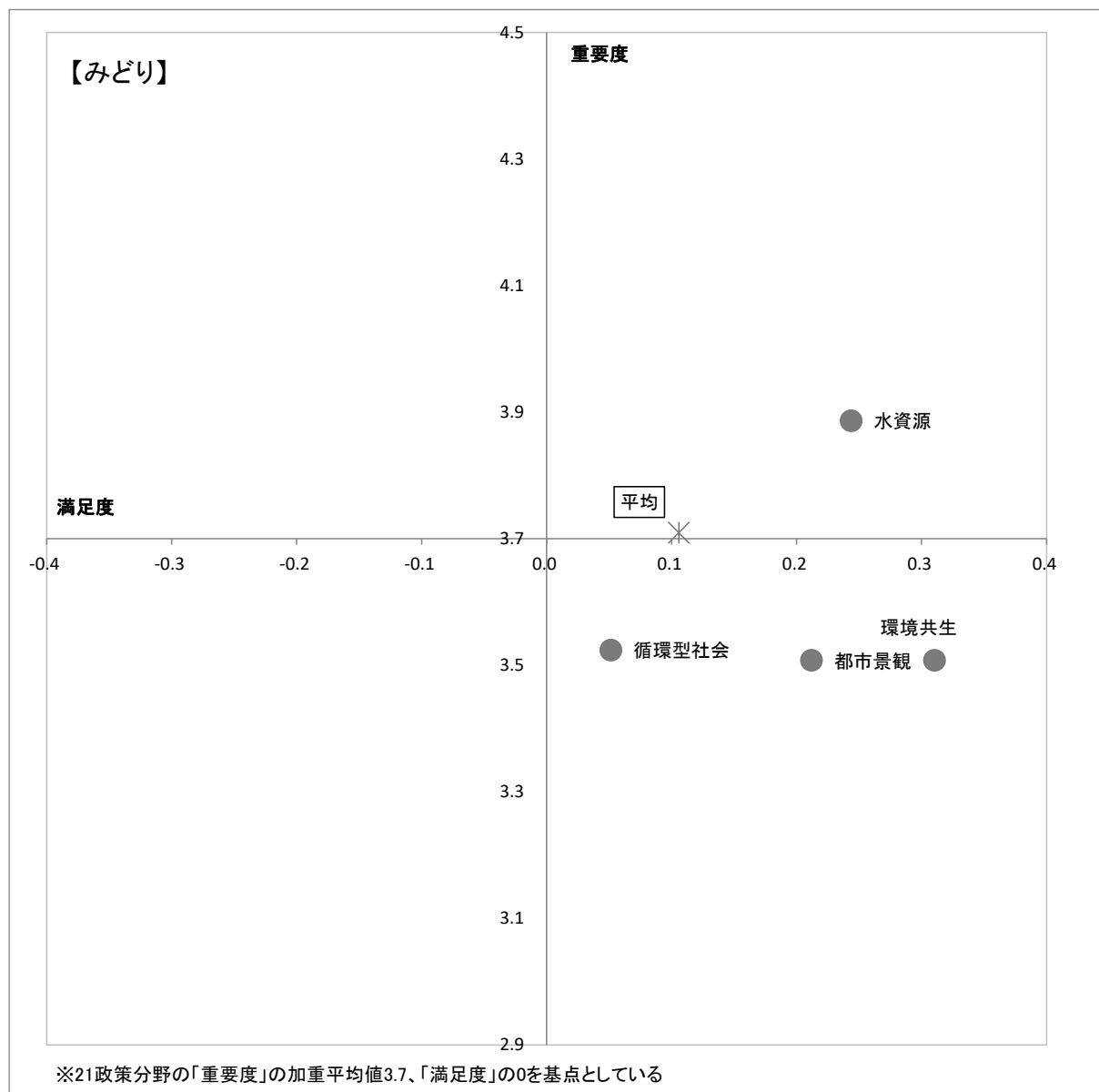
【柱4『まち』政策分野 12～15】

「道路・交通」「市街地」は、重要度が高く、満足度が低くなっています。また、「産業」は重要度が平均より低くなっています。



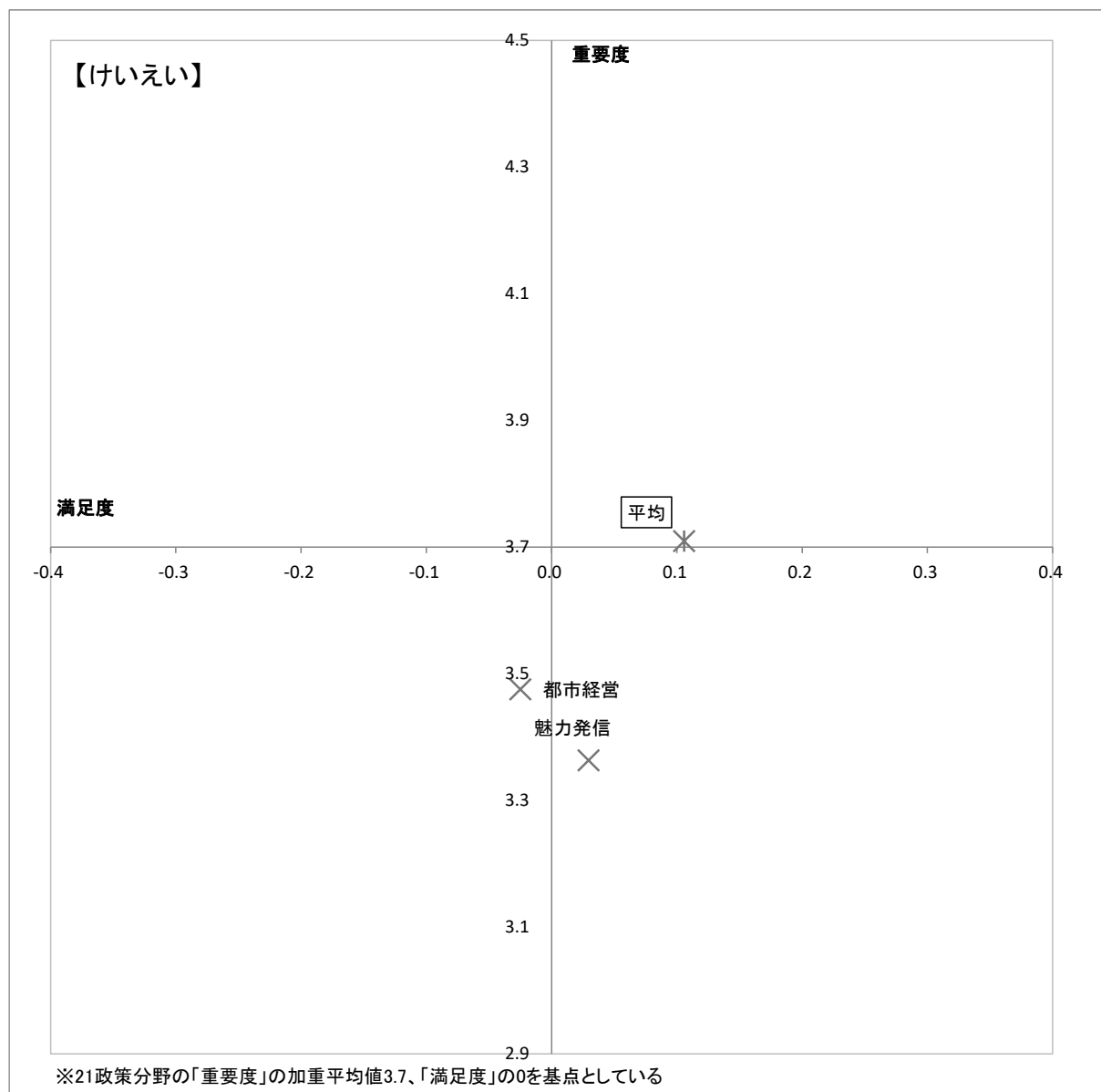
【柱5『みどり』政策分野 16～19】

すべての分野において、満足度はプラスを示す位置にありますが、「水資源」以外の分野で重要度が平均よりも低くなっています。



【柱6『けいえい』政策分野 20～21】

すべての分野において、重要度が平均よりも低くなっています。

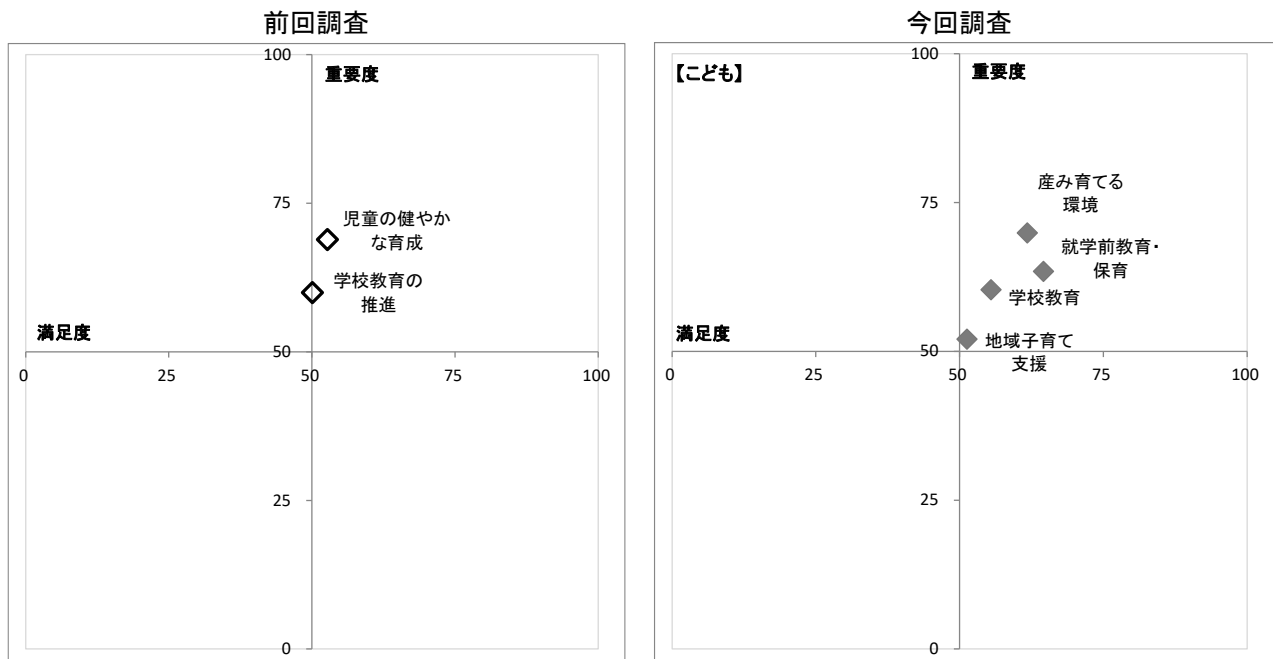


■ 政策分野の重要度と満足度の前回調査比較（参考）

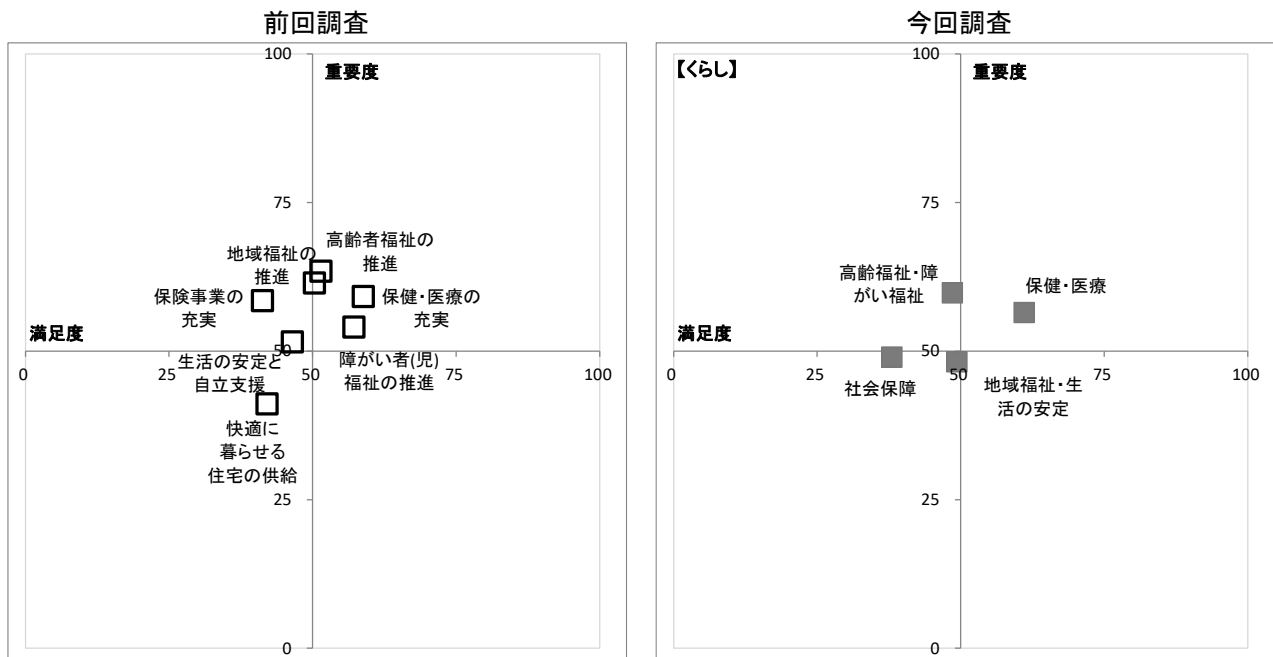
政策分野の重要度と満足度について前回調査と比較しました。なお、前回調査の政策分野は「長岡京市第3次総合計画」の枠組みによるため、今回調査と異なっています。以下に今回調査と前回調査の政策分野の対応を示します。

今回調査（第4次総合計画体系）		前回調査（3次総合計画体系）
柱	政策分野	
こども	政策分野 1 産み育てる環境	政策 2 児童の健やかな育成
	政策分野 2 就学前教育・保育	
	政策分野 3 学校教育	政策 13 学校教育の推進
	政策分野 4 地域子育て支援	政策 2 児童の健やかな育成
くらし	政策分野 5 保健・医療	政策 6 保健・医療の充実
	政策分野 6 高齢福祉・障がい福祉	政策 3 高齢者福祉の推進 政策 4 障がい者(児)福祉の推進
	政策分野 7 地域福祉・生活の安定	政策 1 地域福祉の推進 政策 5 生活の安定と自立支援 政策 21 快適に暮らせる住宅の供給
	政策分野 8 社会保障	政策 7 保険事業の充実
かがやき	政策分野 9 地域活動・市民活動	政策 25 市民と行政のパートナーシップの確立
	政策分野 10 人権	政策 14 男女共同参画社会の実現 政策 15 人権尊重と人権教育の推進 政策 17 平和・友好交流の推進
	政策分野 11 生涯学習・文化・スポーツ	政策 12 生涯学習の推進 政策 16 文化の振興・文化財保護
まち	政策分野 12 市街地	政策 18 市街地の計画的整備
	政策分野 13 道路・交通	政策 19 総合的な交通体系の整備
	政策分野 14 産業	政策 22 農林業の振興 政策 23 商工業の振興 政策 24 観光の振興
	政策分野 15 防災・安全	政策 20 防災・防犯体制の整備
みどり	政策分野 16 環境共生	政策 9 緑豊かな環境づくり
	政策分野 17 水資源	政策 10 水環境の整備 政策 11 安定した水の供給
	政策分野 18 循環型社会	政策 8 環境保全型社会の形成
	政策分野 19 都市景観	政策 9 緑豊かな環境づくり 政策 18 市街地の計画的整備
けい えい	政策分野 20 魅力発信	-
	政策分野 21 都市経営	政策 26 市民に開かれた合理的な行財政運営 政策 27 近隣自治体・大学等との連携協力

【柱1『こども』政策分野1～4】

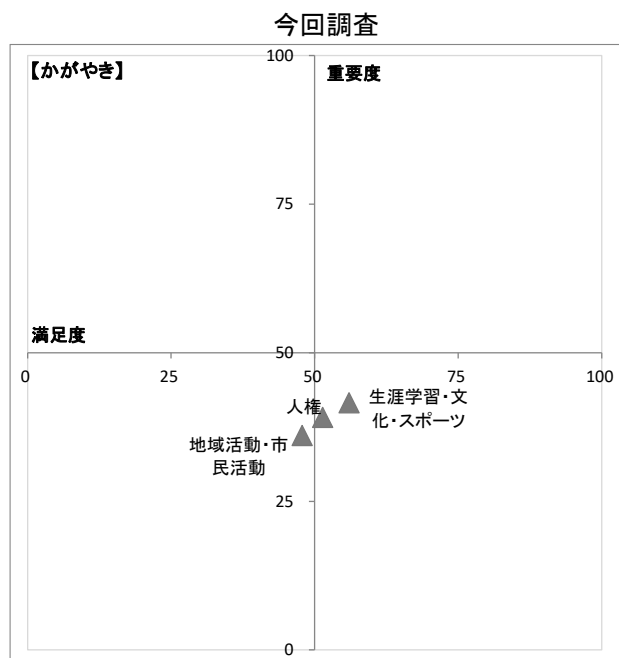
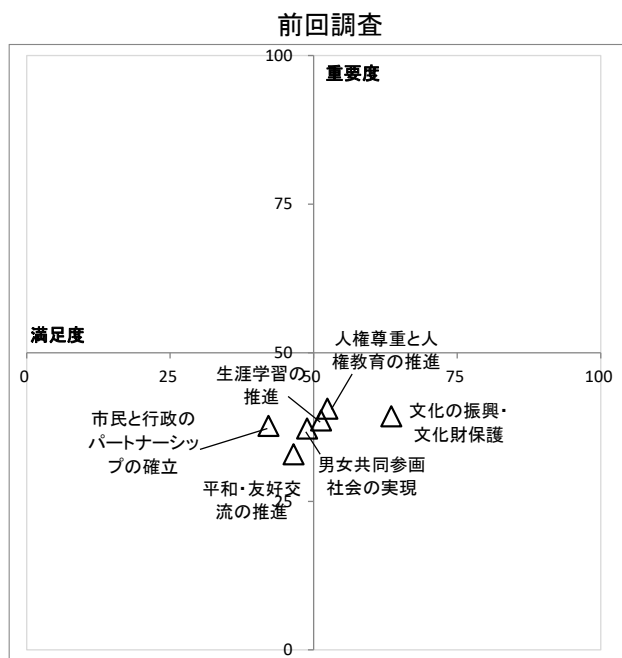


【柱2『くらし』政策分野5～8】

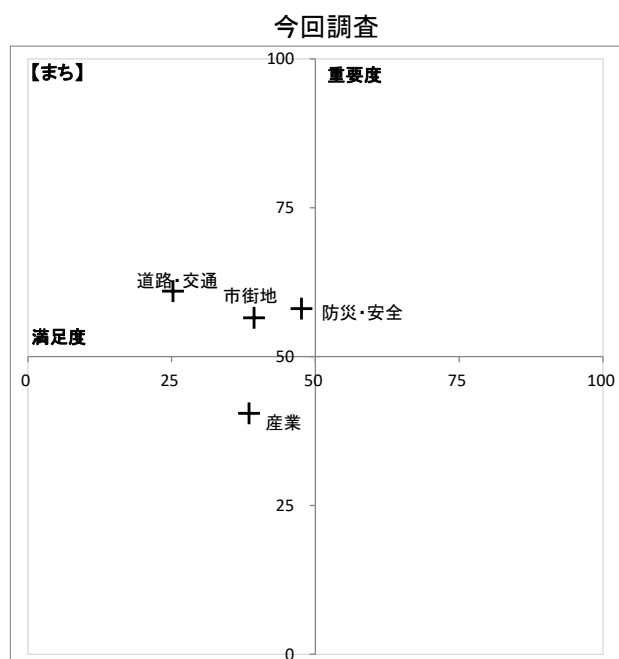
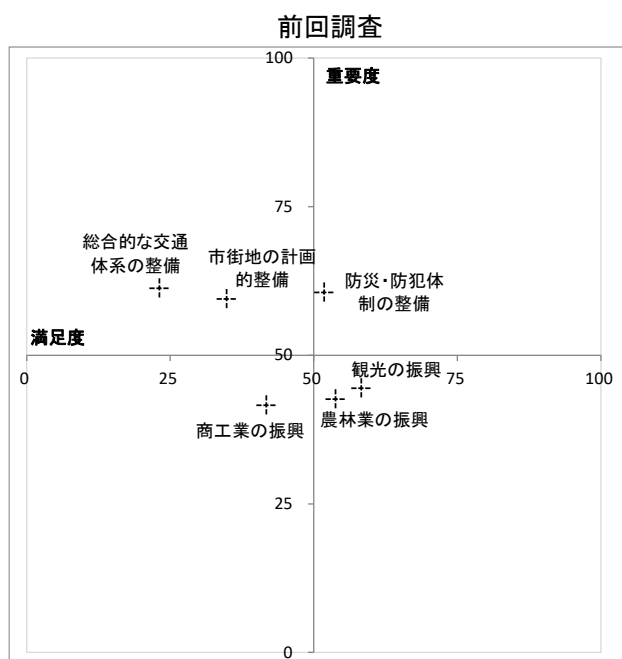


※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱3『かがやき』政策分野9～11】

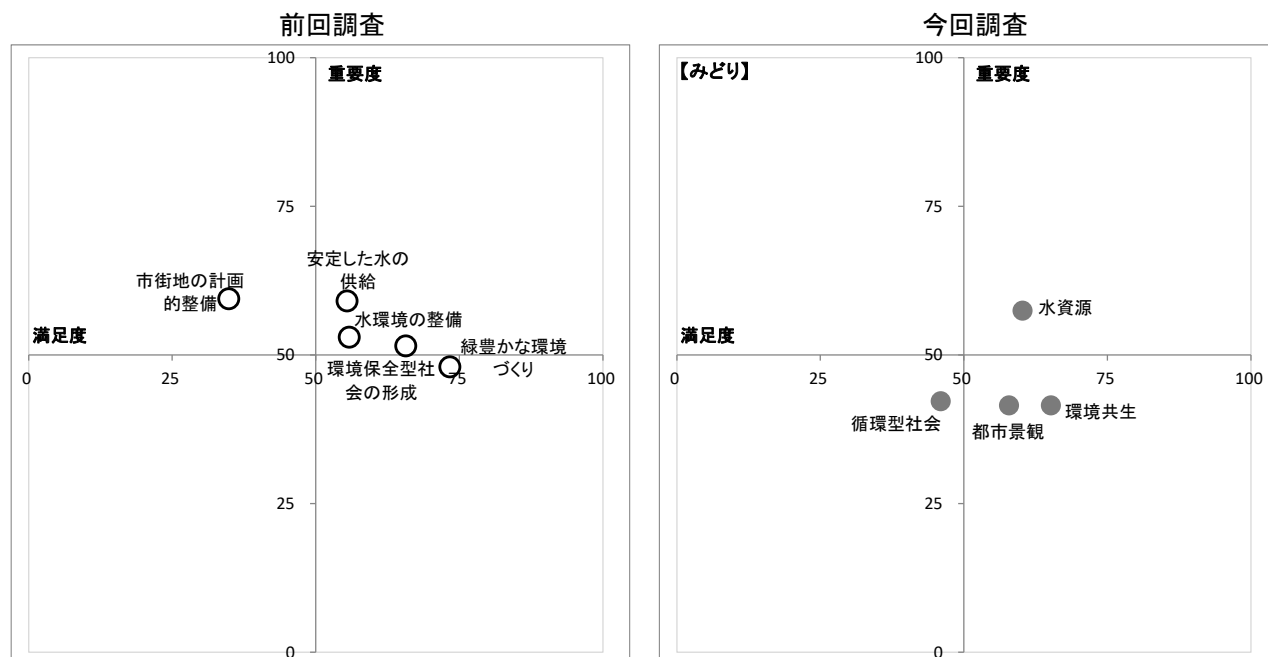


【柱4『まち』政策分野 12～15】

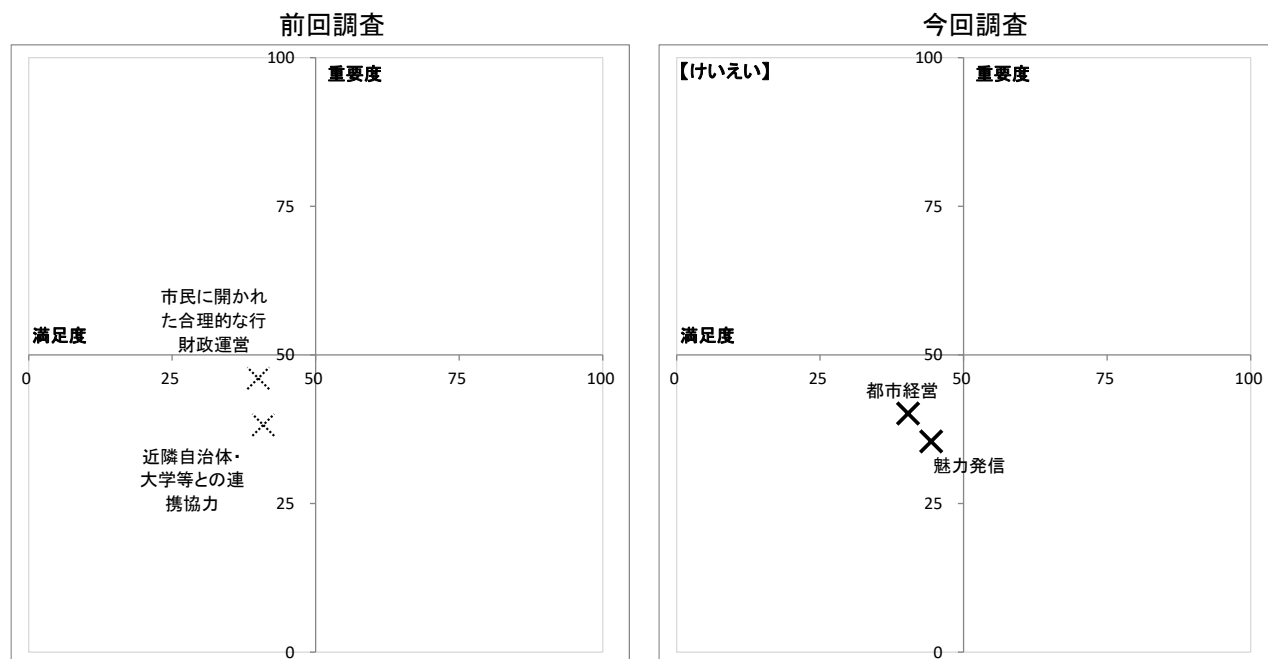


※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱5『みどり』政策分野 16～19】



【柱6『けいえい』政策分野 20～21】



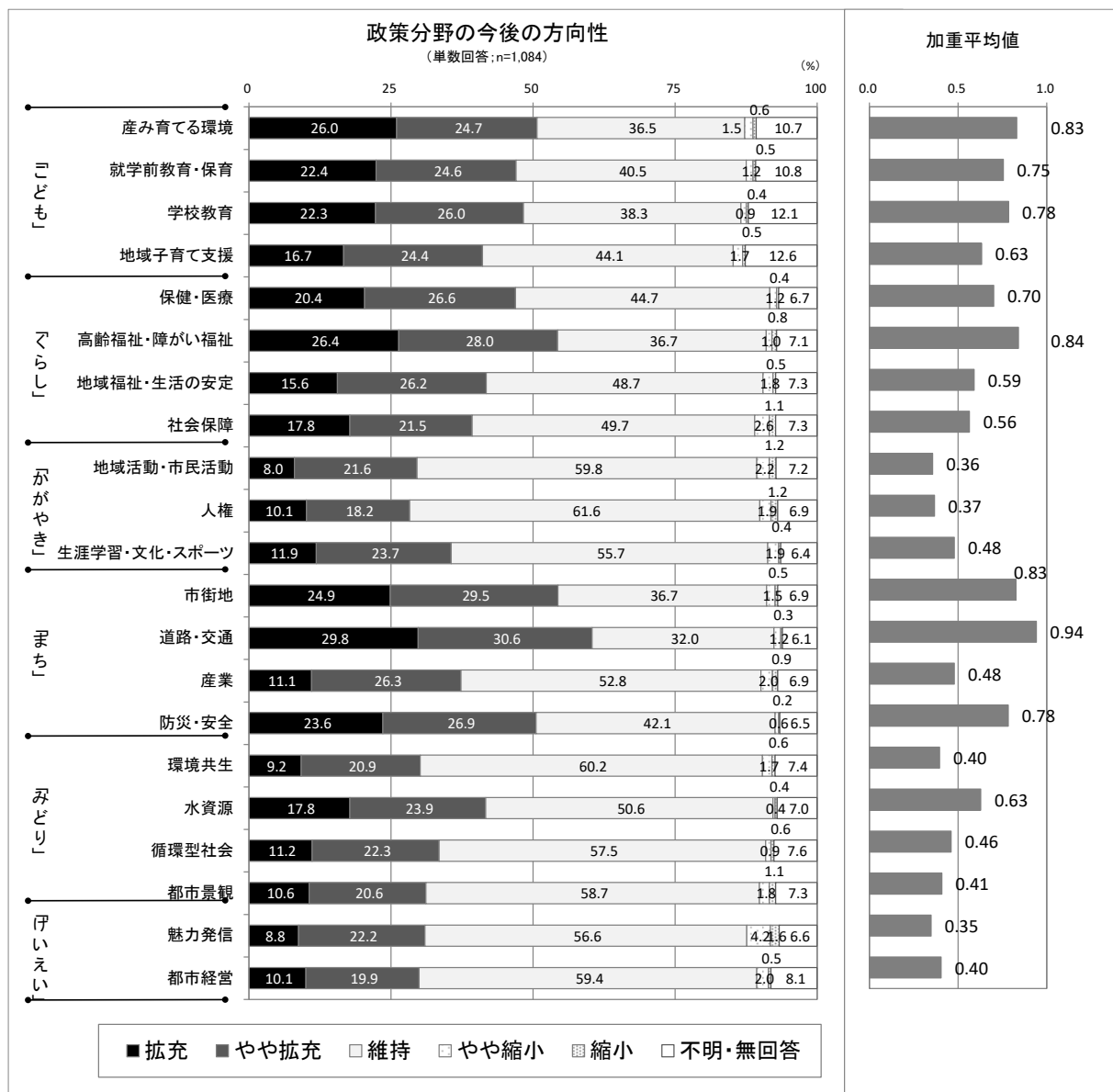
※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

(4) 各政策の今後の方向性

『拡充』（「拡充」と「やや拡充」の合計）は、「道路・交通」が最も多く 60.4%、次いで「高齢者福祉・障がい福祉」「市街地」が 54.4%、「産み育てる環境」が 50.7%、「防災・安全」が 50.5%などとなっています。

一方、『縮小』（「やや縮小」と「縮小」の合計）は、「魅力発信」が最も多く 5.8%、次いで「社会保障」が 3.7%、「地域活動・市民活動」が 3.4%、「人権」が 3.1%、「産業」が 2.9%などとなっています。

加重平均値でみると、「道路・交通」が最も高く 0.94、次いで「高齢福祉・障がい福祉」が 0.84、「産み育てる環境」「市街地」が 0.83 などとなっています。



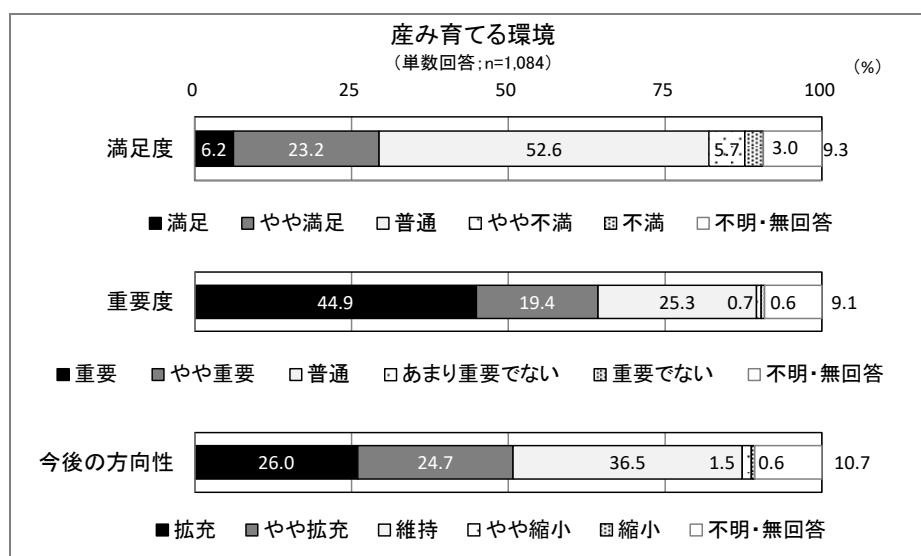
※ 加重平均は「拡充」+2、「やや拡充」+1、「維持」+0、「やや縮小」-1、「縮小」-2 の加重評価を与えて平均点を算出しています。

(5) 各政策分野の満足度・重要度・今後の方向性・特に重要と思う取組み

■ 柱1『こども』政策分野1～4

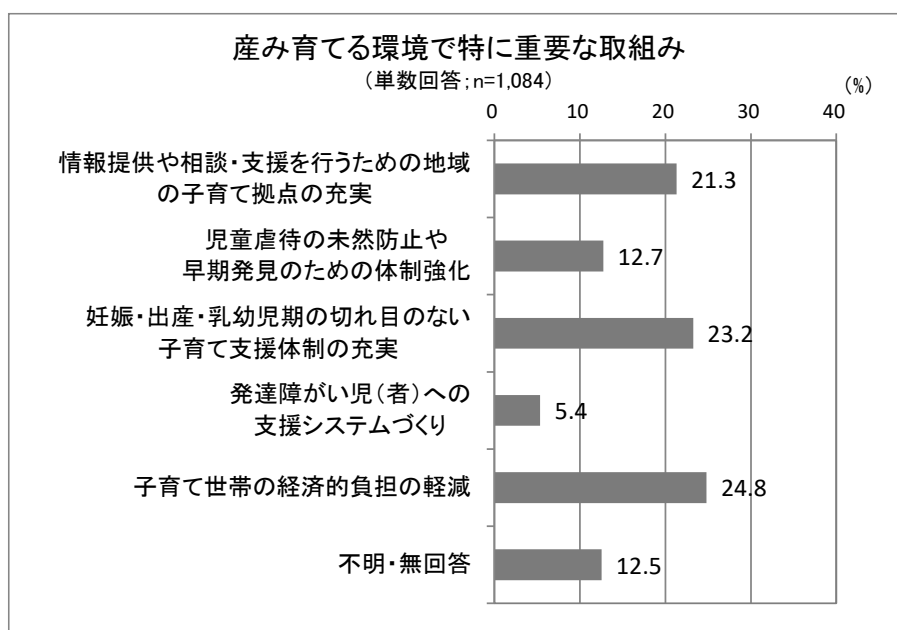
【政策分野1 産み育てる環境】

① 満足度・重要度・今後の方向性



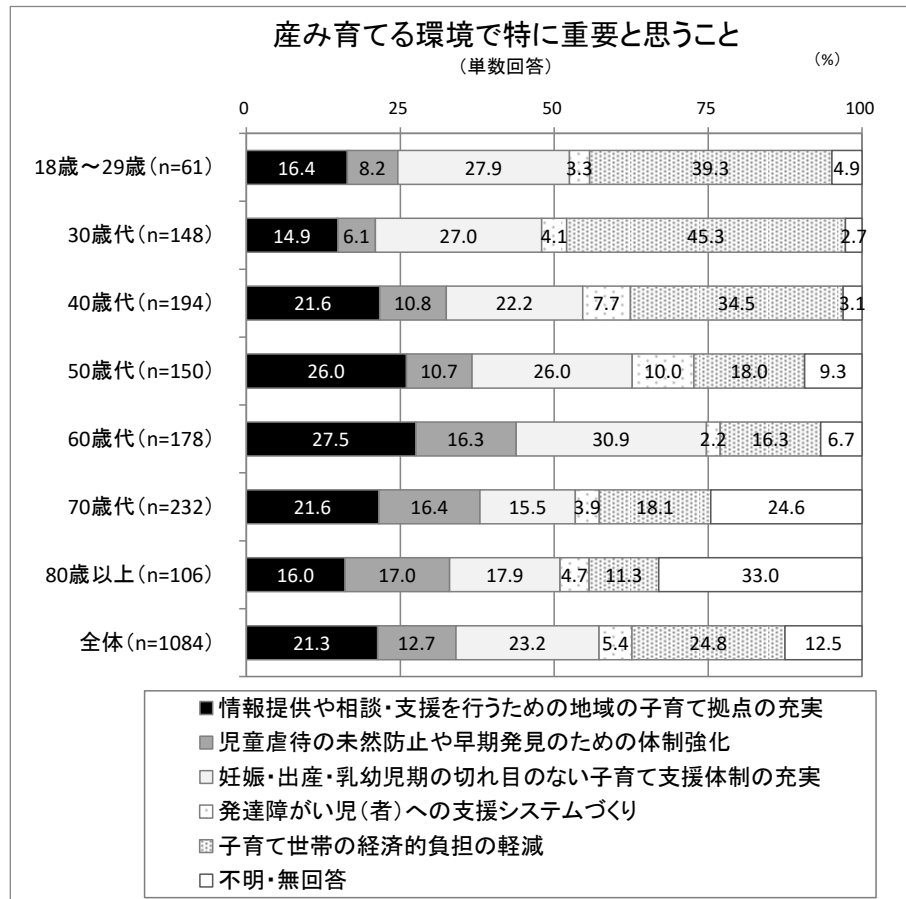
② 特に重要と思う取組み

「子育て世帯の経済的負担の軽減」が最も多く 24.8%、次いで「妊娠・出産・乳幼児期の切れ目のない子育て支援体制の充実」が 23.2%などとなっています。



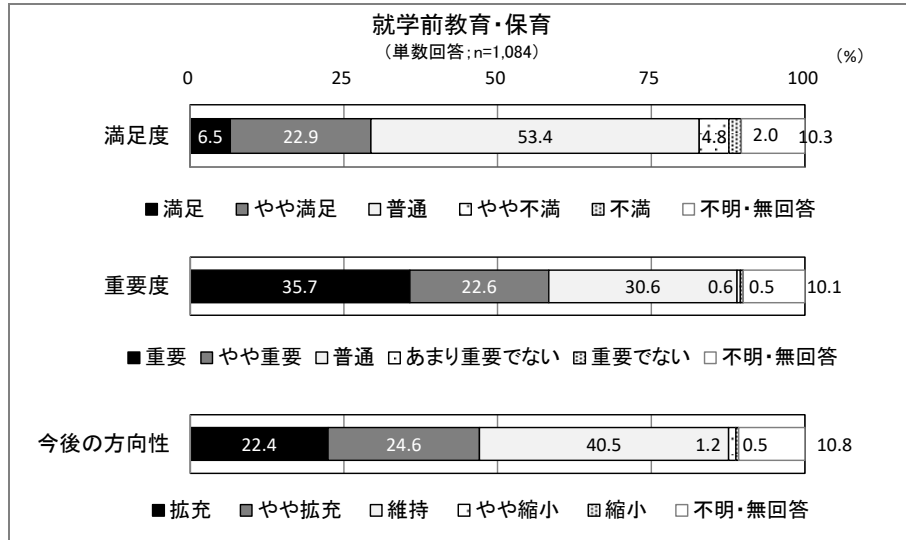
＜年齢別＞

「18～29 歳」「30 歳代」「40 歳代」では「子育て世帯の経済的負担の軽減」が最も多くなっています。



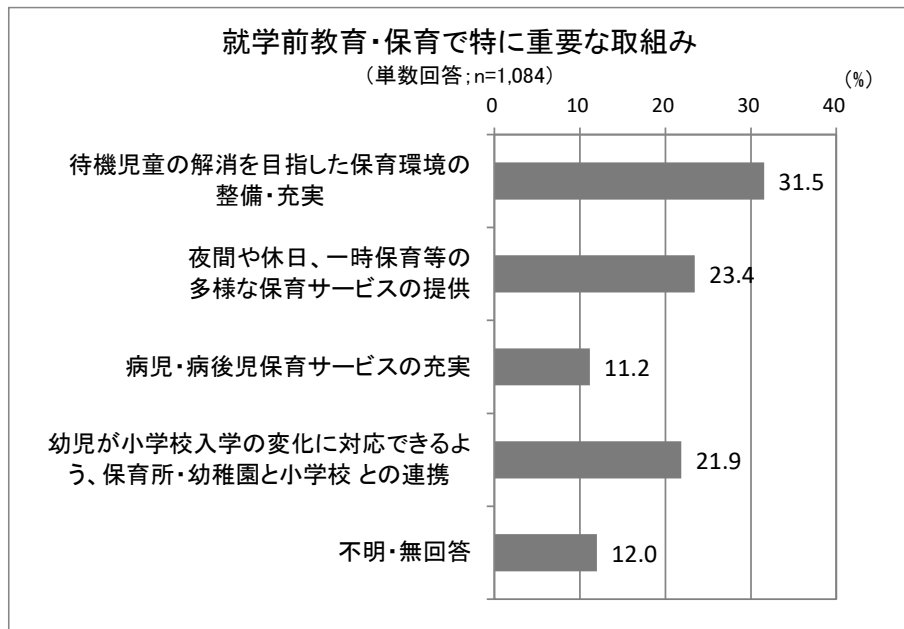
【政策分野2 就学前教育・保育】

① 満足度・重要度・今後の方向性



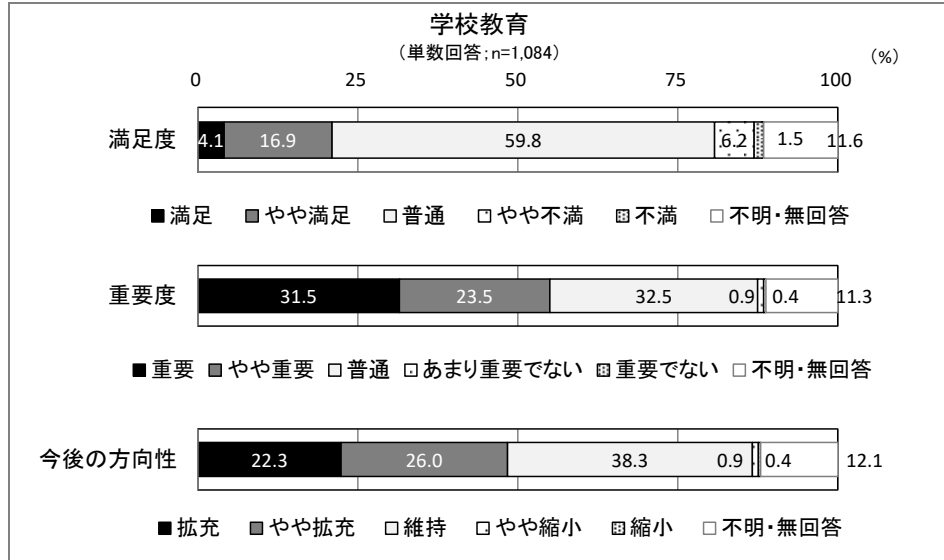
② 特に重要と思う取組み

「待機児童の解消を目指した保育環境の整備・充実」が最も多く 31.5%、次いで「夜間や休日、一時保育等の多様な保育サービスの提供」が 23.4%などとなっています。



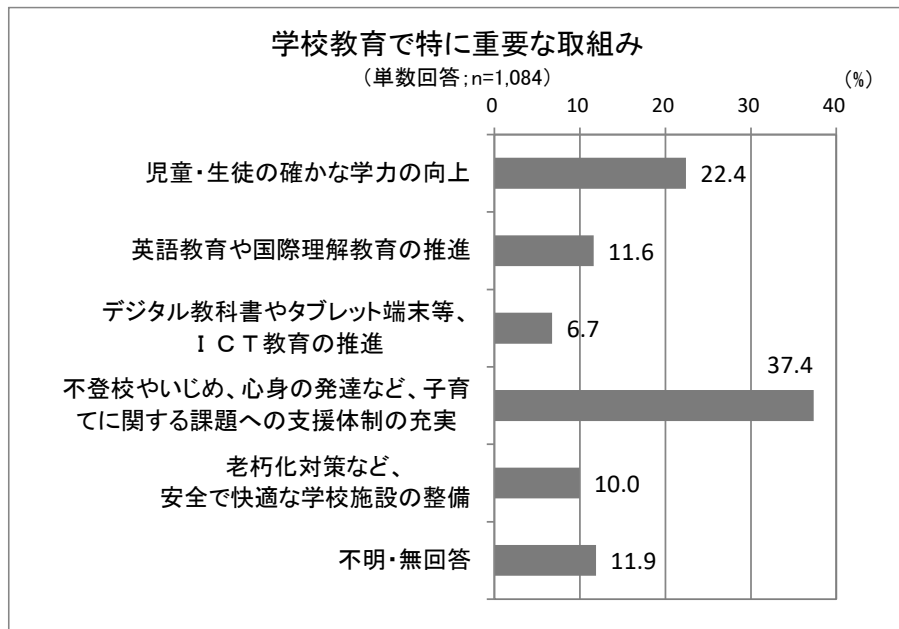
【政策分野3 学校教育】

① 満足度・重要度・今後の方向性



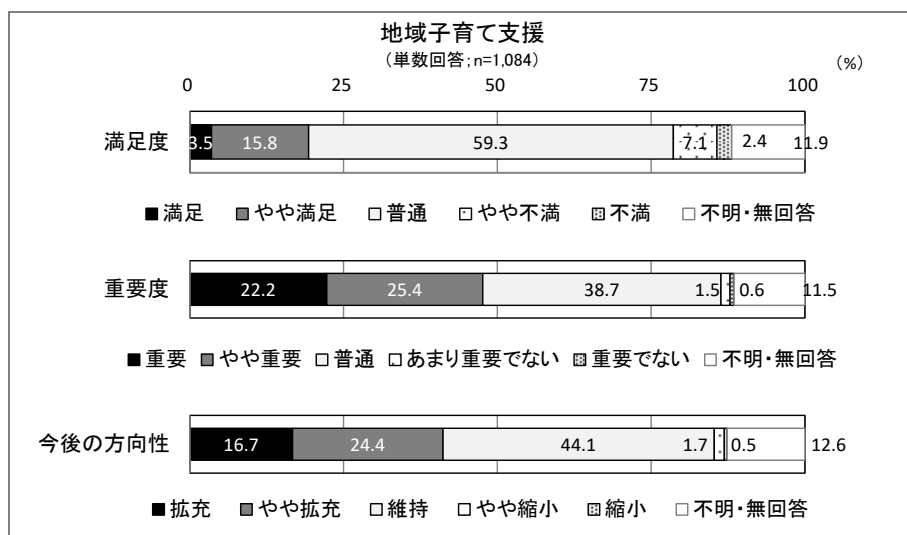
② 特に重要と思う取組み

「不登校やいじめ、心身の発達など、子育てに関する課題への支援体制の充実」が最も多く 37.4%、次いで「児童・生徒の確かな学力の向上」が 22.4%などとなっています。



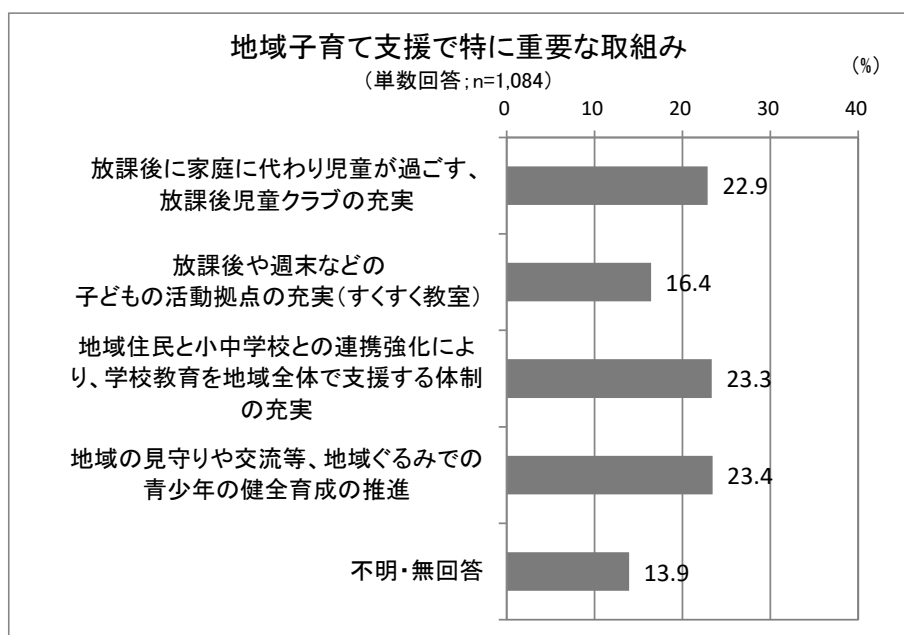
【政策分野 4 地域子育て支援】

① 満足度・重要度・今後の方向性



② 特に重要と思う取組み

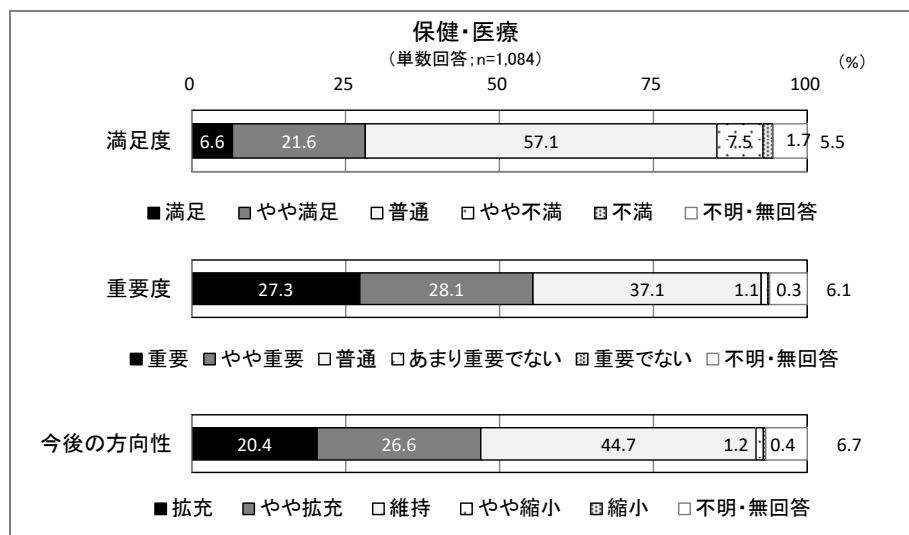
「地域の見守りや交流等、地域ぐるみでの青少年の健全育成の推進」が最も多く 23.4%、次いで「地域住民と小中学校との連携強化により、学校教育を地域全体で支援する体制の充実」が 23.3%などとなっています。



■ 柱2『くらし』政策分野5～8

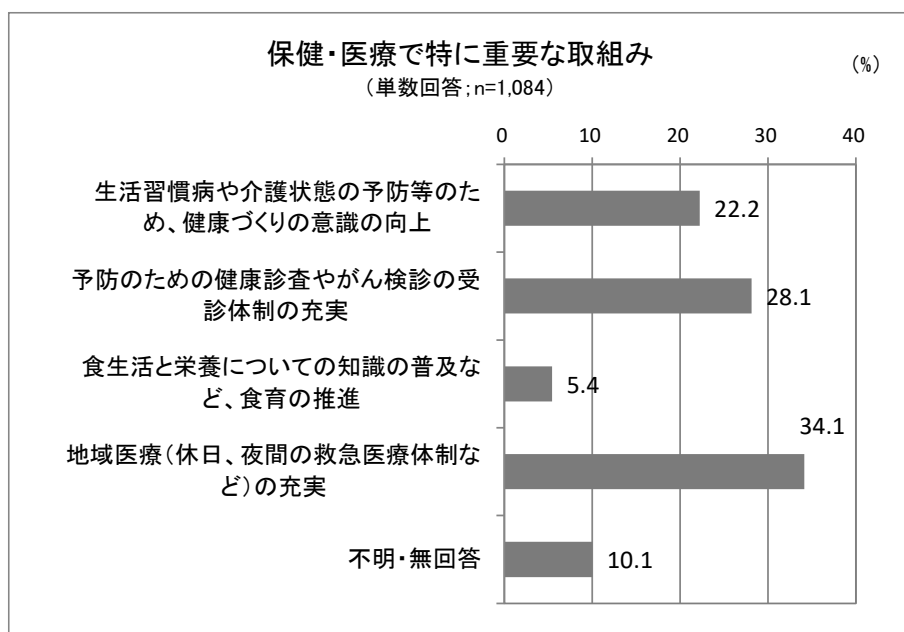
【政策分野5 保健・医療】

① 満足度・重要度・今後の方向性



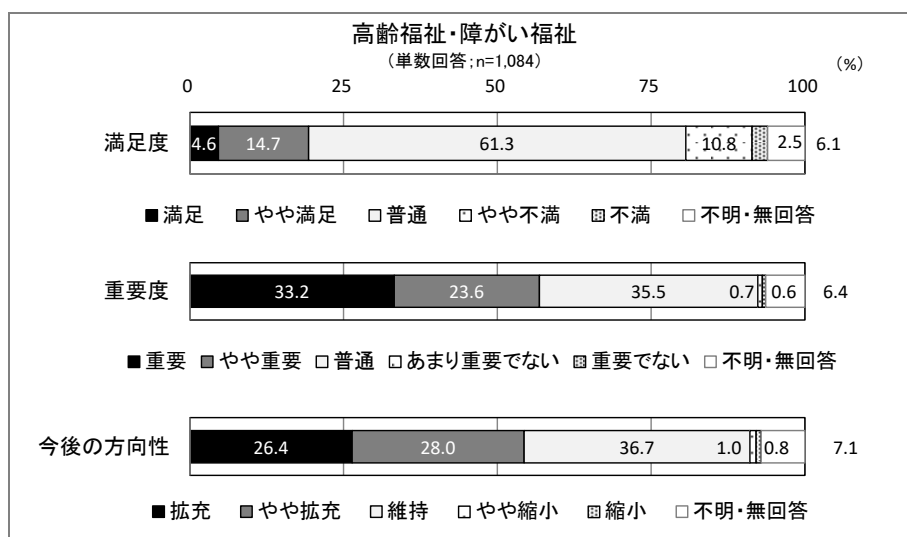
② 特に重要と思う取組み

「地域医療（休日、夜間の救急医療体制など）の充実」が最も多く 34.1%、次いで「予防のための健康診査やがん検診の受診体制の充実」が 28.1%などとなっています。



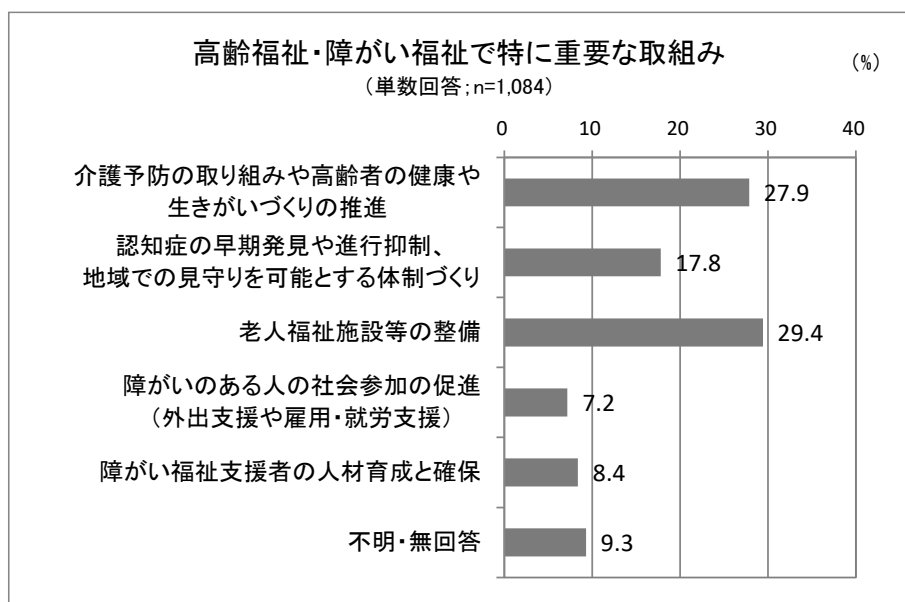
【政策分野6 高齢福祉・障がい福祉】

① 満足度・重要度・今後の方向性



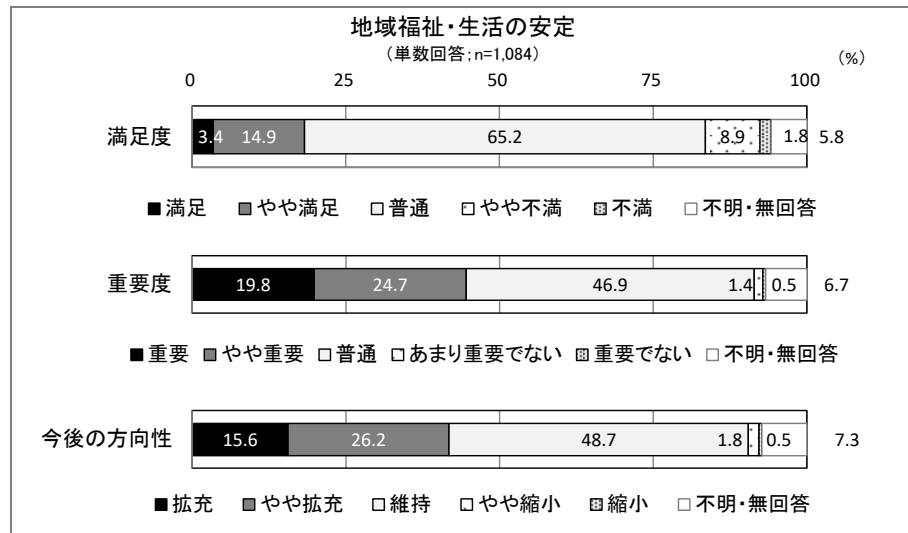
② 特に重要と思う取組み

「老人福祉施設等の整備」が最も多く 29.4%、次いで「介護予防の取り組みや高齢者の健康や生きがいのづくりの推進」が 27.9%などとなっています。



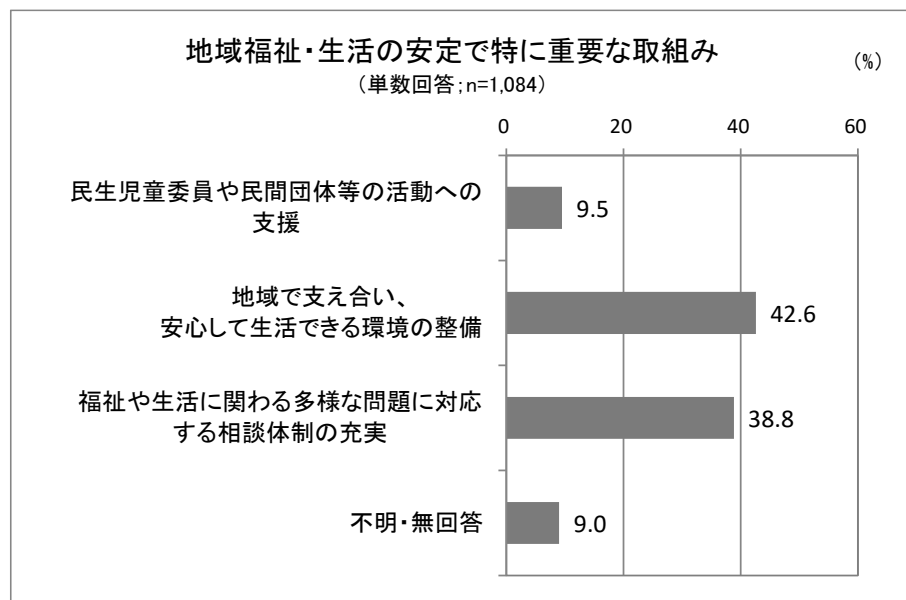
【政策分野7 地域福祉・生活の安定】

① 満足度・重要度・今後の方向性



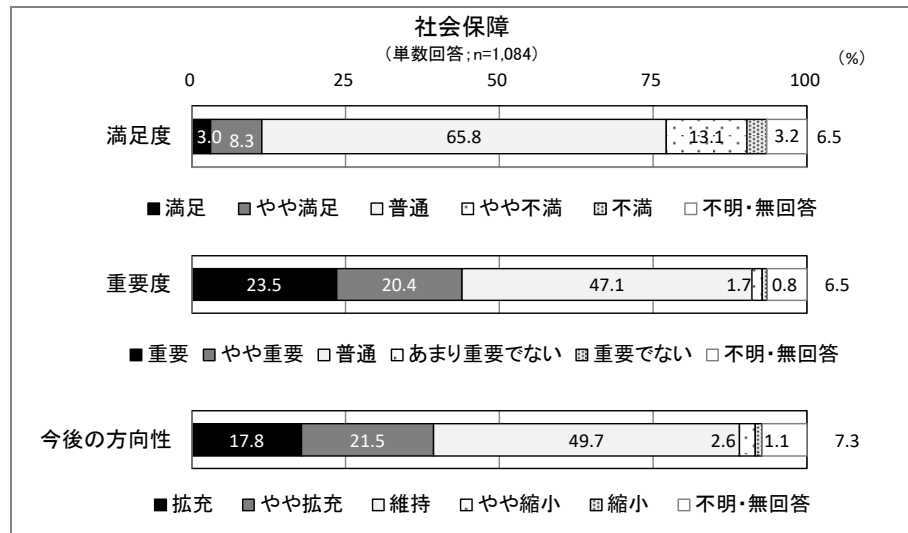
② 特に重要と思う取組み

「地域で支え合い、安心して生活できる環境の整備」が最も多く 42.6%、次いで「福祉や生活に関わる多様な問題に対応する相談体制の充実」が 38.8%などとなっています。



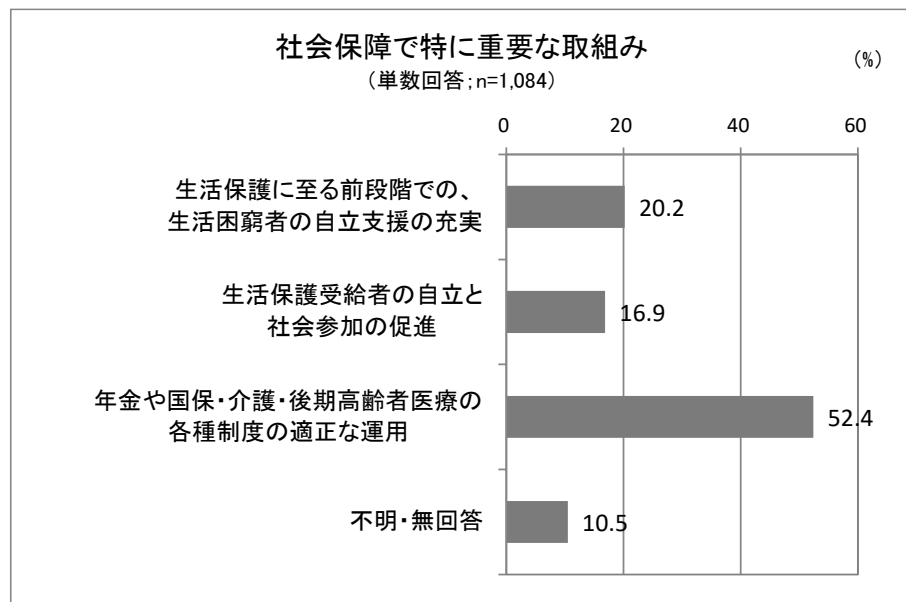
【政策分野 8 社会保障】

① 満足度・重要度・今後の方向性



② 特に重要と思う取組み

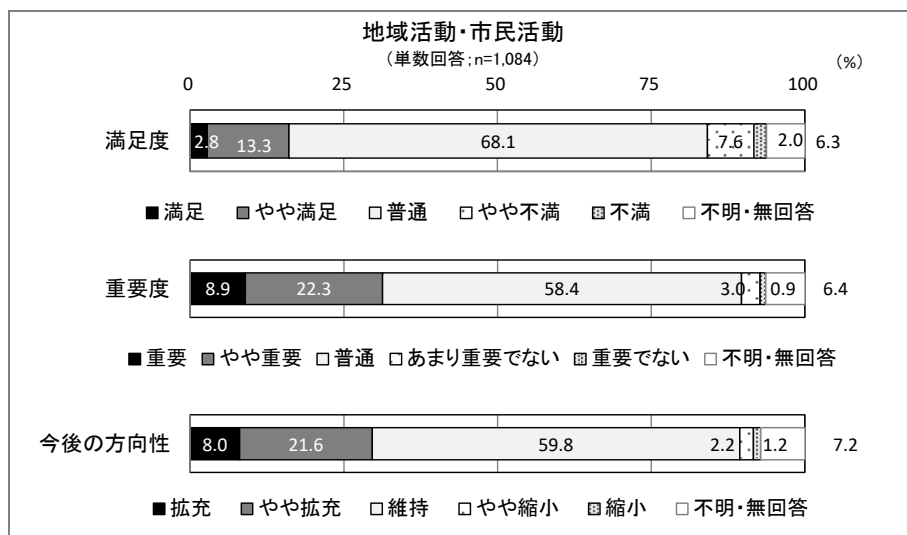
「年金や国保・介護・後期高齢者医療の各種制度の適正な運用」が最も多く 52.4%、次いで「生活保護に至る前段階での、生活困窮者の自立支援の充実」が 20.2%などとなっています。



■ 柱3『かがやき』政策分野9～11

【政策分野9 地域活動・市民活動】

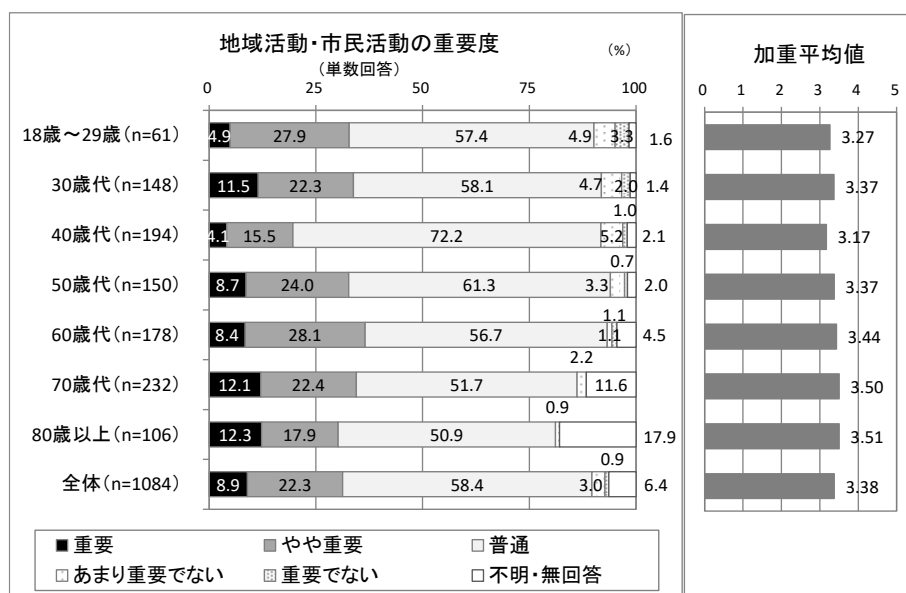
① 満足度・重要度・今後の方向性



<年齢別の重要度>

「40 歳代」では「重要」「やや重要」が他の年代よりも少なくなっています。

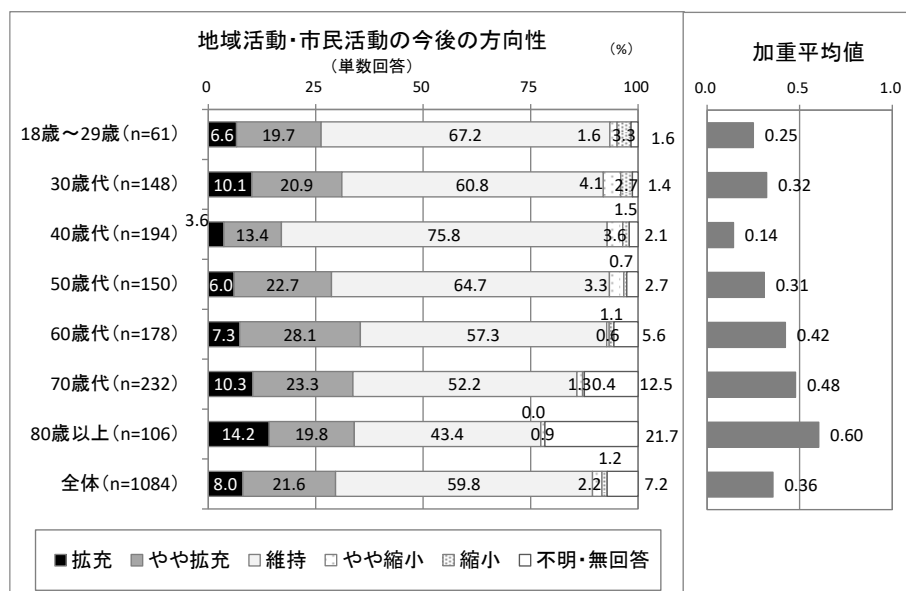
加重平均値でみると、「40 歳代」が最も低く、「70 歳代」「80 歳以上」と差があります。



＜年齢別の今後の方向性＞

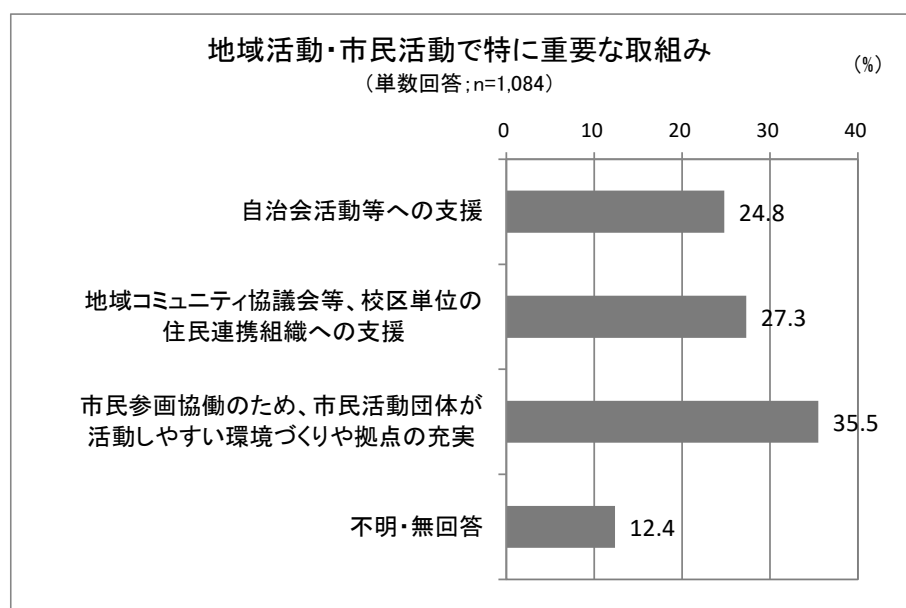
「40 歳代」では「拡充」「やや拡充」が他の年代よりも少なく、「80 歳以上」では「拡充」が他の年代よりも多くなっています。

加重平均値でみると、「40 歳代」が最も低く、「70 歳代」「80 歳以上」と差があります。



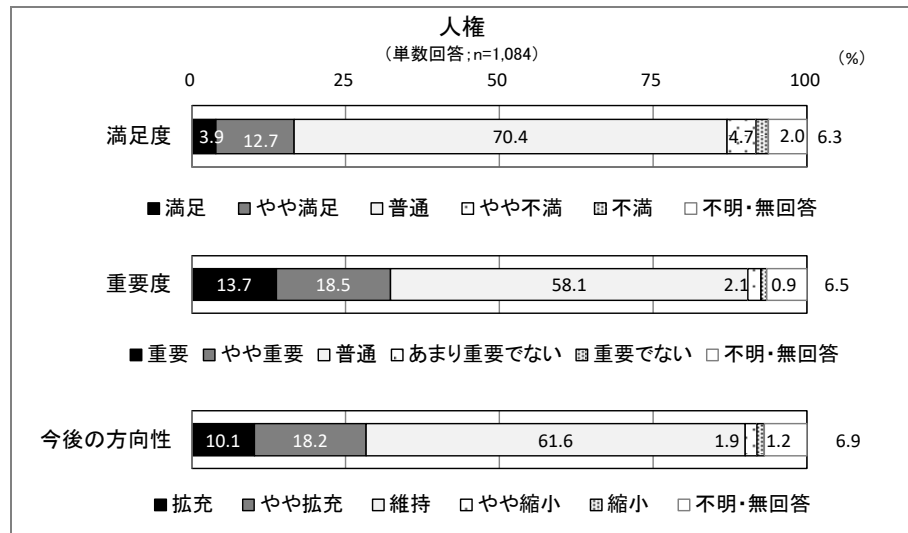
② 特に重要と思う取組み

「市民参画協働のため、市民活動団体が活動しやすい環境づくりや拠点の充実」が最も多く 35.5%、次いで「地域コミュニティ協議会等、校区単位の住民連携組織への支援」が 27.3% などとなっています。



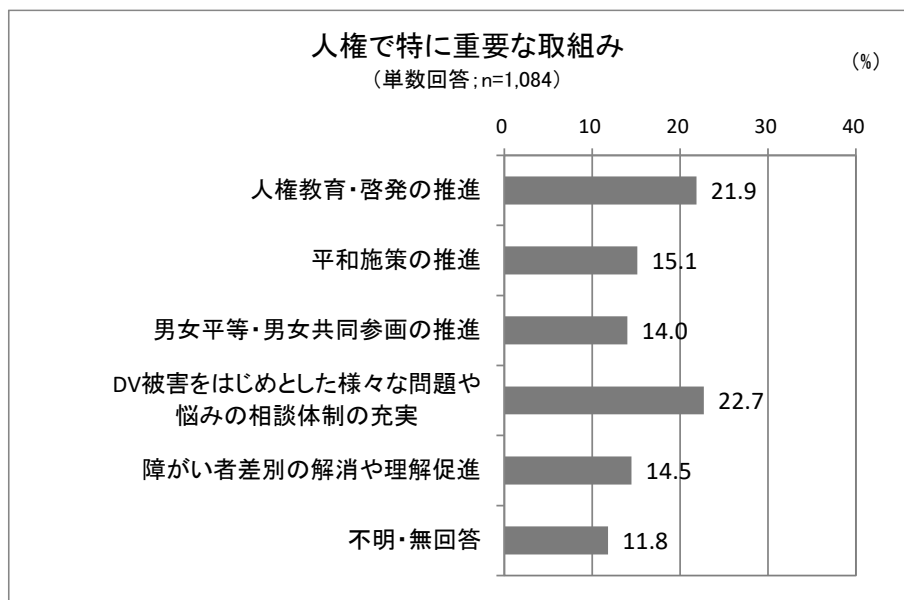
【政策分野 10 人権】

① 満足度・重要度・今後の方向性



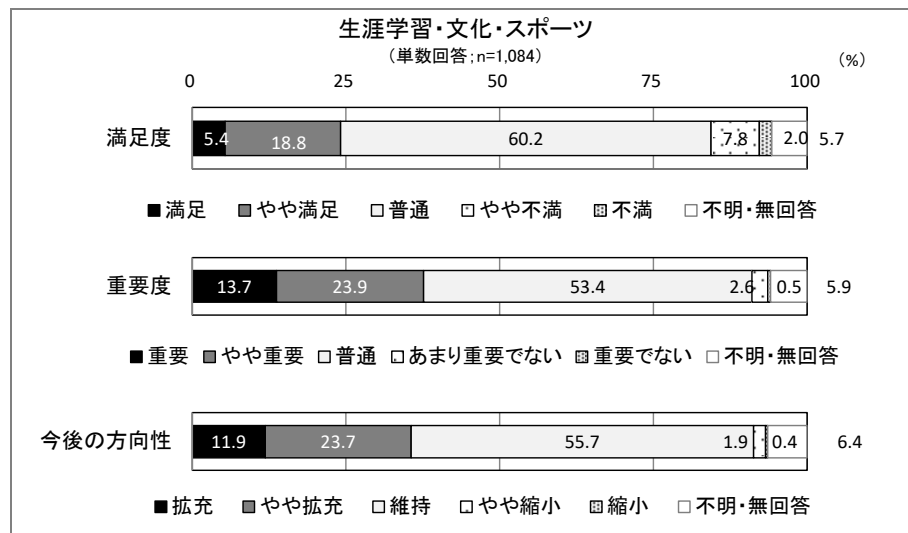
② 特に重要と思う取組み

「DV 被害をはじめとした様々な問題や悩みの相談体制の充実」が最も多く 22.7%、次いで「人権教育・啓発の推進」が 21.9%などとなっています。



【政策分野 11 生涯学習・文化・スポーツ】

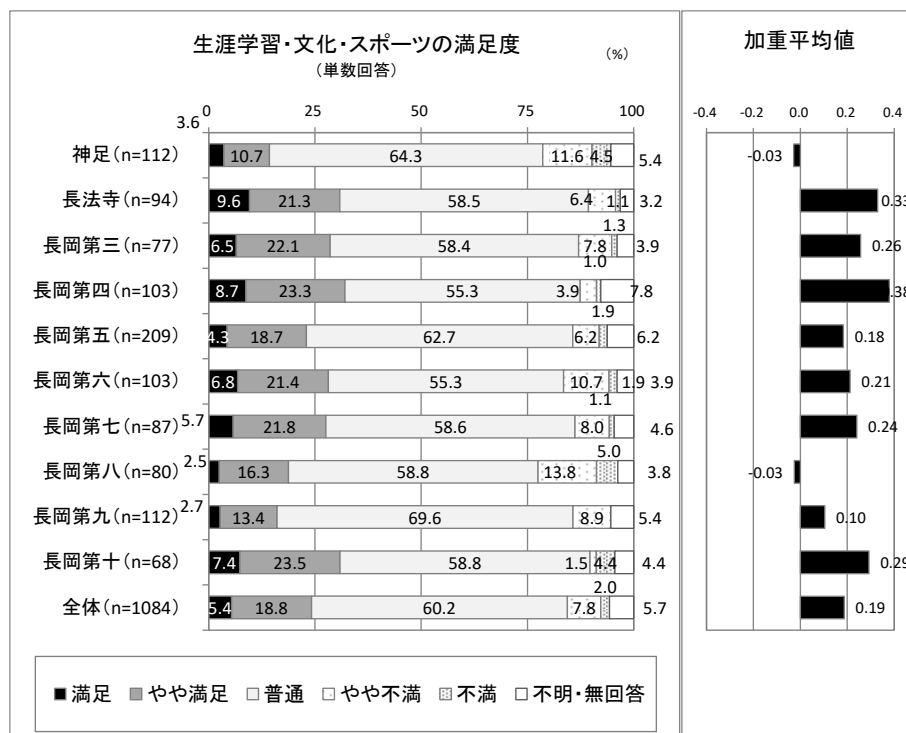
① 満足度・重要度・今後の方向性



<小学校区別の満足度>

「神足」では「満足」「やや満足」が他の小学校区よりも低くなっています。

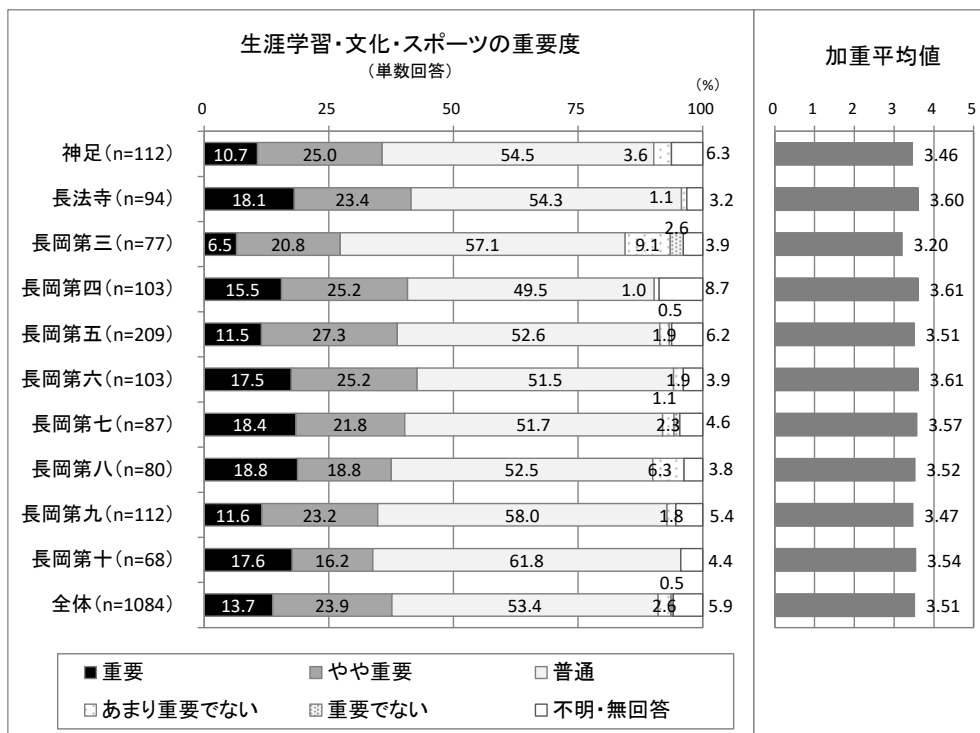
加重平均値でみると、「長岡第四」が最も高く、「神足」「長岡第八」と差があります。



＜小学校区別の重要度＞

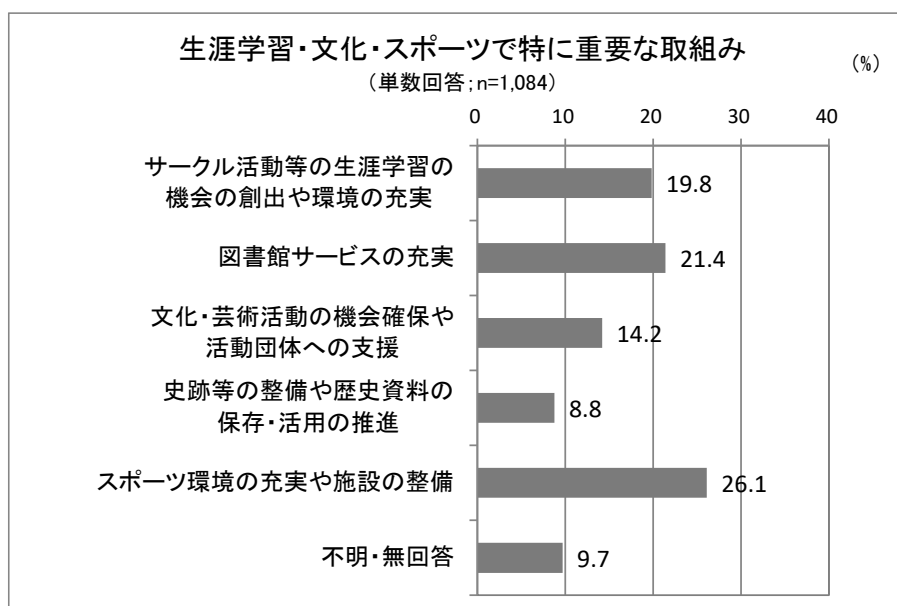
「長岡第三」では「重要」が他の小学校区よりも少なくなっています。

加重平均値でみると、「長岡第四」「長岡第六」が最も高く、「長岡第三」と差があります。



② 特に重要と思う取組み

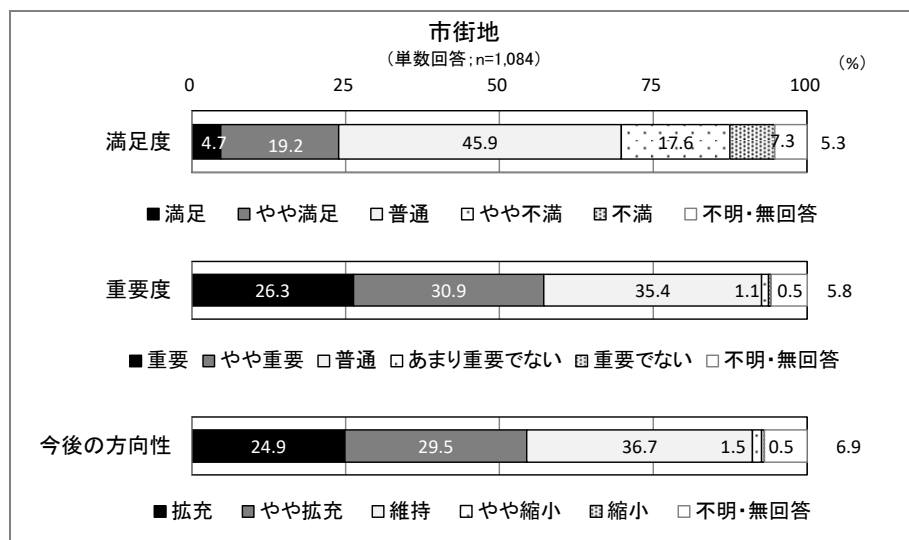
「スポーツ環境の充実や施設の整備」が最も多く 26.1%、次いで「図書館サービスの充実」が 21.4%などとなっています。



■ 柱4『まち』政策分野 12～15

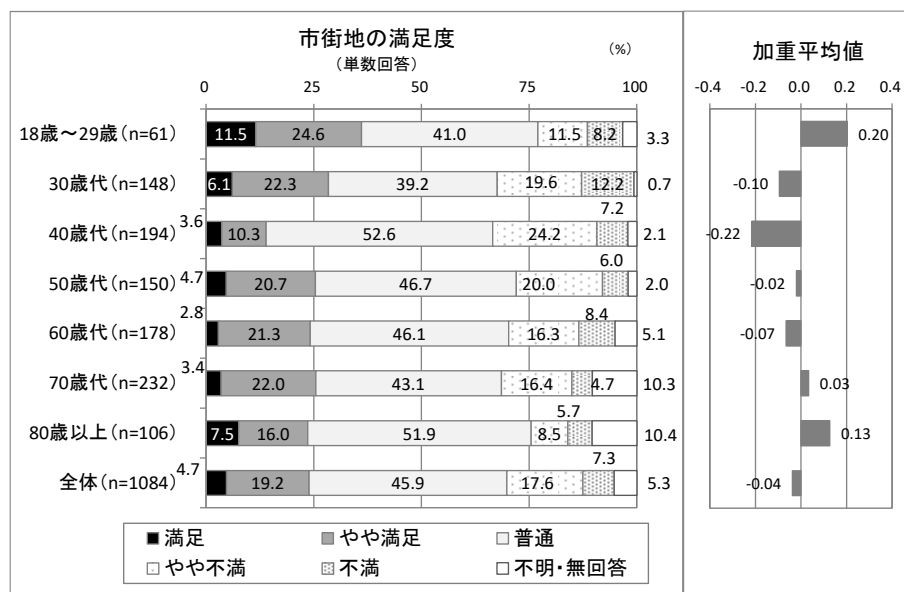
【政策分野 12 市街地】

① 満足度・重要度・今後の方向性



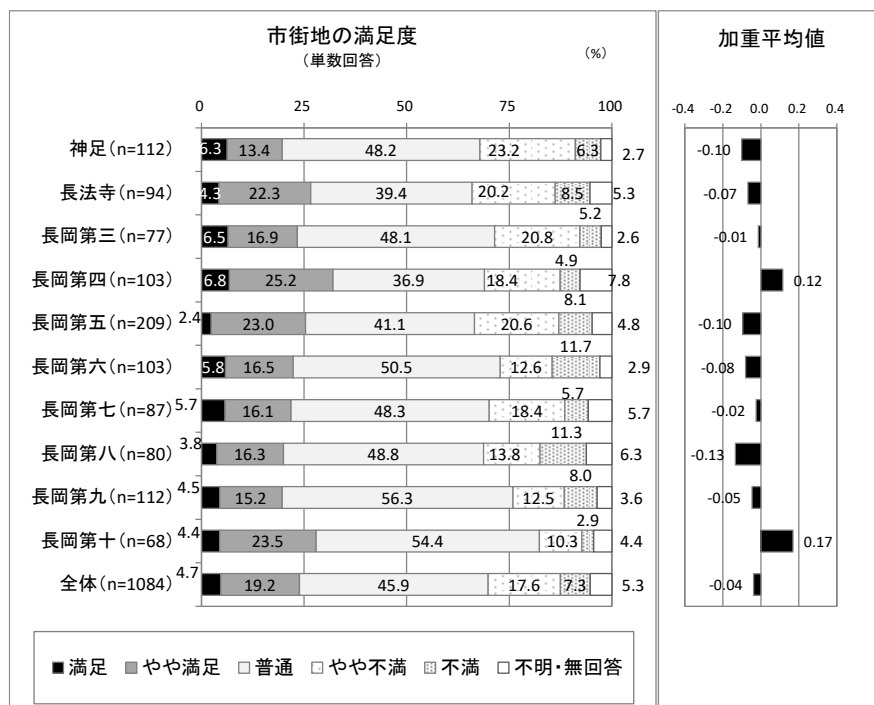
<年齢別の満足度>

「40 歳代」では「満足」「やや満足」が他の年代よりも少なくなっています。
加重平均値でみると、「18～29 歳」が最も高く、「40 歳代」と差があります。



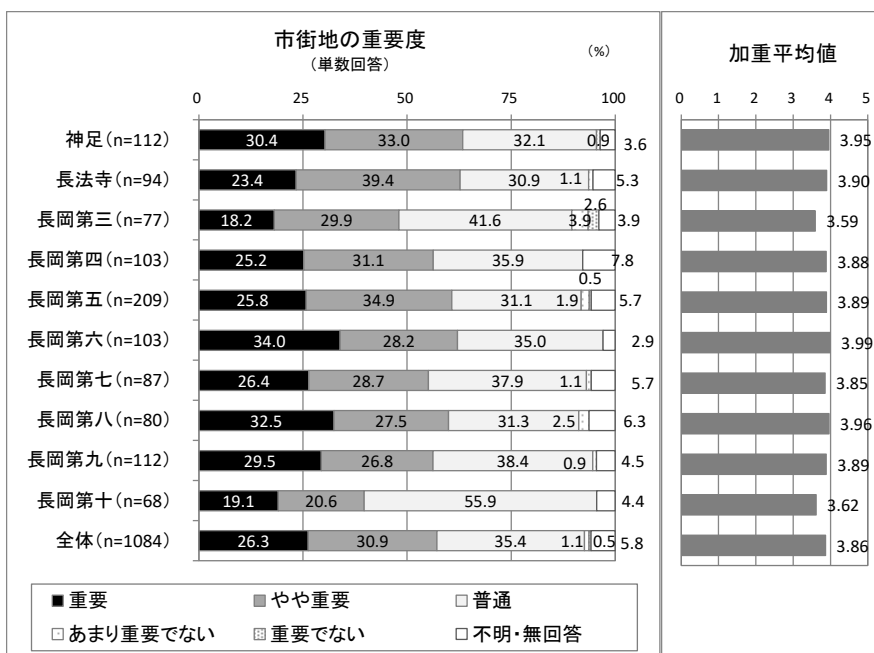
＜小学校区別の満足度＞

小学校区による差はみられません。



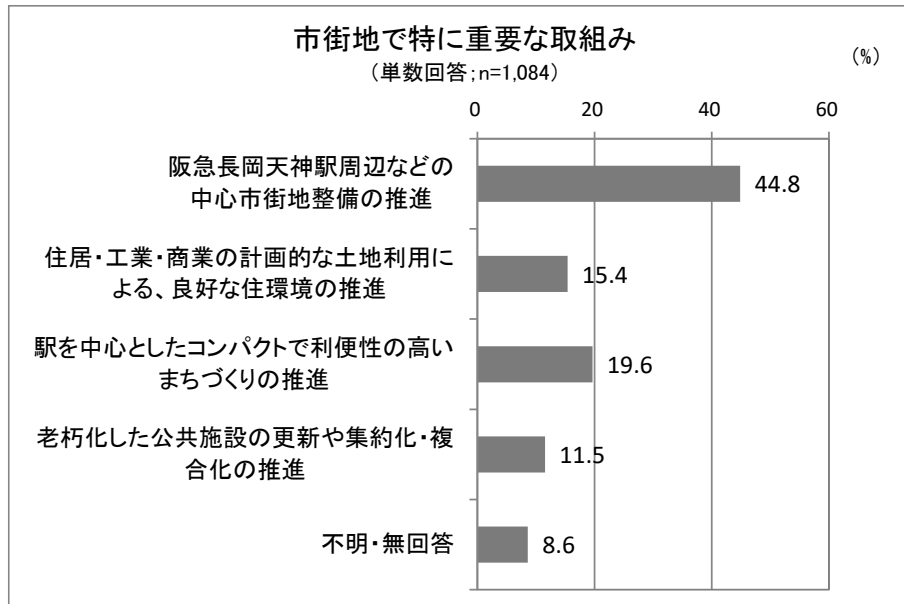
＜小学校区別の重要度＞

「重要」について、「長岡第六」が多く、「長岡第三」で少なくなっています。
加重平均値でみると、「長岡第六」が最も高く、「長岡第三」と差があります。



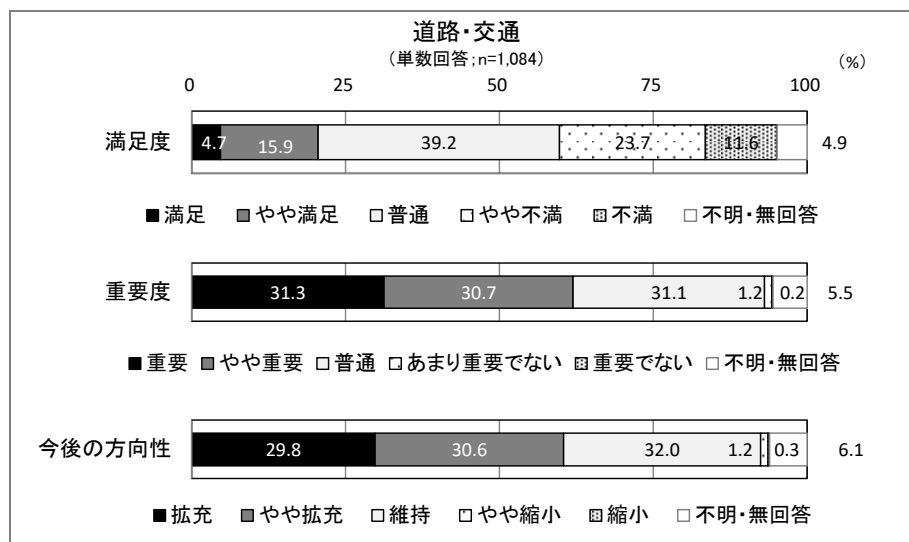
② 特に重要と思う取組み

「阪急長岡天神駅周辺などの中心市街地整備の推進」が最も多く 44.8%、次いで「駅を中心としたコンパクトで利便性の高いまちづくりの推進」が 19.6%などとなっています。



【政策分野 13 道路・交通】

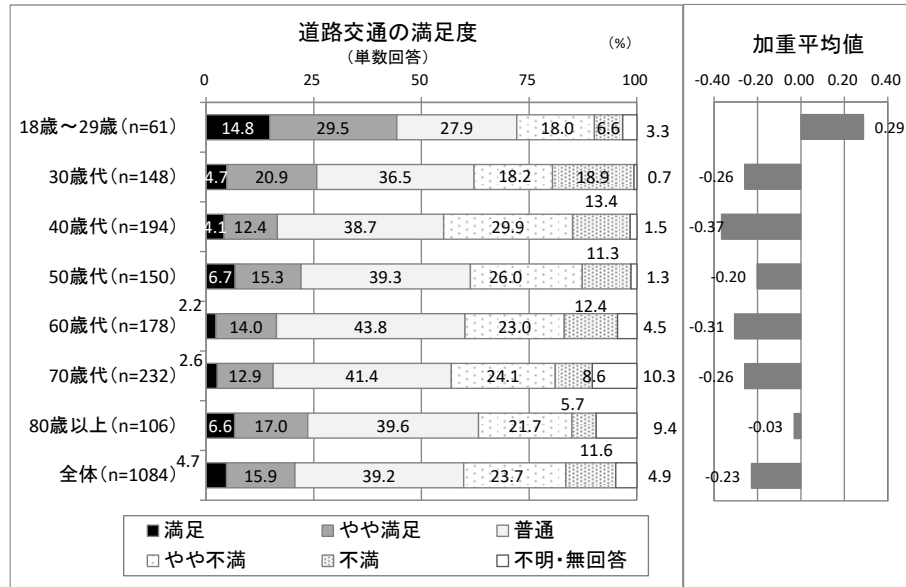
① 満足度・重要度・今後の方向性



＜年齢別の満足度＞

「18 歳～29 歳」では「満足」「やや満足」が他の年代よりも多く、「40 歳代」では「やや不満」が他の年代よりも多くなっています。

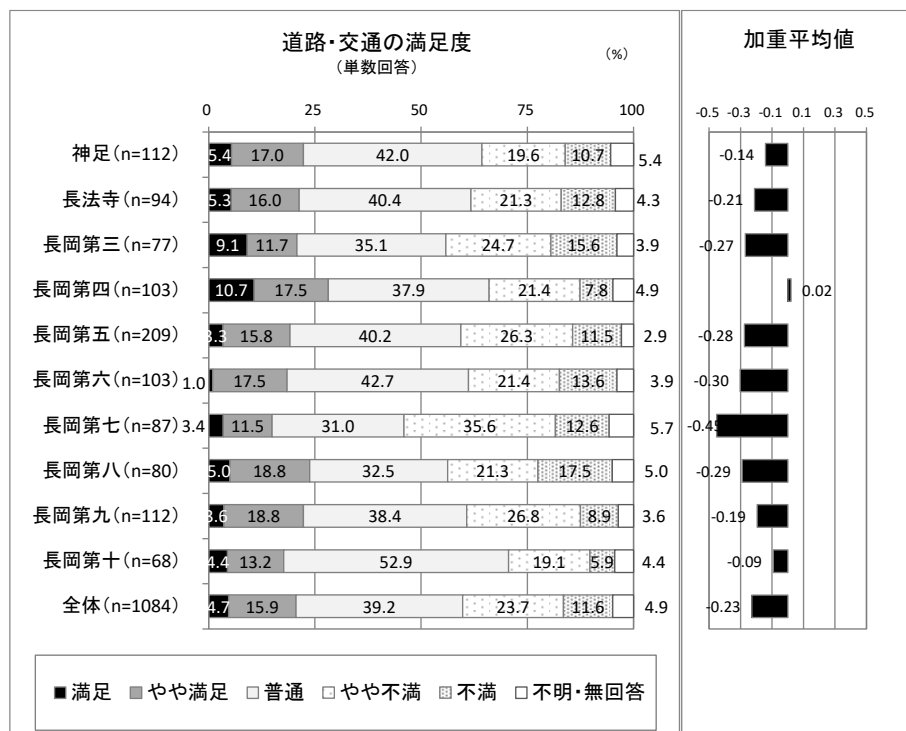
加重平均値でみると、「18～29 歳」が最も高く、他の年代と差があります。



＜小学校区別の満足度＞

「長岡第四」では「満足」が他の小学校区よりも多く、「長岡第七」では「やや不満」が他の小学校区よりも多くなっています。

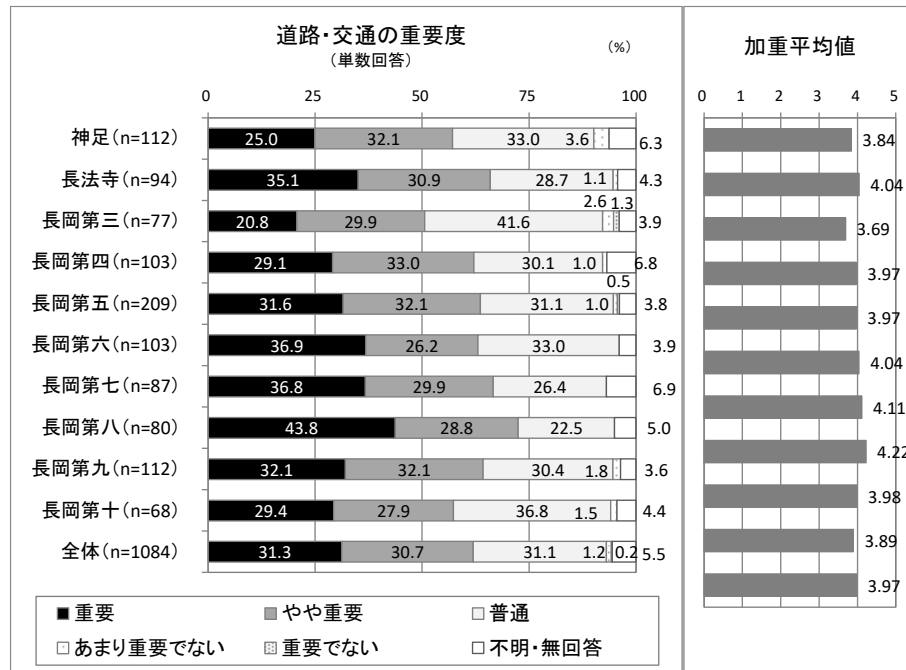
加重平均値でみると、「長岡第四」が最も高く、「長岡第七」と差があります。



＜小学校区別の重要度＞

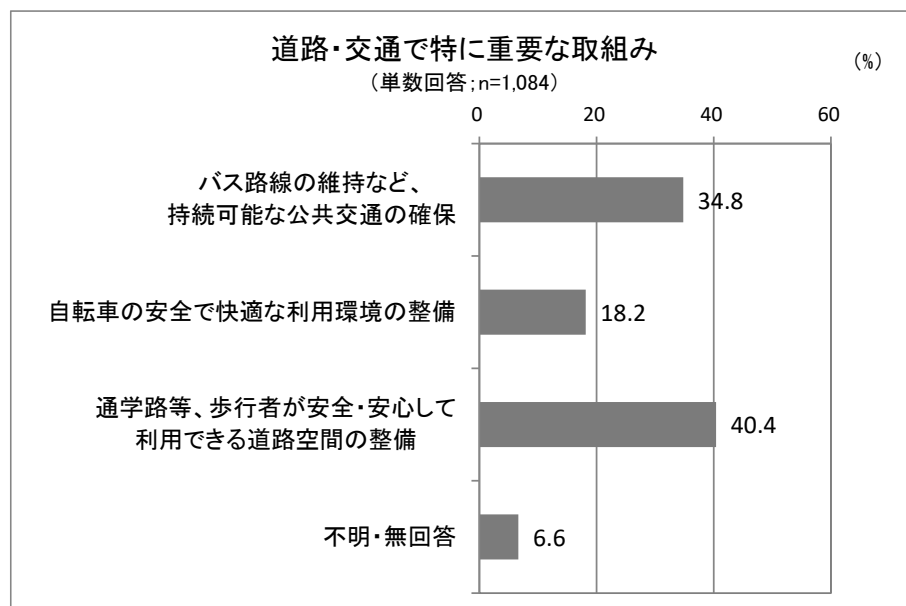
「長岡第三」では「重要」が他の小学校区よりも少なくなっています。

加重平均値でみると、「長岡第八」が最も高く、「長岡第三」と差があります。



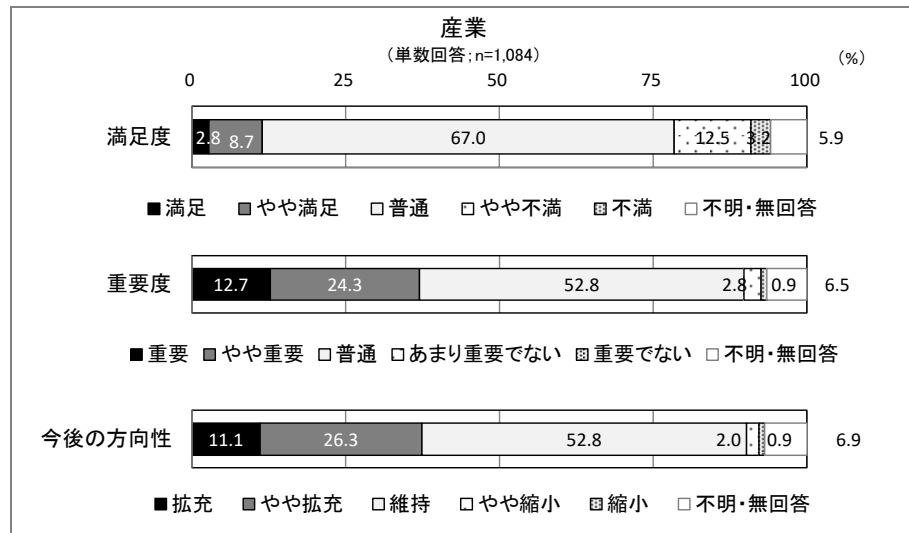
② 特に重要と思う取組み

「通学路等、歩行者が安全・安心して利用できる道路空間の整備」が最も多く 40.4%、次いで「バス路線の維持など、持続可能な公共交通の確保」が 34.8%などとなっています。



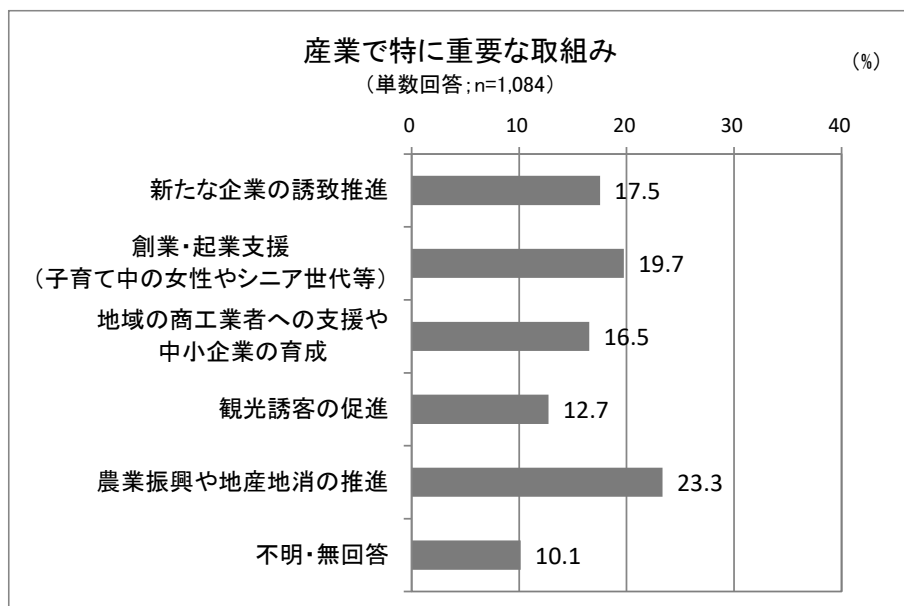
【政策分野 14 産業】

① 満足度・重要度・今後の方向性



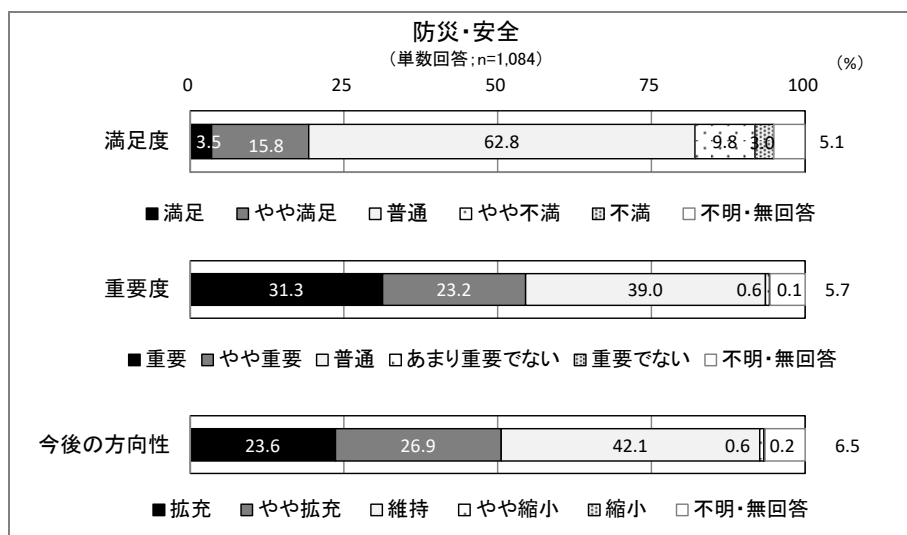
② 特に重要と思う取組み

「農業振興や地産地消の推進」が最も多く 23.3%、次いで「創業・起業支援（子育て中の女性やシニア世代等）」が 19.7%などとなっています。



【政策分野 15 防災・安全】

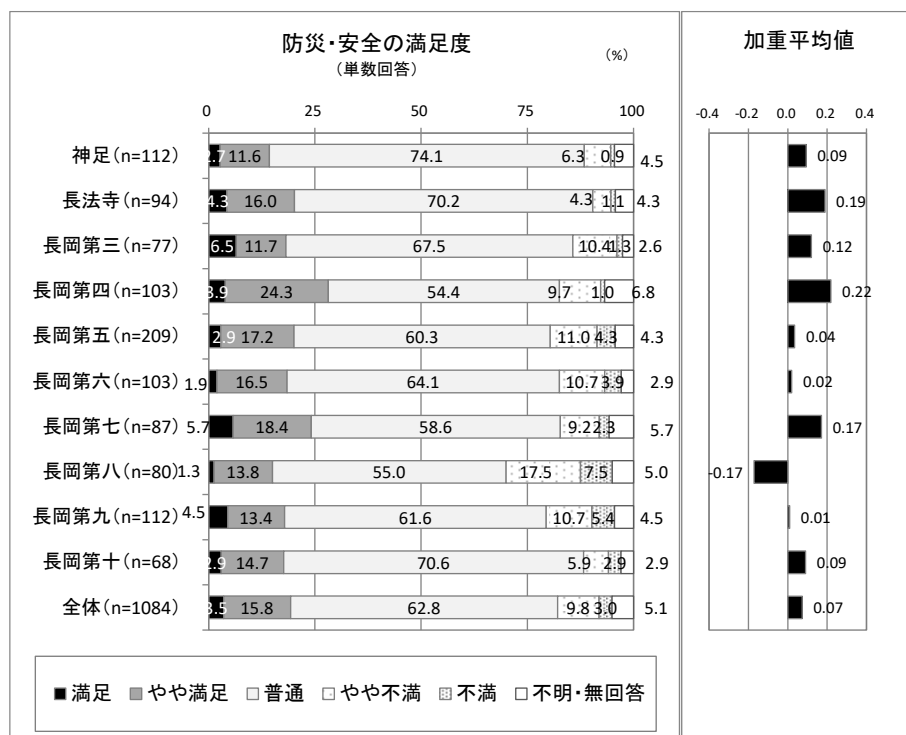
① 満足度・重要度・今後の方向性



＜小学校区別の満足度＞

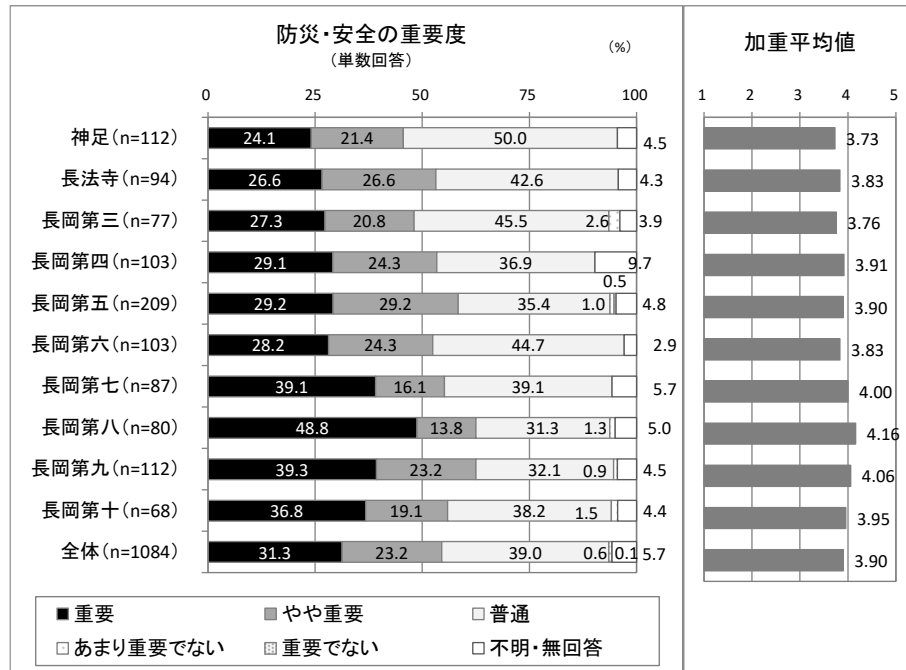
「長岡第四」では「やや満足」が他の小学校区より多くなっています。

加重平均値でみると、「長岡第四」が最も高く、「長岡第八」と差があります。



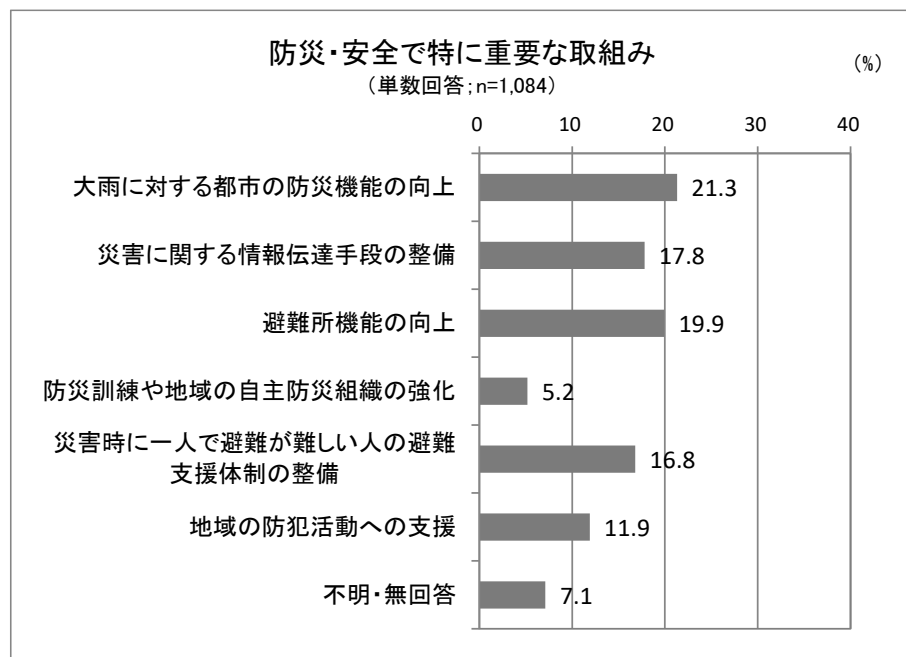
＜小学校区別の重要度＞

「長岡第八」では他の小学校区よりも「重要」が多くなっています。
加重平均値でみると、「長岡第八」が最も高く、「神足」と差があります。



② 特に重要と思う取組み

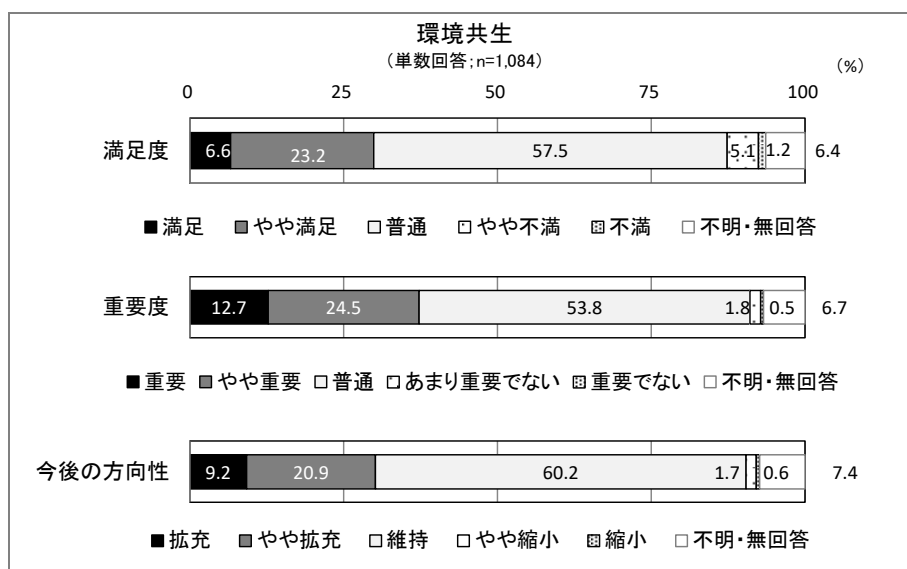
「大雨に対する都市の防災機能の向上」が最も多く 21.3%、次いで「避難所機能の向上」が 19.9%などとなっています。



■ 柱5『みどり』政策分野 16～19

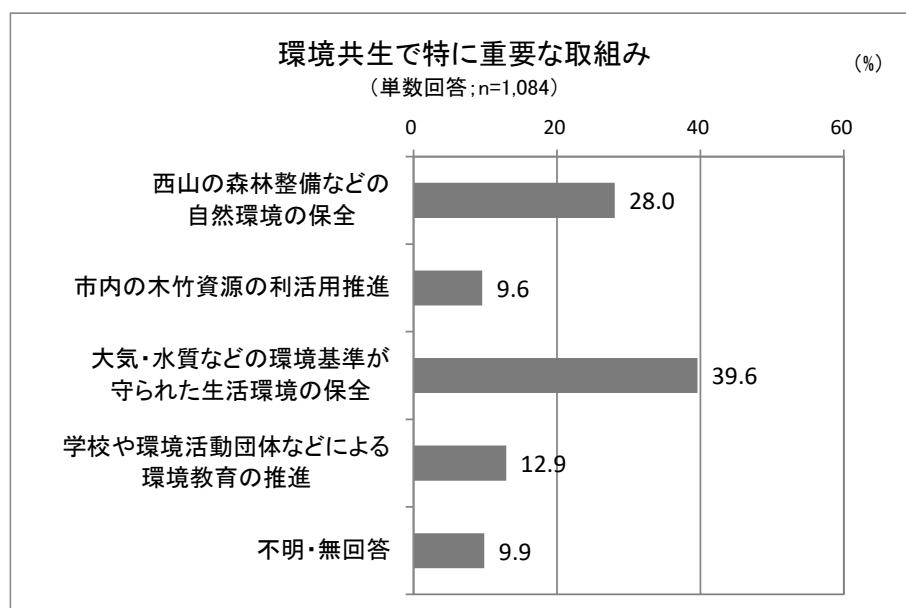
【政策分野 16 環境共生】

① 満足度・重要度・今後の方向性



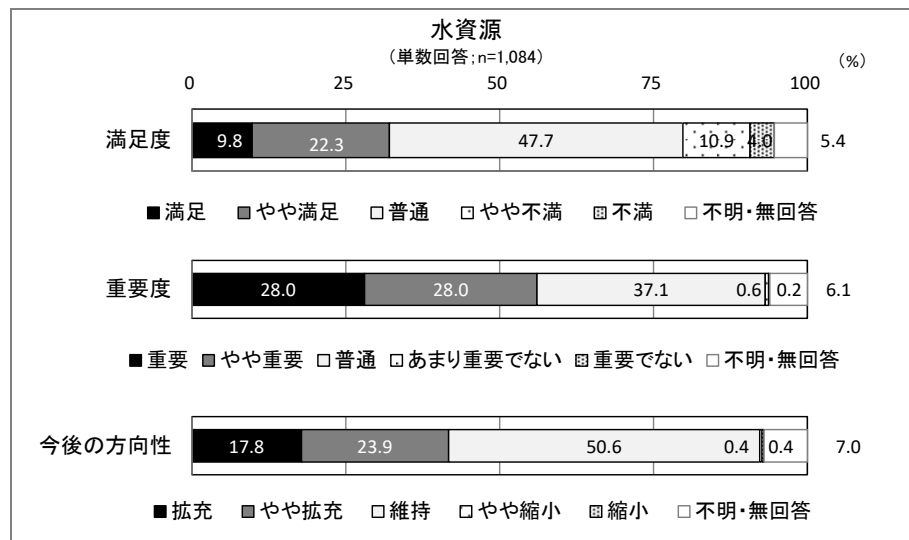
② 特に重要と思う取組み

「大気・水質などの環境基準が守られた生活環境の保全」が最も多く 39.6%、次いで「西山の森林整備などの自然環境の保全」が 28.0%などとなっています。



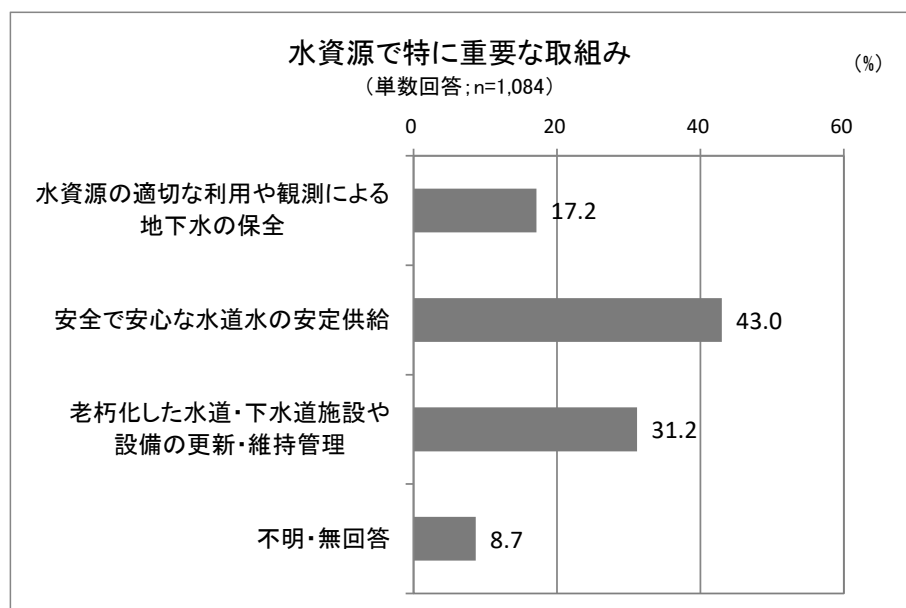
【政策分野 17 水資源】

① 満足度・重要度・今後の方向性



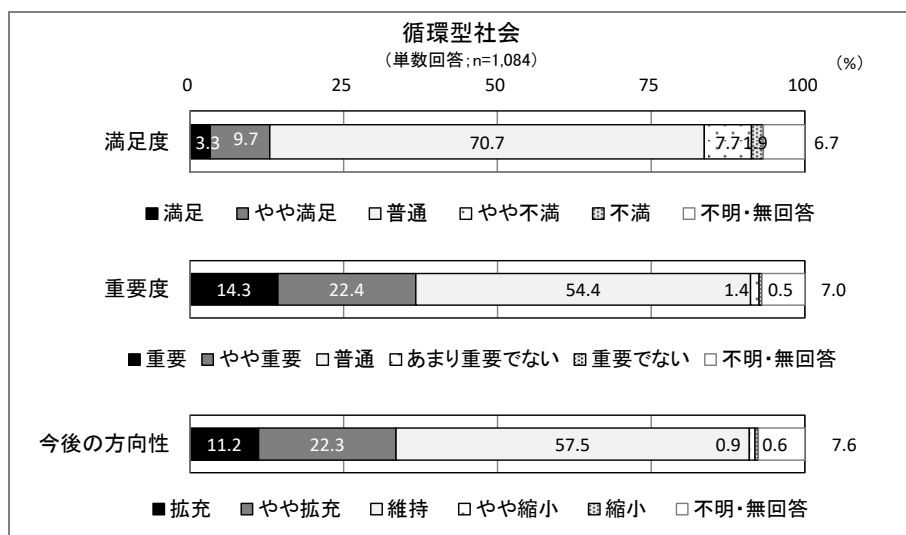
② 特に重要と思う取組み

「安全で安心な水道水の安定供給」が最も多く 43.0%、次いで「老朽化した水道・下水道施設や設備の更新・維持管理」が 31.2%などとなっています。



【政策分野 18 循環型社会】

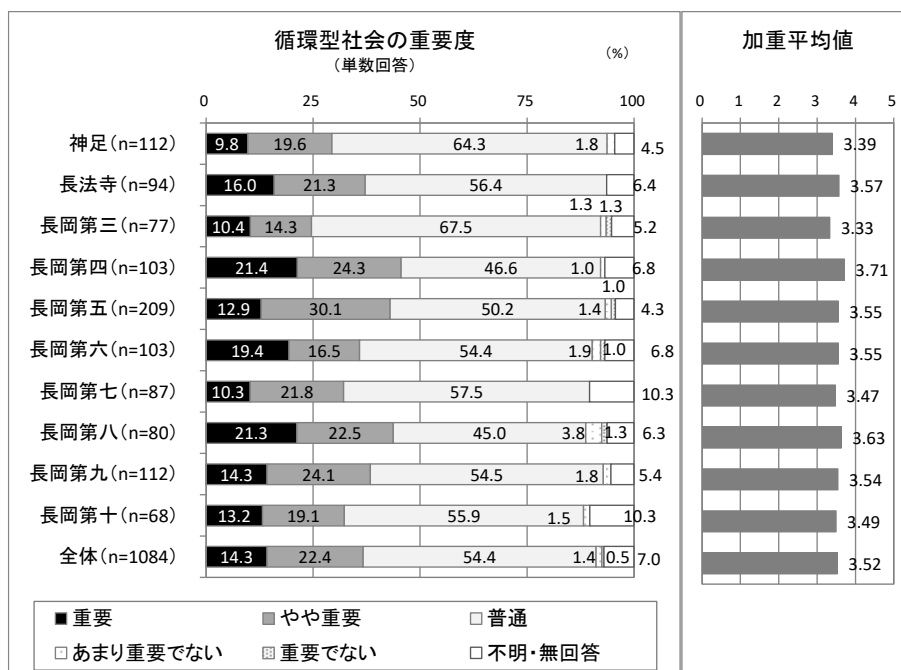
① 満足度・重要度・今後の方向性



＜小学校区別の重要度＞

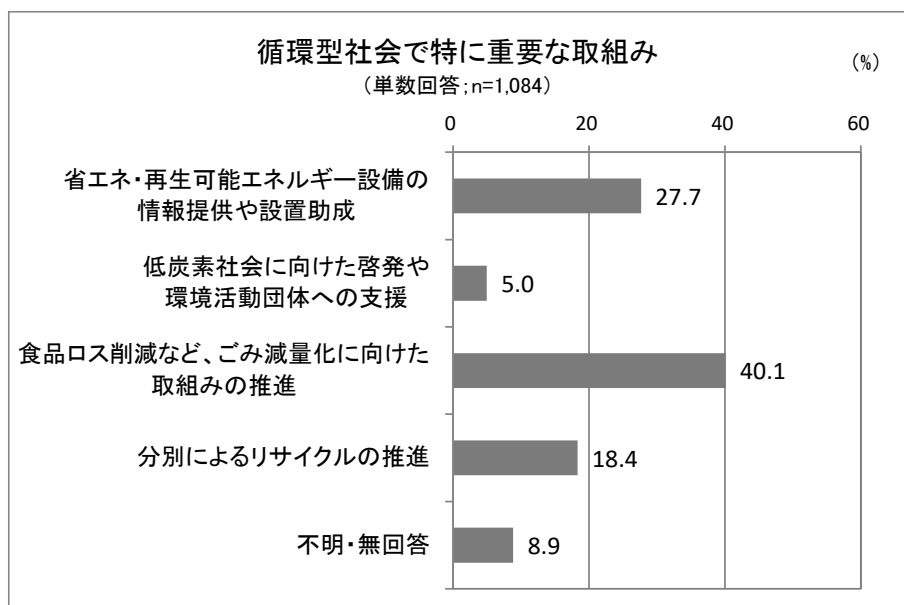
「長岡第四」では他の小学校区よりも「重要」が多くなっています。

加重平均値でみると、「長岡第四」が最も高く、「長岡第三」と差があります。



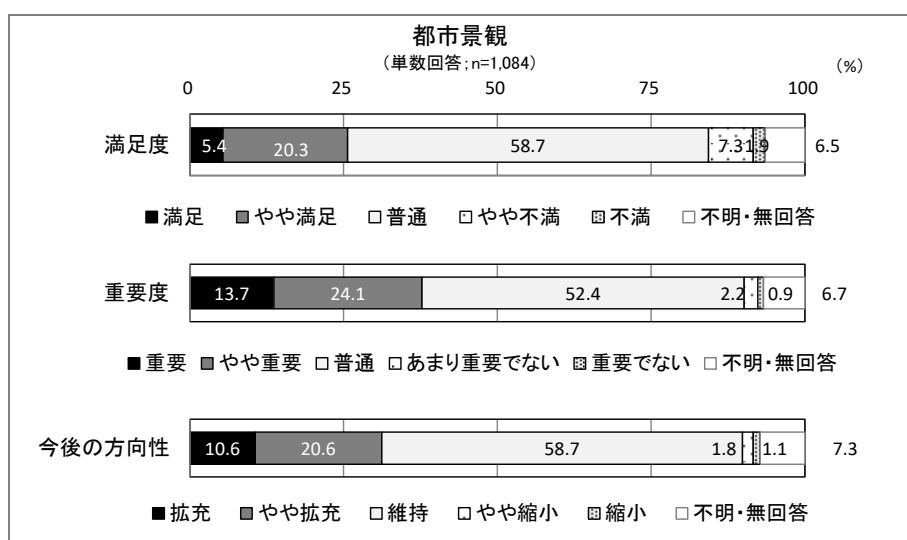
② 特に重要と思う取組み

「食品ロス削減など、ごみ減量化に向けた取組みの推進」が最も多く 40.1%、次いで「省エネ・再生可能エネルギー設備の情報提供や設置助成」が 27.7%などとなっています。



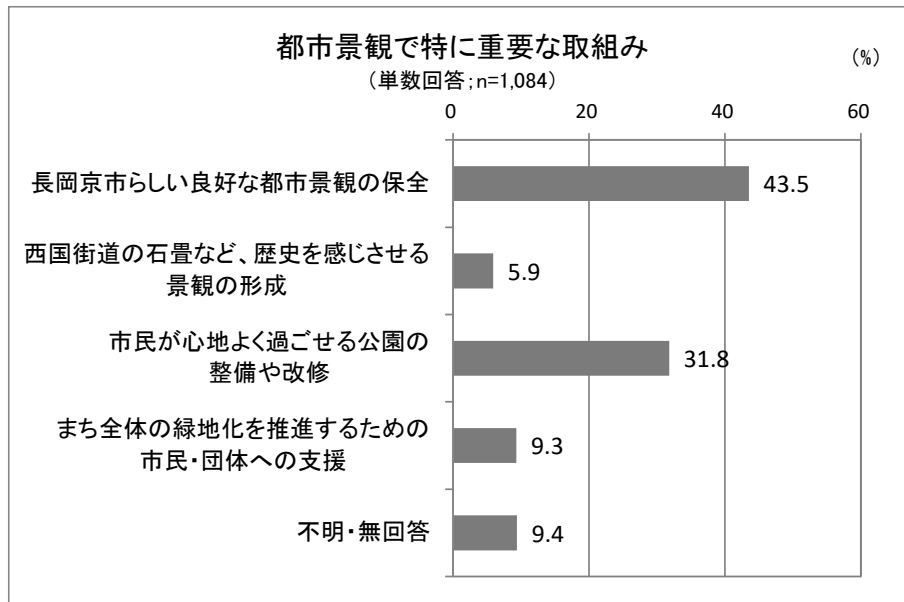
【政策分野 19 都市景観】

① 満足度・重要度・今後の方向性



② 特に重要と思う取組み

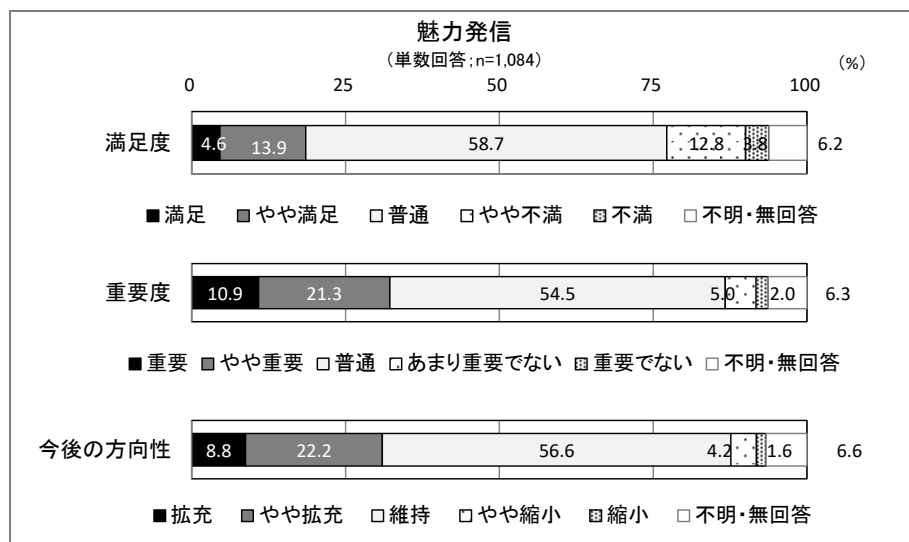
「長岡京市らしい良好な都市景観の保全」が最も多く 43.5%、次いで「市民が心地よく過ごせる公園の整備や改修」が 31.8%などとなっています。



■ 柱6『けいえい』政策分野 20～21

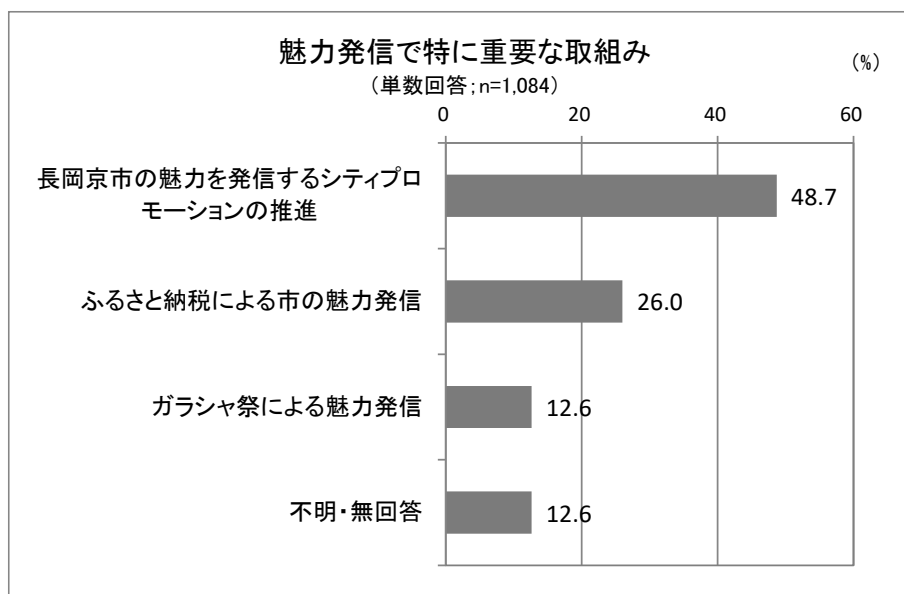
【政策分野 20 魅力発信】

① 満足度・重要度・今後の方向性



② 特に重要と思う取組み

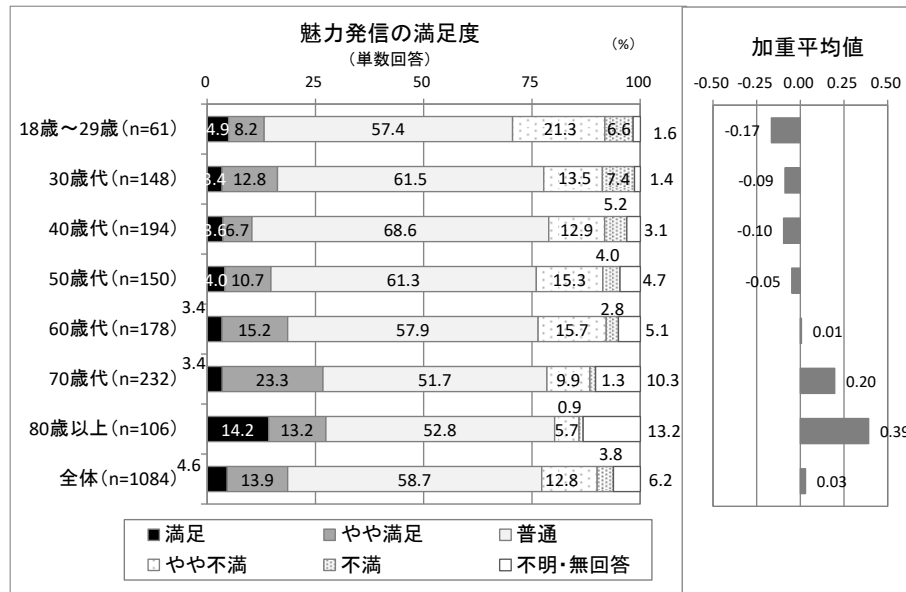
「長岡京市の魅力を発信するシティプロモーションの推進」が最も多く 48.7%、次いで「ふるさと納税による市の魅力発信」が 26.0%などとなっています。



＜年齢別の満足度＞

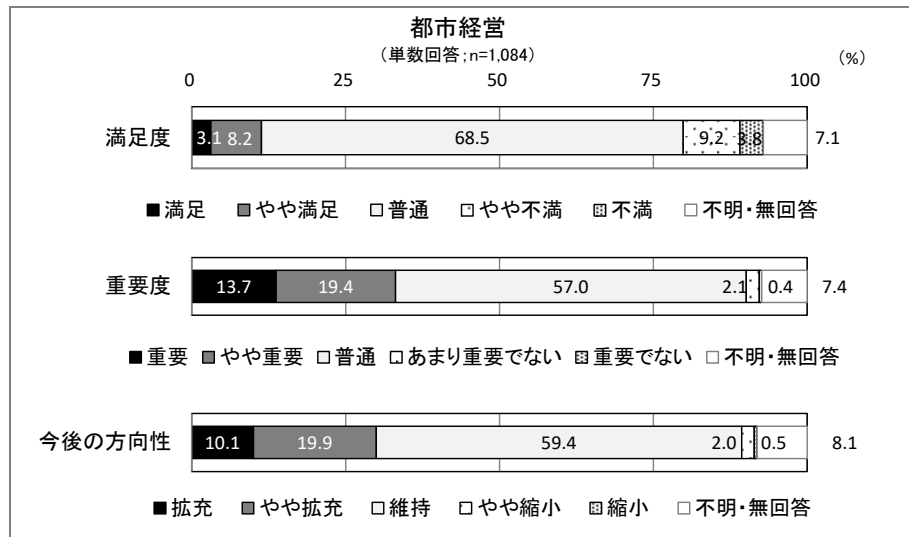
「70 歳代」「80 歳以上」では「満足」「やや満足」が他の年代よりも多く、「18～29 歳」では「やや不満」が他の年代よりも多くなっています。

加重平均値でみると、「80 歳以上」が最も高く、「18～29 歳」「30 歳代」「40 歳代」と差があります。



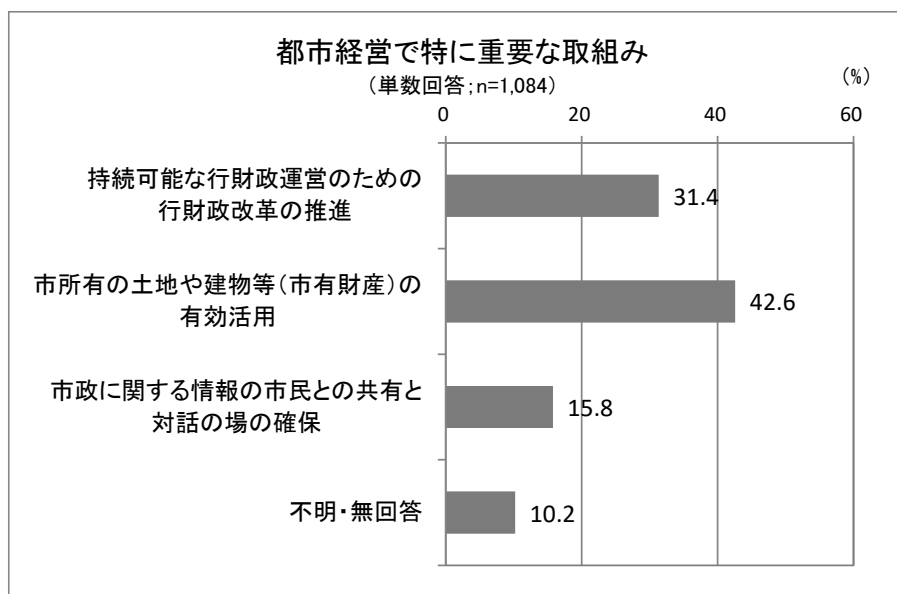
【政策分野 21 都市経営】

① 満足度・重要度・今後の方向性



② 特に重要と思う取組み

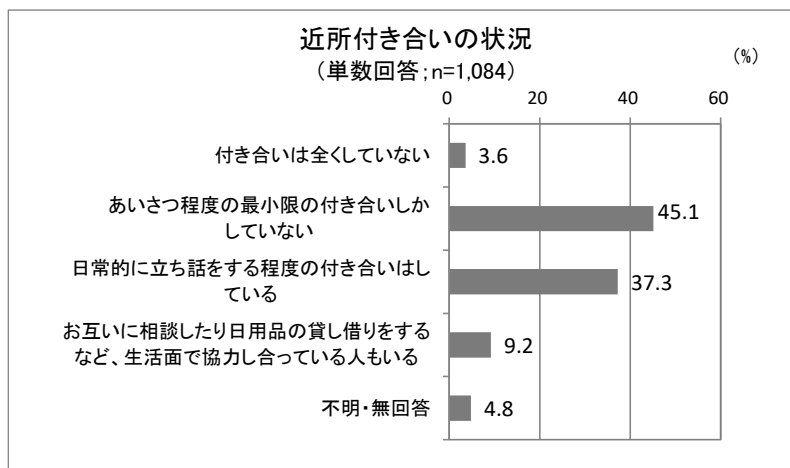
「市所有の土地や建物等（市有財産）の有効活用」が最も多く 42.6%、次いで「持続可能な行財政運営のための行財政改革の推進」が 31.4%などとなっています。



4. 地域との関わりについて

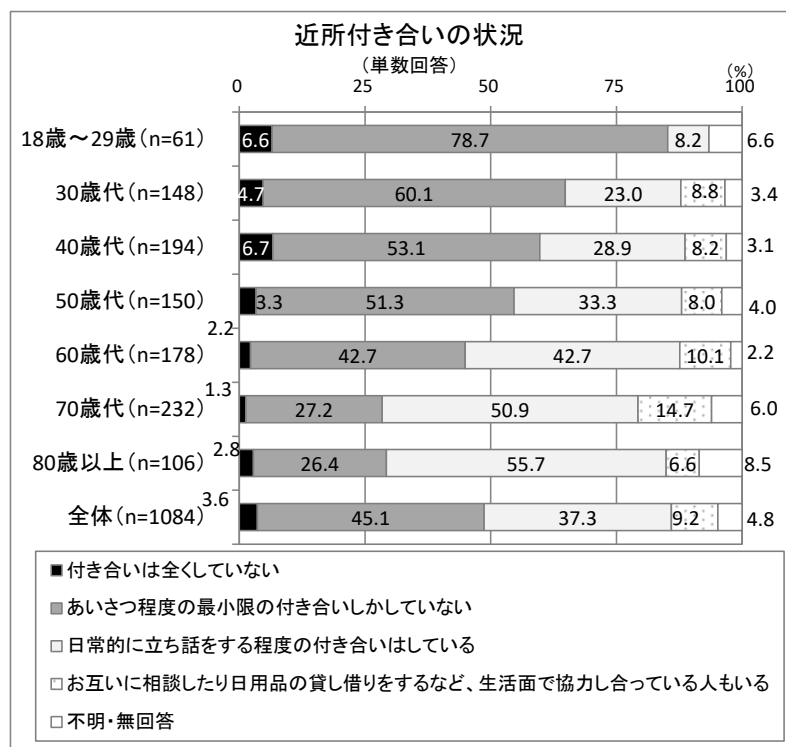
(1) 近所付き合いの状況

「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が最も多く 45.1%、次いで「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」が 37.3%などとなっています。



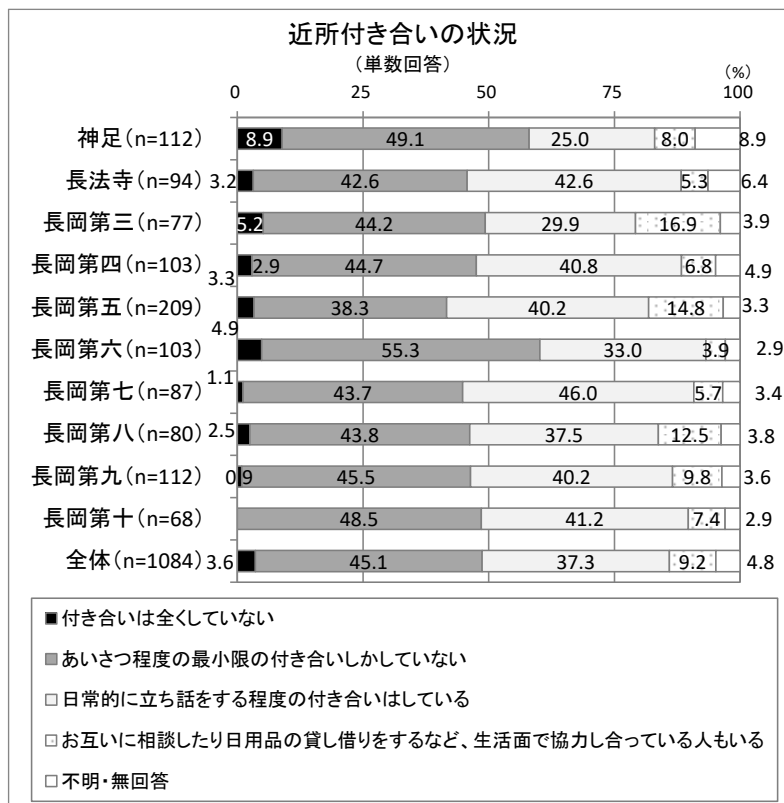
<年齢別>

「50 歳代以下」では「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が最も多くなっています。また、「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」は「18～29 歳」「30 歳代」「40 歳代」では少なく、「70 歳代」「80 歳代以上」では多くなっています。



＜小学校区別＞

「長岡第三」「長岡第五」では、「お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいます」が他の小学校区よりも多くなっています。

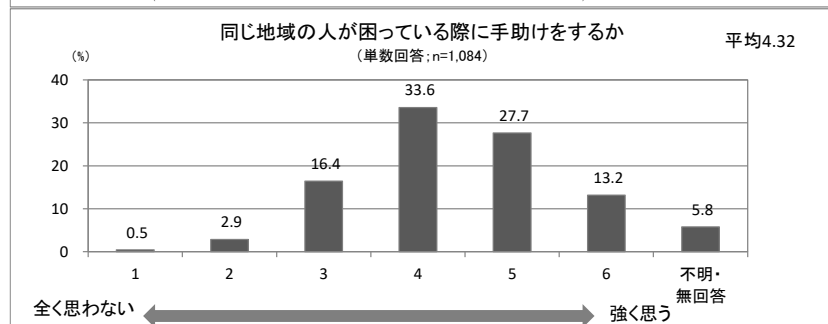
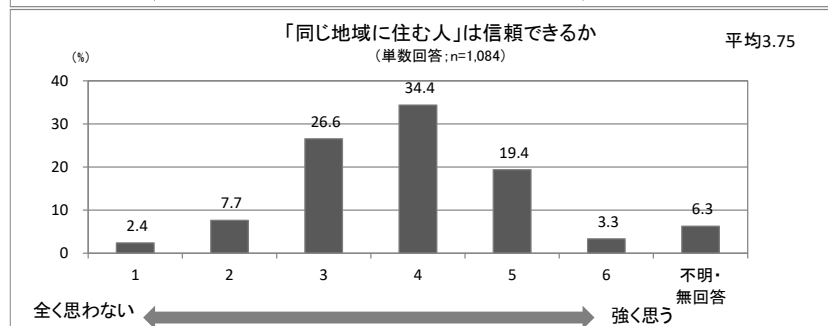
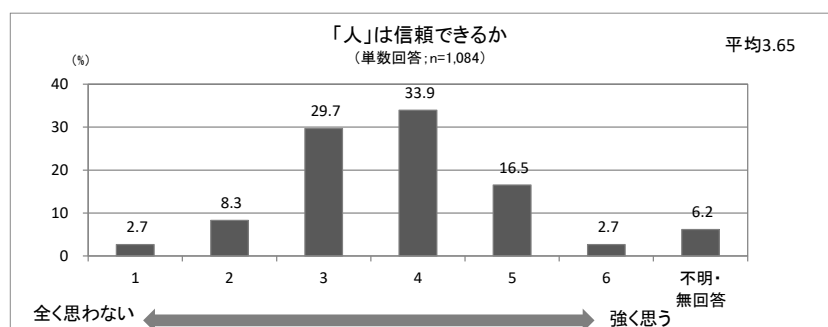
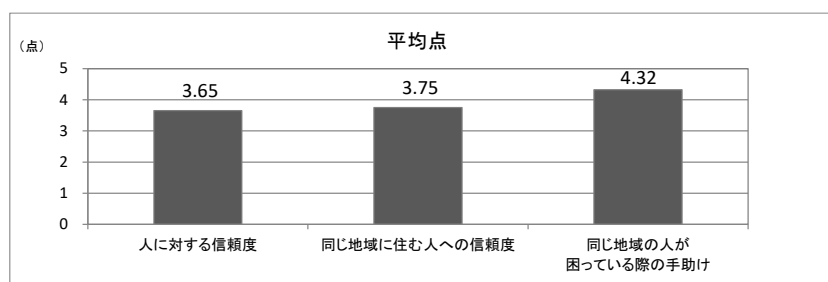


(2)「人への信頼」に関する考え方

「人に対する信頼度」の平均点は3.65となっています。6段階で「4」が最も多く33.9%、次いで「3」が29.7%となっています。

「同じ地域に住む人への信頼度」の平均点は3.75となっています。6段階で「4」が最も多く34.4%、次いで「3」が26.6%となっています。

「同じ地域の人が困っている際の手助け」の平均点は4.32となっています。6段階で「4」が最も多く33.6%、次いで「5」が27.7%となっています。



（３）地域・団体活動への参加状況

「参加していない」は「国際協力活動」が最も多く 87.4%、次いで「高齢者・障がい者の福祉活動」が 80.8%などとなっています。

「年に数回程度」は「自治会の活動」が最も多く 34.3%、次いで「環境活動」が 15.9%などとなっています。

「月に１回程度」は「自治会の活動」が最も多く 7.7%、次いで「スポーツ・文化活動」が 3.8%などとなっています。

「月に２ - ３回程度」は「スポーツ・文化活動」が最も多く 3.8%、次いで「自治会の活動」が 2.7%などとなっています。

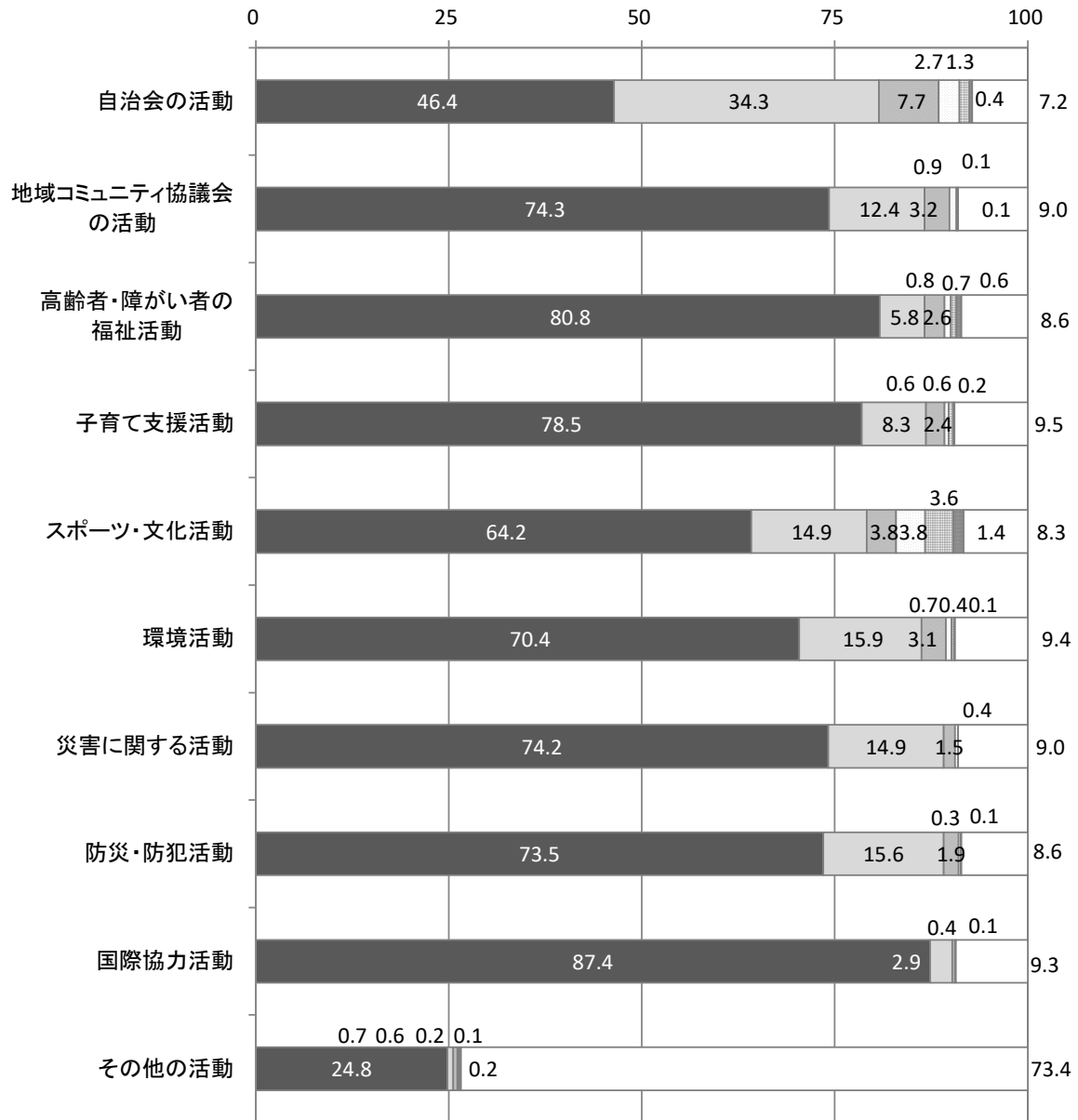
「週に１ - ２回程度」は「スポーツ・文化活動」が最も多く 3.6%、次いで「自治会の活動」が 1.3%などとなっています。

「週に３日以上」は「スポーツ・文化活動」が最も多く 1.4%、次いで「高齢者・障がい者の福祉活動」が 0.6%などとなっています。

地域・団体活動への参加状況

(単数回答; n=1,084)

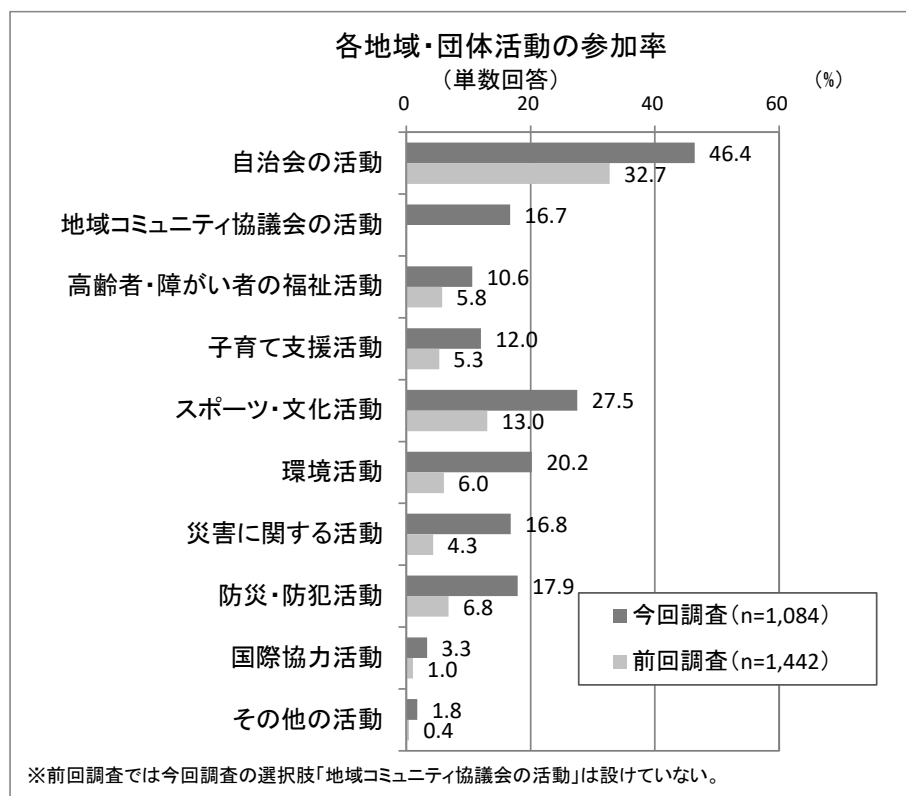
(%)



■ 参加していない ■ 年に数回 程度 ■ 月に1回 程度 □ 月に2-3回程度
 ■ 週に1-2回程度 ■ 週に3日以上 □ 不明・無回答

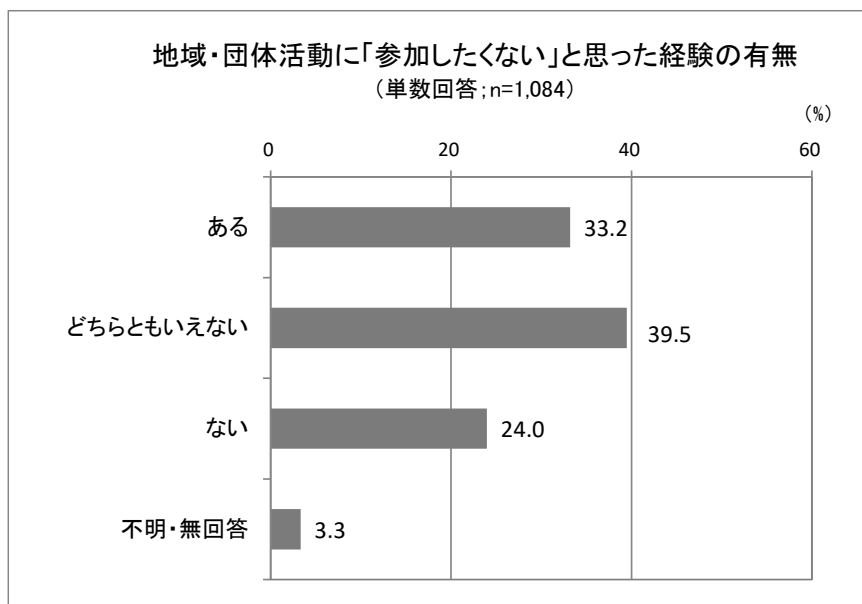
■ 前回調査との比較

各地域・団体活動の参加率について、すべての活動で前回調査から多くなっています。また、前回調査、今回調査ともに「自治会の活動」の参加が最も高くなっています。



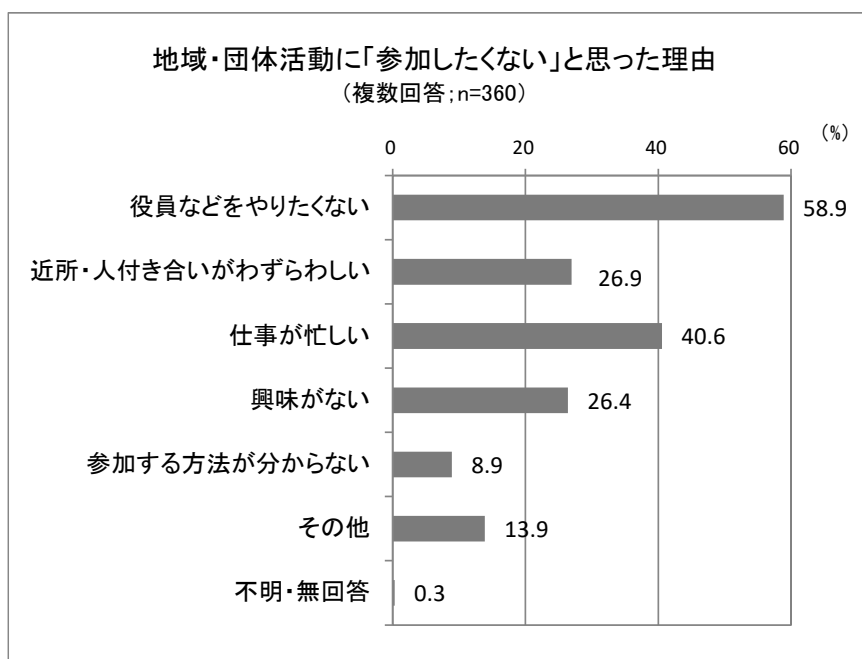
（４）地域・団体活動に「参加したくない」と思った経験の有無

「どちらともいえない」が最も多く 39.5%、次いで「ある」が 33.2%、「ない」が 24.0%となっています。



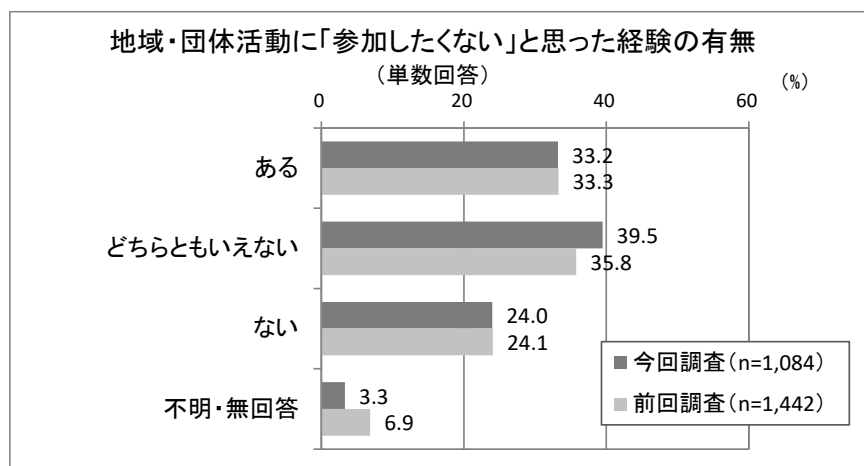
【地域・団体活動に「参加したくない」と思った理由】

「参加したくない」と思った経験が「ある」と回答した人について、その理由は「役員などをやりたくない」が最も多く 58.9%、次いで「仕事が忙しい」が 40.6%などとなっています。



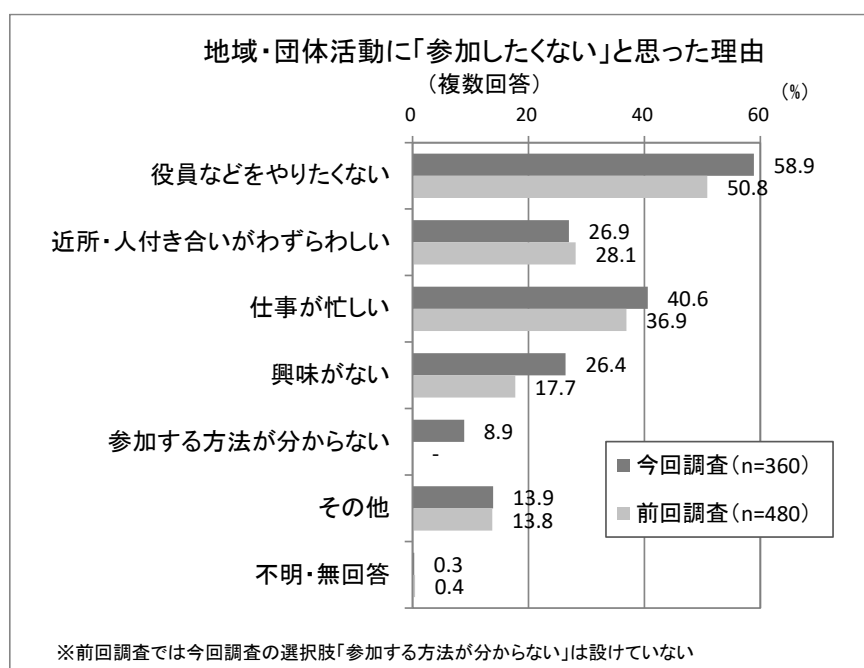
■ 前回調査との比較

前回調査、今回調査ともに「どちらともいえない」が最も多くなっています。



【地域・団体活動に「参加したくない」と思った理由】(参考)

前回調査、今回調査ともに「役員などをやりたくない」が最も多く、次いで「仕事が忙しい」などとなっています。



※ 上記の「前回調査」の数値について、前回調査の結果報告書「長岡京市第4次総合計画資料編」では、「不明・無回答」を含めない計算方法のため上記の数値とは異なる。

■ ソーシャルキャピタルについて（参考）

ソーシャルキャピタル（社会関係資本（social capital）は、「人や地域への信頼感」「助け合いの意識（互酬性）」「各種地域活動への参加状況」として捉えられ、公共政策や公衆衛生をはじめ様々な分野において、政策効果をもたらす基盤となるものとして、また、あらゆる主体が関わる地域づくりにおいて不可欠な要素として、その重要性が科学的に明らかにされています。また、広く「地域力」として言われています。

具体的に今回調査では、「近所づきあいの状況」「人への信頼」に関する考え方「地域・団体活動への参加状況」の項目で長岡京市のソーシャルキャピタルを調査しています。

（長岡京市の「ソーシャルキャピタル」）

「近所づきあいの状況」「人への信頼」に関する考え方「地域・団体活動への参加状況」について、加重平均値でソーシャルキャピタルを数値化すると 2.85 となっています。

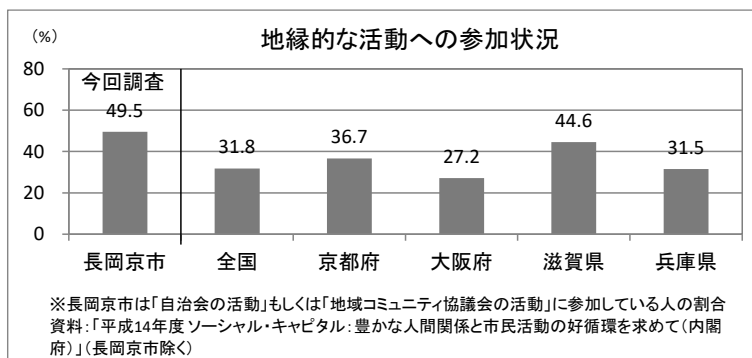
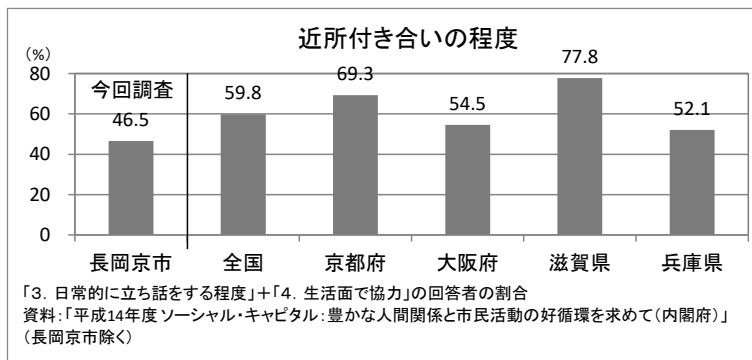
※ 「近所づきあいの状況」については、「付き合いは全くしていない：1点」「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない：2点」「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている：3点」「お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる：4点」の値を与えて、加重平均値を算出した。

※ 「人への信頼」については、選択肢の数字を与えて、加重平均値を算出

※ 「地域・団体活動への参加状況」については、「自治会の活動」あるいは「地域コミュニティ協議会の活動」のいずれかについて「参加している：1点」「参加していない：0点」の値を与えて、加重平均値を算出した。

（全国・近隣府県との比較）

全国、近隣府県と比較し、「近所づきあいの状況」は大きく下回り、「地縁的な活動」については上回っています。

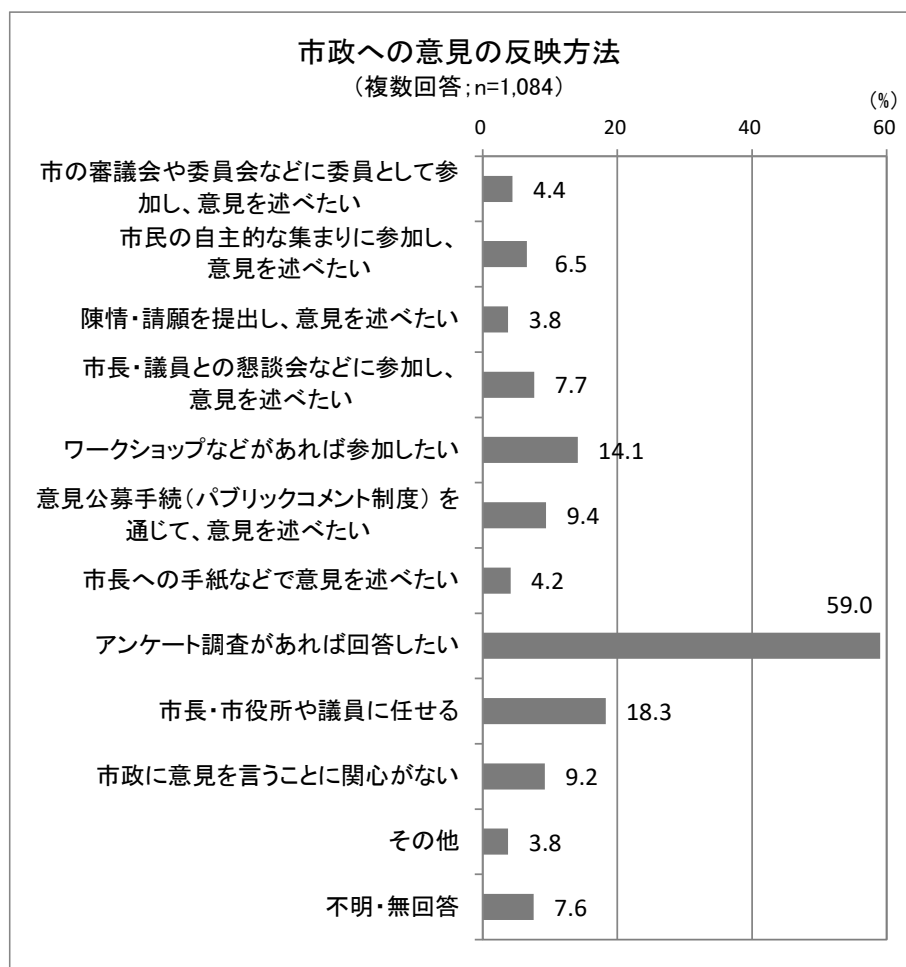


※ 内閣府調査とは調査票の構成が異なり、WEB 調査を含む点、調査実施からやや年数を経ていることに留意が必要

5. 市政への関わりについて

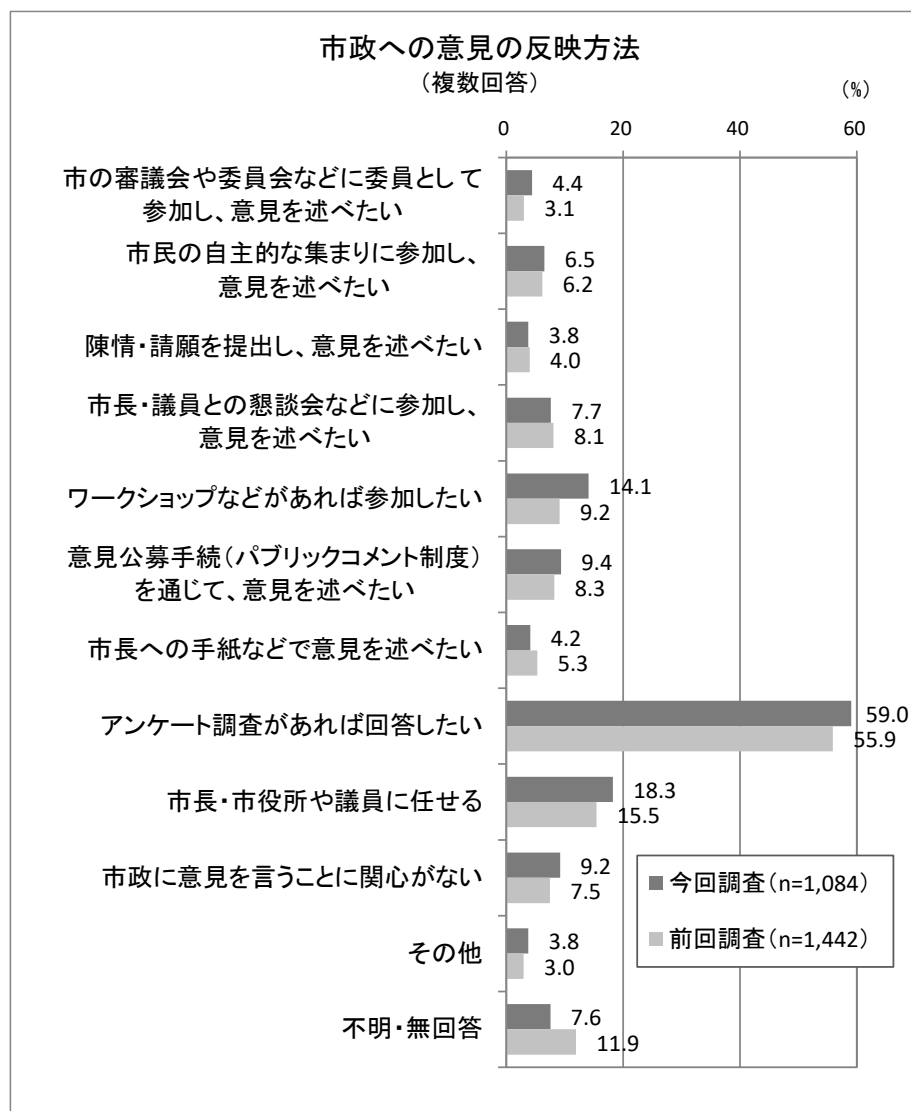
(1) 市政への意見の反映方法

「アンケート調査があれば回答したい」が最も多く 59.0%、次いで「市長・市役所や議員に任せる」が 18.3%、「ワークショップなどがあれば参加したい」が 14.1%などとなっています。



■ 前回調査との比較

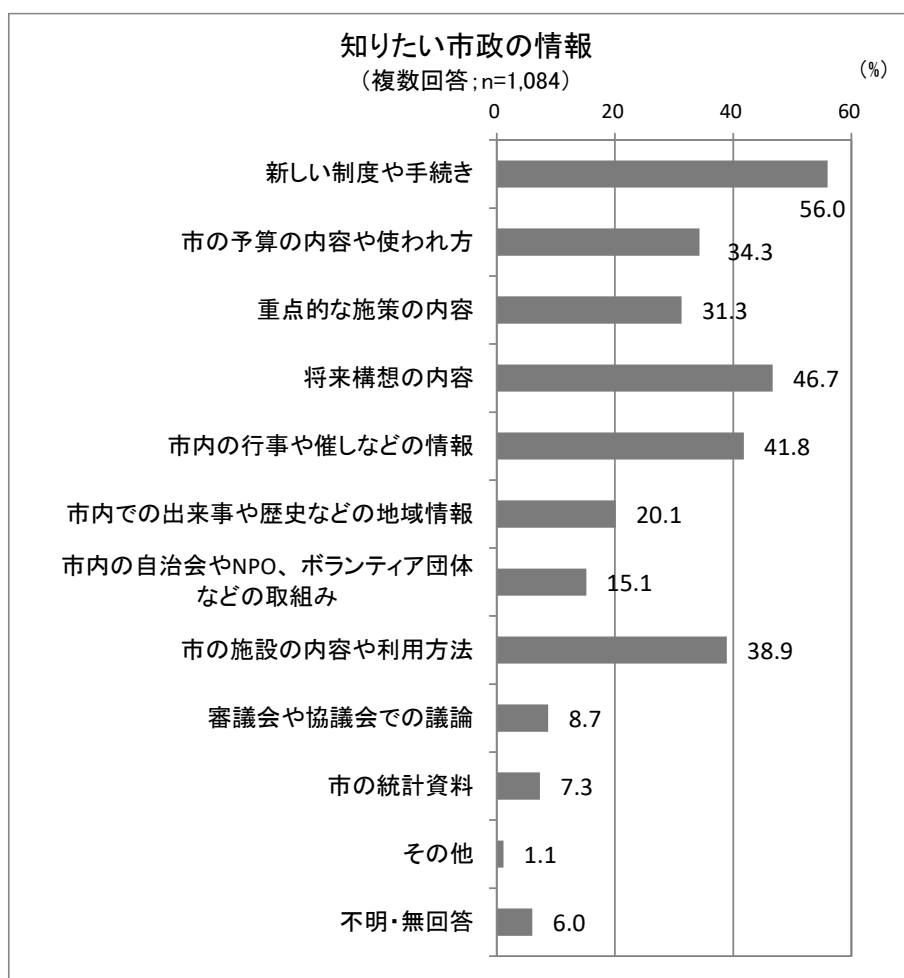
前回調査、今回調査ともに「アンケート調査があれば回答したい」が最も多く、次いで「市長・市役所や議員に任せる」「ワークショップなどがあれば参加したい」などとなっています。



※ 上記の「前回調査」の数値について、前回調査の結果報告書「長岡京市第4次総合計画資料編」では、「不明・無回答」を含めない計算方法のため上記の数値とは異なる。

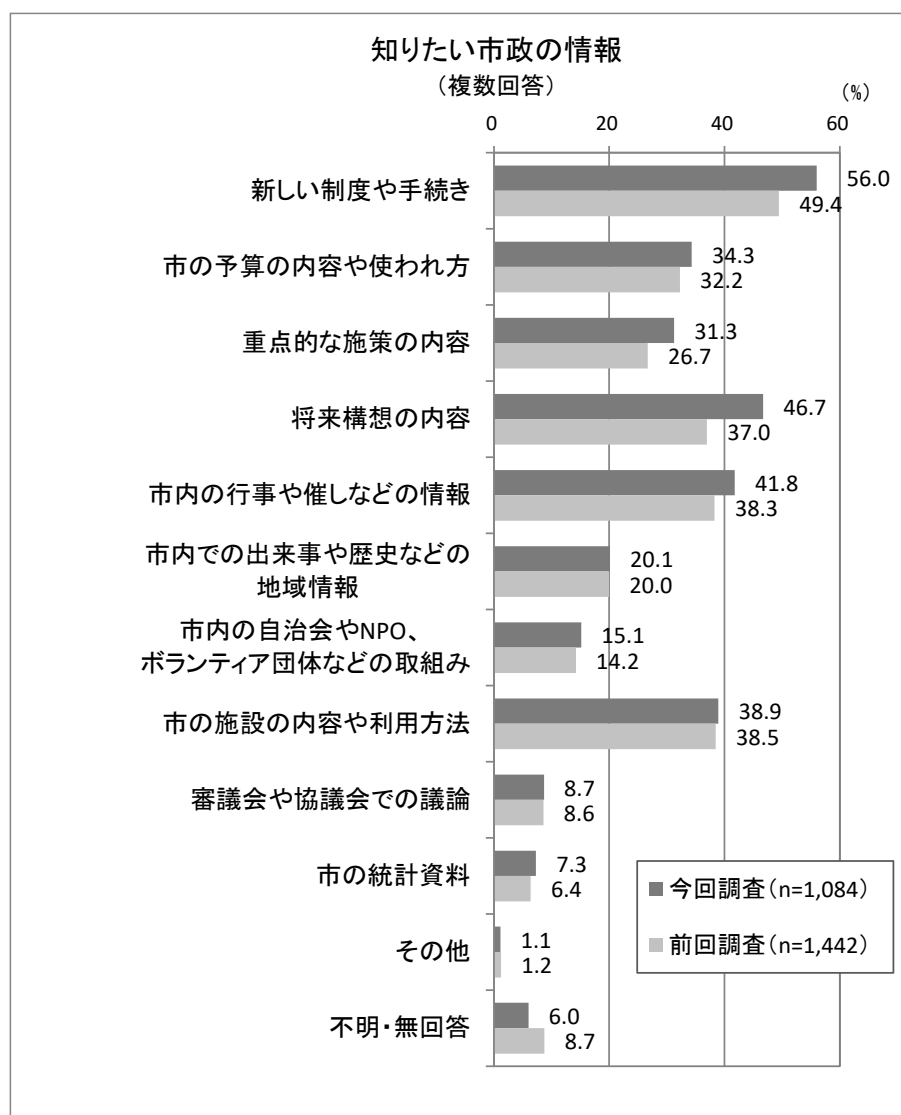
(2) 知りたい市政の情報

「新しい制度や手続き」が最も多く 56.0%、次いで「将来構想の内容」が 46.7%、「市内の行事や催しなどの情報」が 41.8%などとなっています。



■ 前回調査との比較

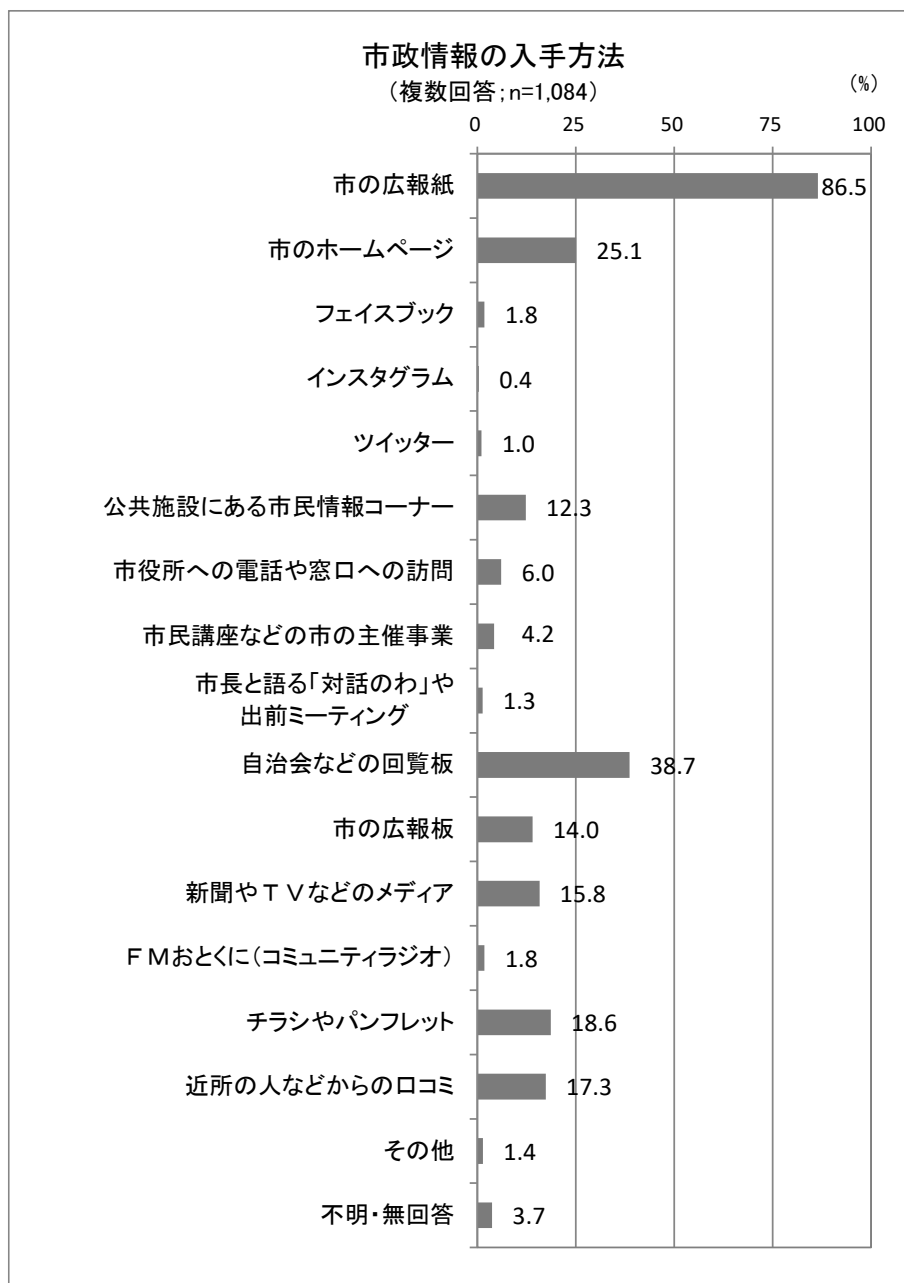
前回調査、今回調査ともに「新しい制度や手続き」が最も多くなっています。
また、前回調査から「将来構想の内容」が多くなっています。



※ 上記の「前回調査」の数値について、前回調査の結果報告書「長岡京市第4次総合計画資料編」では、「不明・無回答」を含めない計算方法のため上記の数値とは異なる。

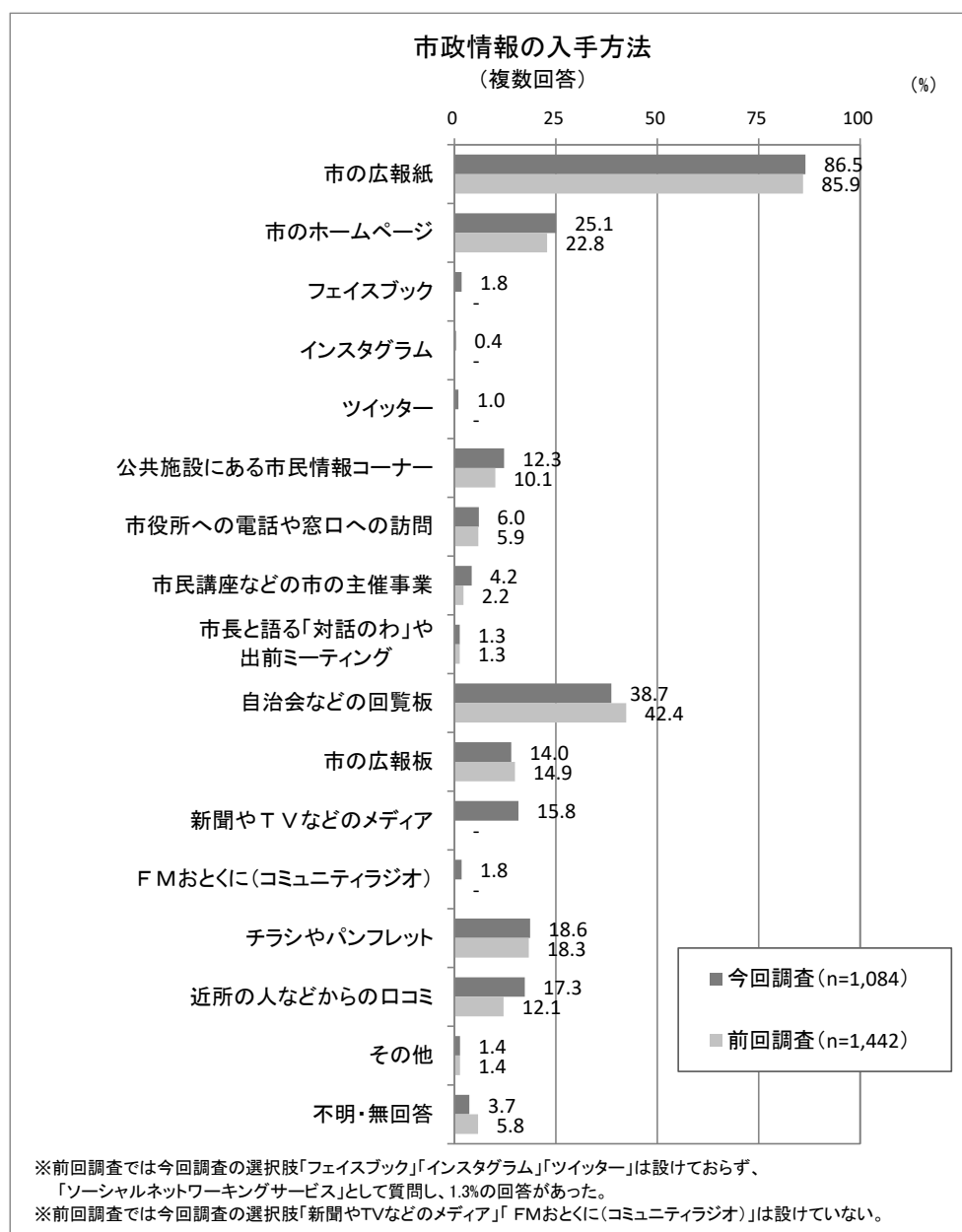
（３）市政情報の入手方法

「市の広報紙」が最も多く 86.5%、次いで「自治会などの回覧板」が 38.7%、「市のホームページ」が 25.1%などとなっています。



■ 前回調査との比較（参考）

前回調査、今回調査ともに「市の広報紙」が最も多く、次いで「自治会などの回覧板」などとなっています。

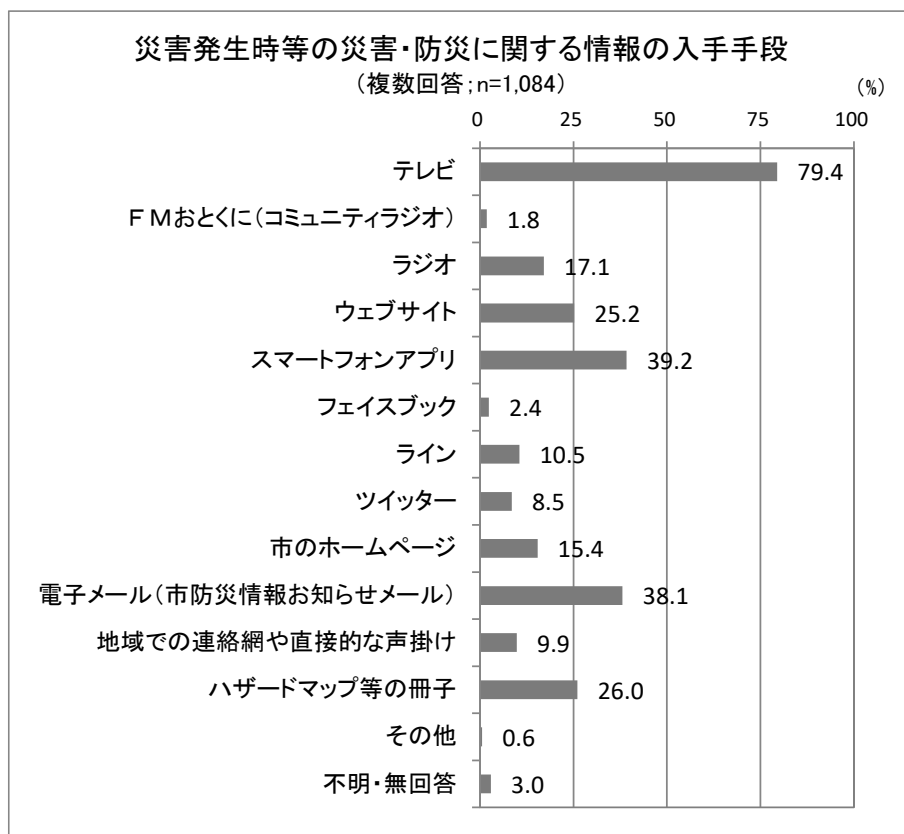


※ 上記の「前回調査」の数値について、前回調査の結果報告書「長岡京市第4次総合計画資料編」では、「不明・無回答」を含めない計算方法のため上記の数値とは異なる。

6. 防災について

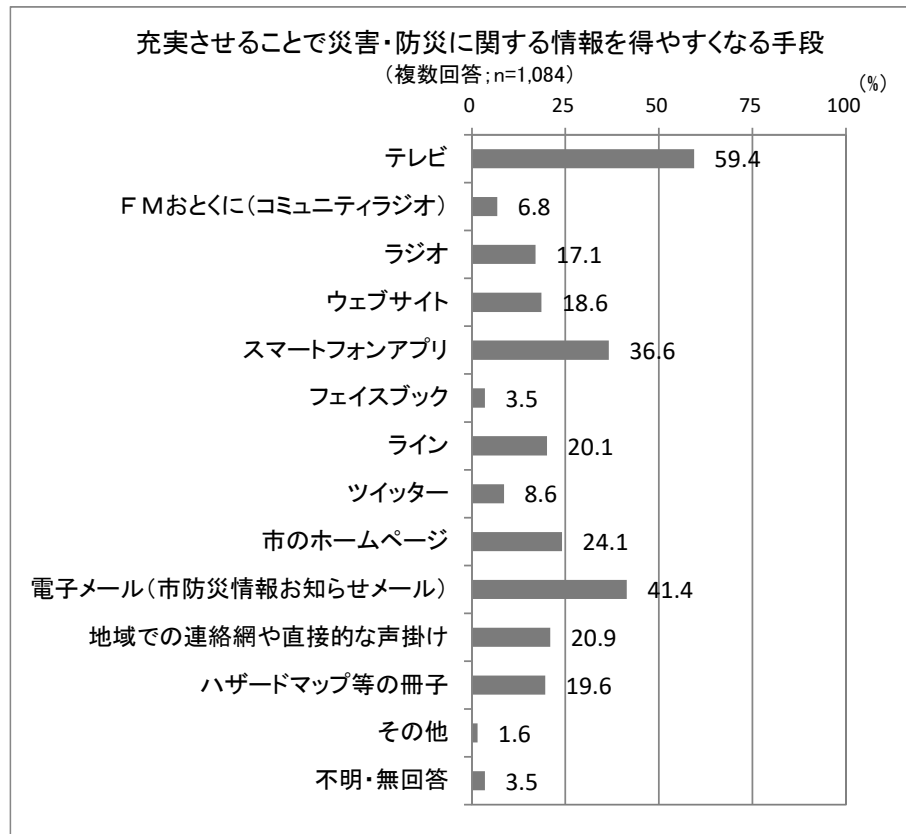
(1) 災害発生時等の災害・防災に関する情報の入手手段

「テレビ」が最も多く 79.4%、次いで「スマートフォンアプリ」が 39.2%、「電子メール（市防災情報お知らせメール）」が 38.1%などとなっています。



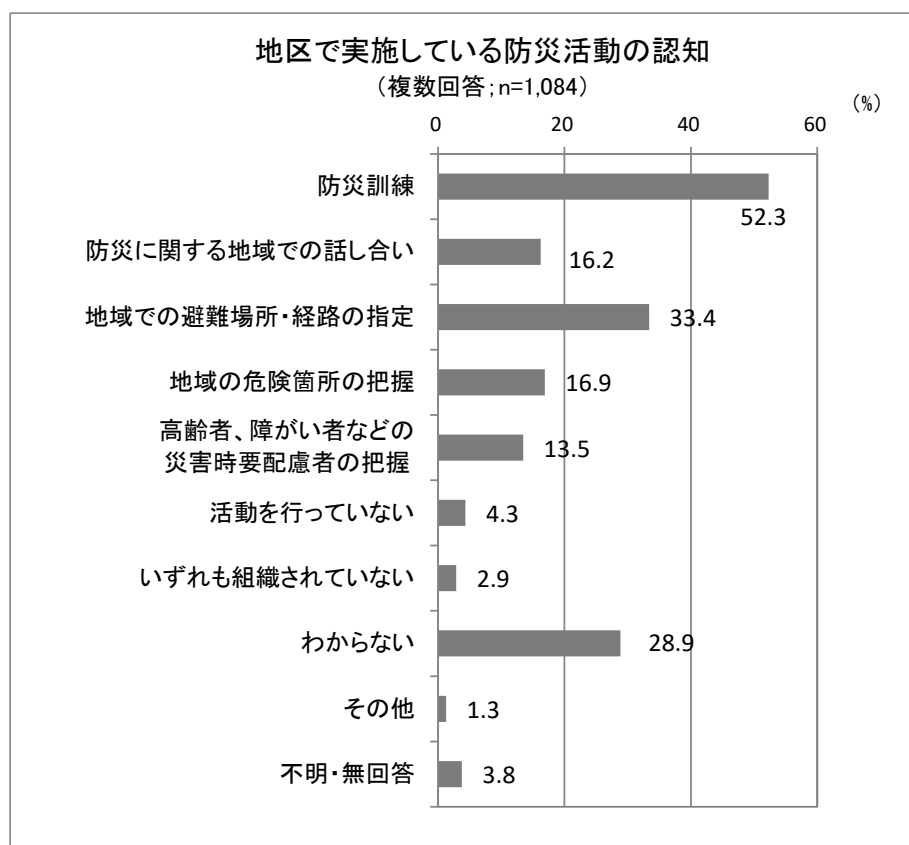
(2) 充実させることで災害・防災に関する情報を得やすくなる手段

「テレビ」が最も多く 59.4%、次いで「電子メール（市防災情報お知らせメール）」が 41.4%、「スマートフォンアプリ」が 36.6%などとなっています。



（３）地区で実施している防災活動の認知

「防災訓練」が最も多く 52.3%、次いで「地域での避難場所・経路の指定」が 33.4%、「わからない」が 28.9%などとなっています。



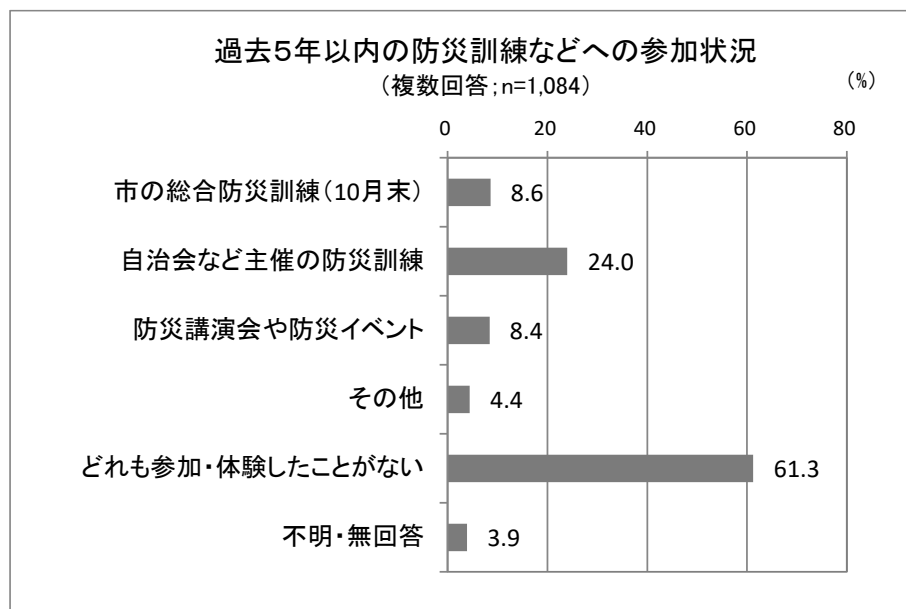
■ 年代別（上位 3 位）

認知している活動について、すべての年代で「防災訓練」「地域での避難場所・経路の指定」が上位 3 位までにあげられています。

	18 歳～29 歳	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	全体
第 1 位	わからない 65.6	防災訓練 41.9	防災訓練 47.9	防災訓練 60.0	防災訓練 51.7	防災訓練 66.8	防災訓練 50.9	防災訓練 52.3
第 2 位	防災訓練 26.2	わからない 39.2	わからない 33.0	地域での避難場所・経路の指定 32.7	地域での避難場所・経路の指定 38.2	地域での避難場所・経路の指定 47.0	地域での避難場所・経路の指定 34.9	地域での避難場所・経路の指定 33.4
第 3 位	地域での避難場所・経路の指定 11.5	地域での避難場所・経路の指定 26.4	地域での避難場所・経路の指定 25.3	わからない 26.0	わからない 29.2	地域の危険箇所の把握 20.7	防災に関する地域での話し合い 23.6	わからない 28.9

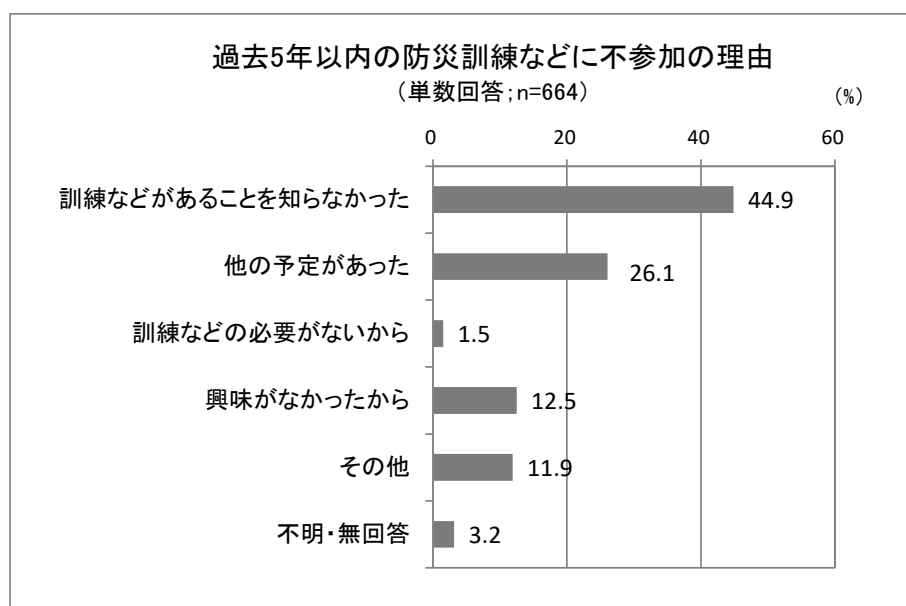
（４）過去５年以内の防災訓練などへの参加状況

「どれも参加・体験したことがない」が最も多く 61.3%、次いで「自治会など主催の防災訓練」が 24.0%などとなっています。



【過去５年以内の防災訓練などに不参加の理由】

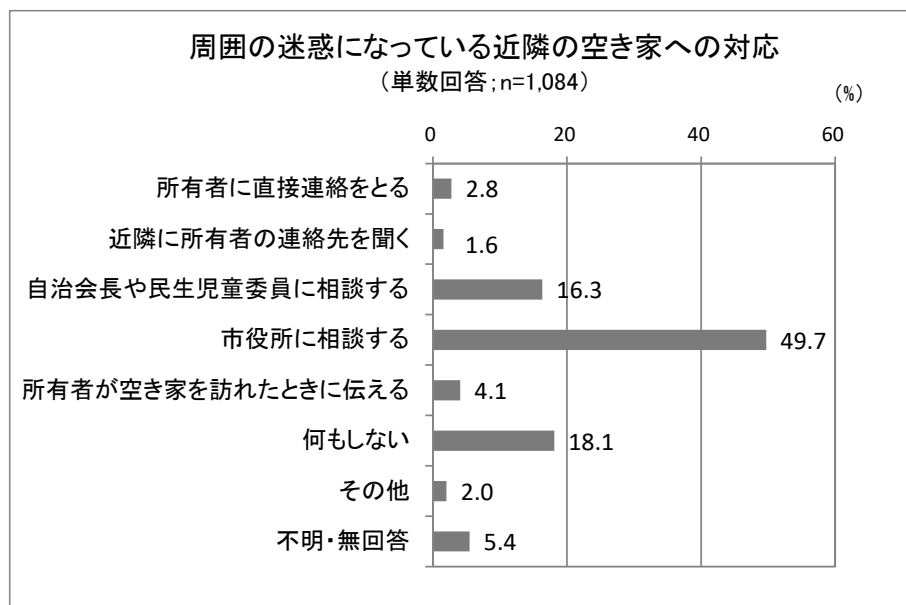
「どれも参加・体験したことがない」と回答した人について、その理由は「訓練などがあることを知らなかった」が最も多く 44.9%、次いで「他の予定があった」が 26.1%などとなっています。



7. 空き家について

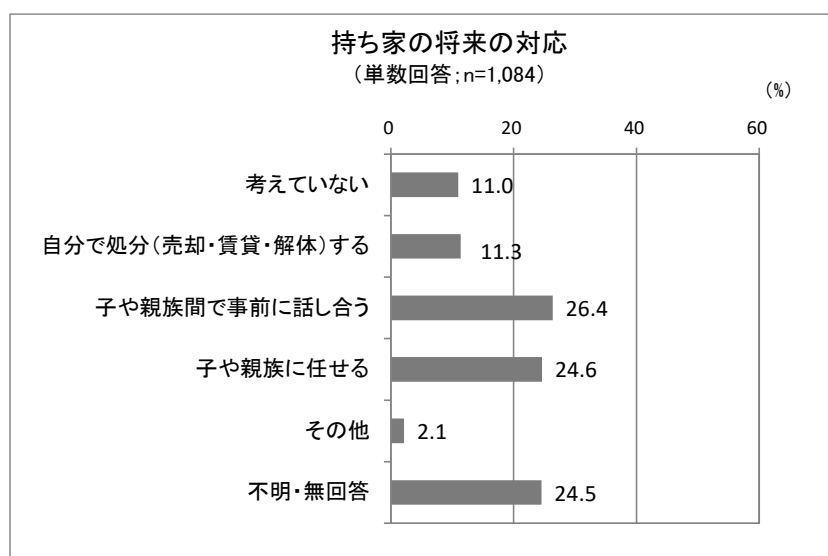
(1) 周囲の迷惑になっている近隣の空き家への対応

「市役所に相談する」が最も多く 49.7%、次いで「何もしない」が 18.1%、「自治会長や民生児童委員に相談する」が 16.3%などとなっています。



(2) 持ち家の将来の対応

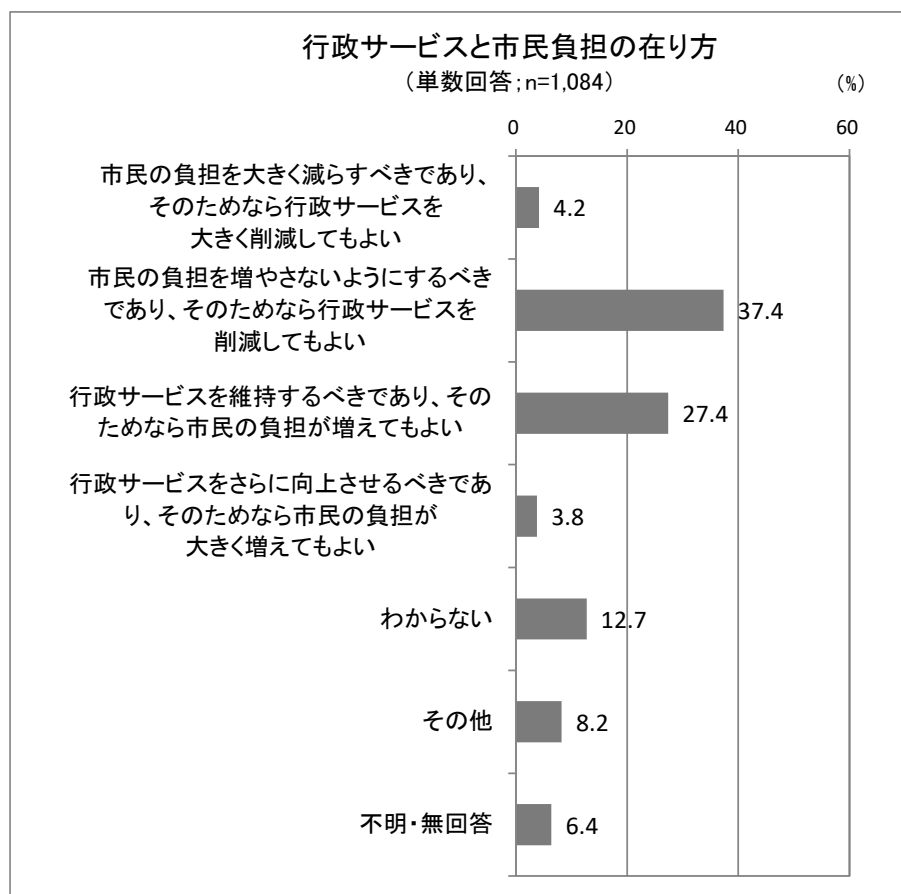
「子や親族間で事前に話し合う」が最も多く 26.4%、次いで「子や親族に任せる」が 24.6%などとなっています。



8. 行財政改革について

(1) 行政サービスと市民負担の在り方

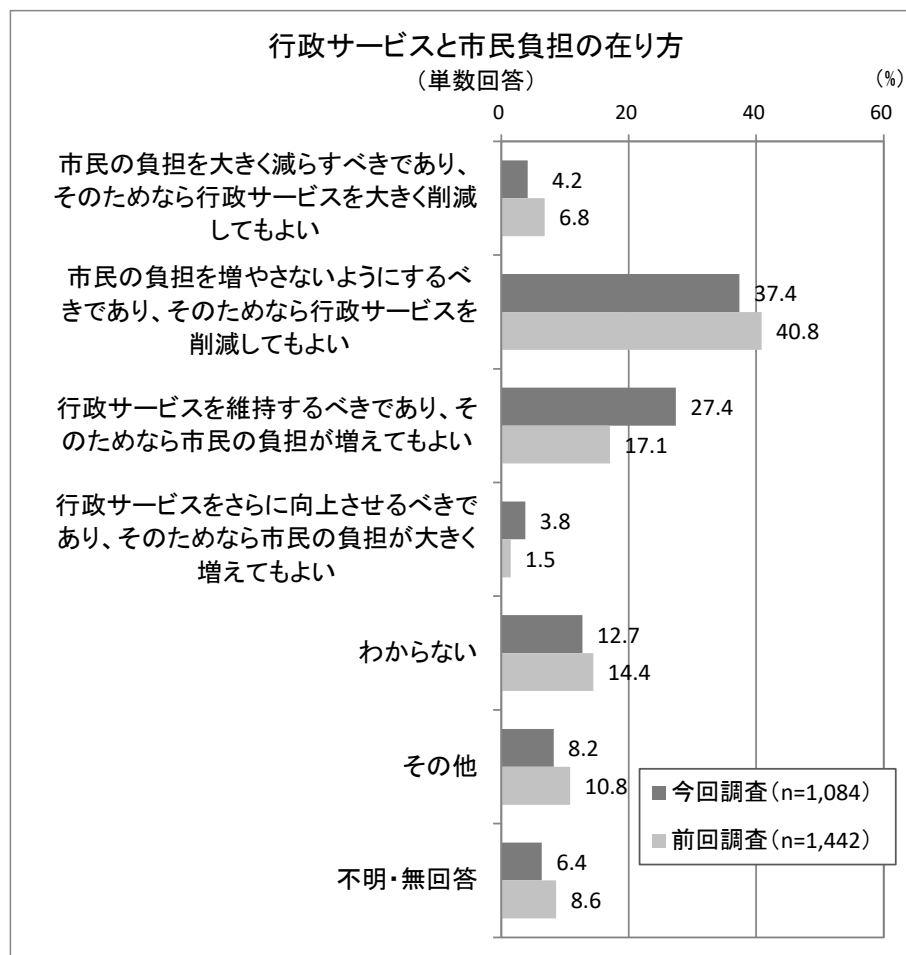
「市民の負担を増やさないようにするべきであり、そのためなら行政サービスを削減してもよい」が最も多く 37.4%、次いで「行政サービスを維持するべきであり、そのためなら市民の負担が増えてもよい」が 27.4%などとなっています。



■ 前回調査との比較

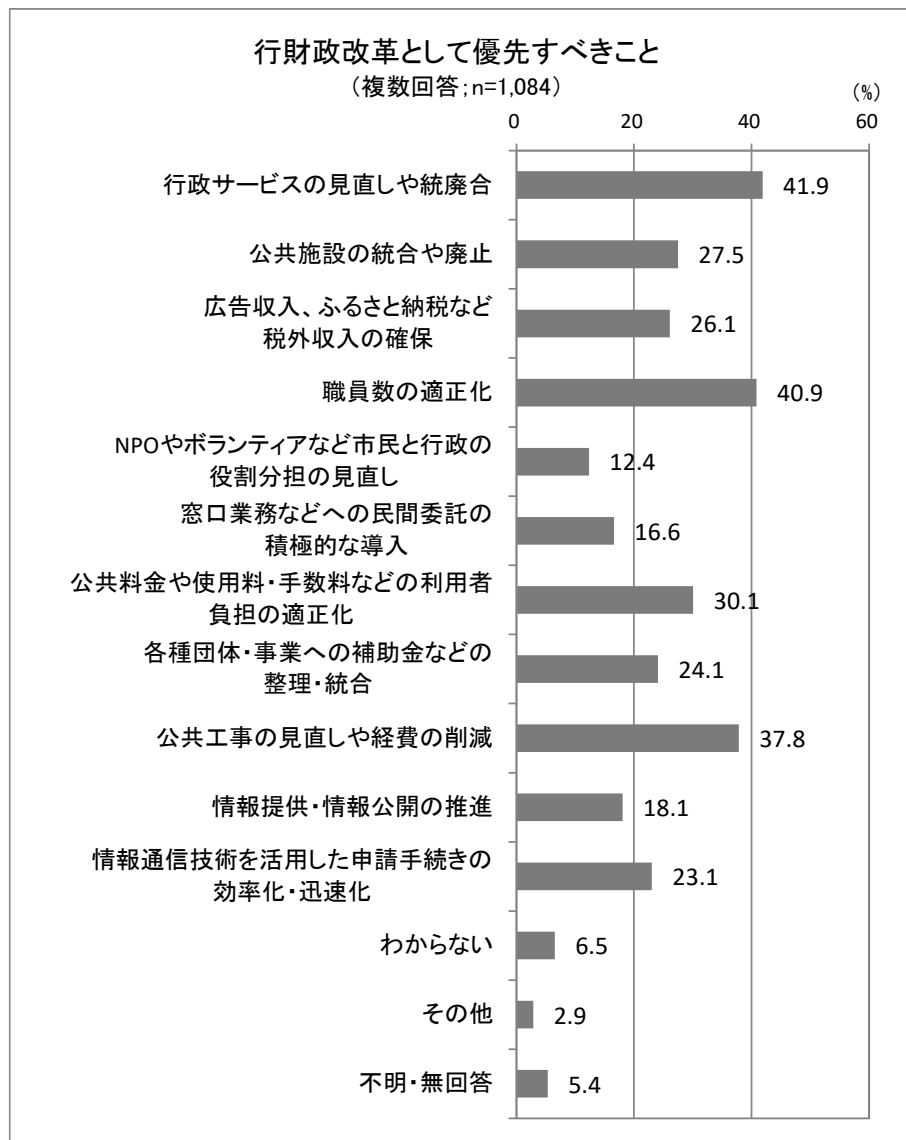
前回調査、今回調査ともに「市民の負担を増やさないようにするべきであり、そのためなら行政サービスを削減してもよい」が最も多くなっています。

また、前回調査から「行政サービスを維持するべきであり、そのためなら市民の負担が増えてもよい」が多くなっています。



（２）行財政改革として優先すべきこと

「行政サービスの見直しや統廃合」が最も多く 41.9%、次いで「職員数の適正化」が 40.9%、「公共工事の見直しや経費の削減」が 37.8%などとなっています。



■ 年代別（上位 3 位）

すべての年代で「行政サービスの見直しや統廃合」が上位 3 位までにあげられています。
年代別にみると、「18～29 歳」では「公共料金や使用料・手数料などの利用者負担の適正化」
「情報通信技術を活用した申請手続きの効率化・迅速化」、「30 歳代」では「公共料金や使用
料・手数料などの利用者負担の適正化」が上位 3 位までにあげられています。

(%)

	18 歳～29 歳	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	全体
第 1 位	公共料金や 使用料・手 数料など の利用者 負担の 適正化 45.9	行政サー ビスの 見直し や統廃 合 43.2	公共工事 の見直 しや経 費の削 減 41.8	行政サー ビスの 見直し や統廃 合 49.3	行政サー ビスの 見直し や統廃 合／ 公共工 事の 見直し や経 費の削 減 47.8	職員数の 適正化 47.8	公共工事 の見直 しや経 費の削 減 39.6	行政サー ビスの 見直し や統廃 合 41.9
第 2 位	行政サー ビスの 見直し や統廃 合 44.3	職員数の 適正化／ 公共料金 や使用 料・手 数料 などの 利用 者負 担の 適正 化 36.5	行政サー ビスの 見直し や統廃 合 38.7	職員数の 適正化 42.7	見直し や経 費の削 減 47.8	行政サー ビスの 見直し や統廃 合 37.5	職員数の 適正化 37.7	職員数の 適正化 40.9
第 3 位	情報通信 技術活用 した申 請手続 きの効 率化・ 迅速化 39.3	使用料・手 数料など の利用 者負 担の 適正 化 36.5	職員数の 適正化 37.1	公共工事 の見直 しや経 費の削 減 38.7	職員数の 適正化 46.6	公共工事 の見直 しや経 費の削 減 34.9	行政サー ビスの 見直し や統廃 合 34.9	公共工事 の見直 しや経 費の削 減 37.8

■ 前回調査との比較

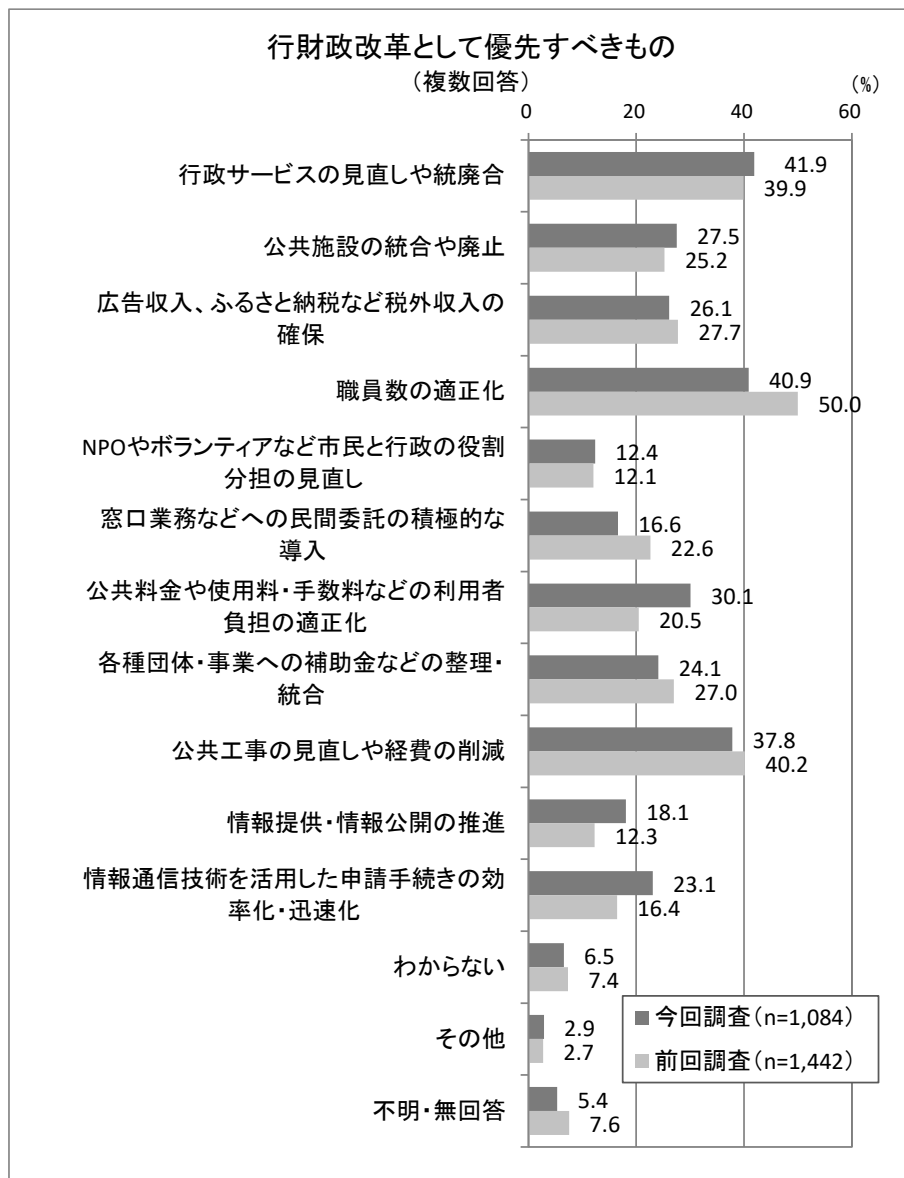
前回調査、今回調査ともに上位 3 位までの項目は同じとなっていますが、前回調査では「職員数の適正化」が、今回調査では「行政サービスの見直しや統廃合」が最も多くなっています。

また、前回調査から「職員の適正化」が少なく、「情報通信技術を活用した申請手続きの効率化・迅速」が多くなっています。

(%)

	今回調査		前回調査	
第 1 位	行政サービスの見直しや統廃合	41.9	職員数の適正化	50.0
第 2 位	職員数の適正化	40.9	公共工事の見直しや経費の削減	40.2
第 3 位	公共工事の見直しや経費の削減	37.8	行政サービスの見直しや統廃合	39.9

※ 上記の「前回調査」の数値について、前回調査の結果報告書「長岡京市第 4 次総合計画資料編」では、「不明・無回答」を含めない計算方法のため上記の数値とは異なる。



9. 自由記述について

延べ 731 件の意見があり、その内容を 6 つの柱と分野をもとに整理しました。
政策分野としては、「市街地」「道路・交通」に係る記述が多くなっています。

柱 1 : こども 55 件

- 産み育てる環境 30 件
 - ・ 市の政策として、子育てしやすい環境を整備し、人口増加を図ってほしい。
 - ・ 2 人目や 3 人目の子どもを持つことに経済的な難しさがあり、子どもの人数に応じた教育費および医療費の補助を検討してほしい。
 - ・ 子どもが安心して遊べる場所がとても限られているので、公園や児童館を充実してほしい。
- 就学前教育・保育 6 件
 - ・ 公立幼稚園を充実させてほしい。
 - ・ 療育の施策は充実しているとはいえないので、改善してほしい。
- 学校教育 11 件
 - ・ 保育園や幼稚園と連続性が生まれやすいような小学校区の設定をしてほしい。
 - ・ 子どもたちが自習できるような場所を設けてほしい。
- 地域子育て支援 8 件
 - ・ 放課後に、家でも学校でもない子どもたちの第三の居場所が学区単位で必要。
 - ・ 子育てをしている人どうしが集まったり協力したりできる場を設けるべき。

柱 2 : 暮らし 59 件

- 保健・医療 17 件
 - ・ バスで通院しにくくとても不便。
 - ・ 医療機関が点在しているので、1 ヶ所に集中させてほしい。

- 高齢福祉・障がい福祉 26 件
 - ・ 政策としての優先度を見直し、高齢者向けの介護施設が不足しているので拡充を検討してほしい。
 - ・ 介護施設だけでなく、高齢者や障がい者のための在宅での生活の支援も充実させてほしい。
 - ・ 高齢者を孤立させないようにちょっとした居場所や機会が必要。
 - ・ 障がい者の就労支援を拡充してほしい。
 - ・ 介護に関する相談窓口と手続きをわかりやすくしてほしい。
- 地域福祉・生活の安定 8 件
 - ・ 隣近所と気軽に声を掛け合え、信頼できるまちづくりが重要。
 - ・ 生活上の問題について、わかりやすい相談窓口がほしい。
- 社会保障 8 件
 - ・ 生活保護費の受給の審査を強化すべき。
 - ・ 生活保護費だけでは生活が立ち行かない。

柱 3：かがやき 55 件

- 地域活動・市民活動 17 件
 - ・ 自治会への参加や負担が偏っている。
 - ・ 自治会への加入方法がわからない。
 - ・ 自治会への加入や役員を拒む人が増えている。
 - ・ 広い年代が参加できるよう地域コミュニティを充実させるべき。
 - ・ 自治会と関わっていないと、災害時に不安がある。
 - ・ 自治会への加入が少ないことで、災害時の不安を覚える。
- 人権 2 件
 - ・ 行政機関として、セクハラ被害対応の体制を整えてほしい。
 - ・ 平和宣言に関する意見
- 生涯学習・文化・スポーツ 36 件
 - ・ 図書館の本が古い分野が多く種類も限られているので、新規購入や寄贈を受け入れるなどして対応してほしい。
 - ・ 図書館の貸し出し冊数と日数を現状から拡大してほしい。
 - ・ 図書館に自習できる空間を設けてほしい。
 - ・ 駅の近くに分室を設けるなどして、図書館を増やしてほしい。
 - ・ 幅広い年齢の人が利用できる市民プールを整備してほしい。
 - ・ ジョギングやウォーキングができるコースを整備してほしい。
 - ・ 体育館を利用しやすくしてほしい。

● 市街地 120 件

- ・ 阪急長岡天神駅周辺の開発を早急に進めてほしい。
- ・ 阪急長岡天神駅付近の高架化を早急に進めてほしい。
- ・ 阪急西山天王山駅周辺に飲食店が不足している。
- ・ 地域によってはスーパーへの買い物がとても不便。
- ・ 高齢者にとって買い物の利便性が低い。
- ・ 住宅への補助を充実させてほしい。
- ・ 新築住宅を建設している一方で、空き家が増えている。
- ・ 済生会病院の移転後の土地利用について知りたい。

● 道路・交通 168 件

- ・ 阪急長岡天神駅付近の道路整備を、高架化を含め早急に進めてほしい。
- ・ 阪急長岡天神駅付近の道路は、自動車、自転車、歩行者で混雑したいへん不便で危険。
- ・ 阪急長岡天神駅付近の踏切はたいへん混雑するので、対策を講じるべき。
- ・ 自動車の通行によって交通弱者が危険にさらされる道路が、住宅地も含め目立つので、歩道の整備など対策を講じるべき。
- ・ 自転車と歩行者との棲み分けが現状なされておらず、たいへん危険。
- ・ 路線バスの本数が少なく地区によっては現状とても不便なので、沿線の需要に合わせて増減させるべき。
- ・ 高齢者が運転免許を返納した場合に、代わりとなる公共交通やタクシーが整備されておらず、とても不便になる。
- ・ 病院への交通手段が現状かなり不便なので、バスやタクシーなどをどの地区からも使いやすくしてほしい（増便や乳児検診・高齢者への補助など）。
- ・ 阪急長岡天神駅周辺、イズミヤなど、ベビーカーを押しての通行が困難な場所の対策を講じてほしい。
- ・ 市街地において車椅子での通行が困難な道路の対策を講じるべき。
- ・ 神足方面には交通事故の危険性が高い場所が多い。
- ・ 阪急西山天王山駅付近の渋滞（特に朝夕）が激しく、また歩行者の危険にもつながっているので、対策を講じるべき。
- ・ 西国街道の路面の凹凸が激しく危険。
- ・ 車両の一旦停止違反を適切に取り締まってほしい。
- ・ 妊娠中や子どもの健診の際、医療機関への交通の便が悪いので、バスの増便や駐車場の充実を検討してほしい。
- ・ ベビーカーを押して歩くには狭くて不便な歩道が多い。

● 産業 43 件

- ・ 道の駅は経営が成り立っているのか疑わしく、予算を支出すべきではない。
- ・ 道の駅が街の活性化につながってほしい。
- ・ 宿泊施設が少ないので、適切な規模のホテルなどを誘致すべき。
- ・ 施策として観光の優先順位を上げ過ぎるべきではない。
- ・ 駅周辺の飲食店が少ないので、誘致すべき。
- ・ 阪急長岡天神駅周辺の商業施設の開発を進めるべき。
- ・ 農業など一次産業を守るべき。

● 防災・安全 25 件

- ・ 学区によっては、避難所である小学校へ向かう際に川が障害となり得る。
- ・ 避難所を現状から増やしてほしい。
- ・ 河川の災害対策をしてほしい（工事だけでなく、web カメラを設置して増水の状況を確認できるようにするなど）。
- ・ 地区によっては街灯が不足していて夜間に危険（たとえば、大山崎町方面への道路）。

柱5：みどり 86 件

● 環境共生 14 件

- ・ 竹林などの緑地を保全してほしい。
- ・ 伐採した竹は、有効活用するようにしてほしい。
- ・ 西山の山道をハイキングなどがしやすいように整備すべき。

● 水資源 17 件

- ・ 近隣の他地域に比べて水道料金が割高で、是正してほしい。
- ・ 水道水の味や臭いが気になる。

● 循環型社会 14 件

- ・ ゴミ袋の有料化に反対。
- ・ ゴミの分別がわかりづらい。アプリは使いづらい。
- ・ 不法投棄や資源ゴミの持ち去りの対策をすべき。

● 都市景観 41 件

- ・ 現状の環境整備も含め、市街地に利用可能な公園の数を増やしてほしい。
- ・ 雑草やゴミが目立つ公園が多い。
- ・ 利用可能な公園の遊具が不足している。
- ・ 公園の砂場の獣害対策が必要。
- ・ 統一感のある街路樹で街に緑を増やし、景観を改善させてほしい。
- ・ 公園の遊具が不足していたり、老朽化したりしている。また、砂場には獣害対策が必要。

● 魅力発信 27 件

- ・ ガラシャ祭に毎年、大規模な予算を支出すべきではない。
- ・ ガラシャ祭を、毎年工夫を加えて全国で注目されるような祭りにしてほしい。
- ・ 観光など市の魅力の広報は、現状では中途半端で、代理店などを使った積極的な発信が望ましい。
- ・ 情報発信を現状よりわかりやすいものにしてほしい。
- ・ 子育てしやすいまちづくりを行って、それを発信して移住を促進してはどうか。

● 都市経営 76 件

- ・ 行政サービスの統廃合など合理化を進めるべき。
- ・ 行政の業務の可能な部分は民間委託を進めるべき。
- ・ 市役所職員の数や給与の削減を検討すべき。
- ・ お役所仕事ではなく適切な速さで業務を行ってほしい。
- ・ 市役所の職員の中には、窓口で好ましくない対応をする方がいる。
- ・ 安易に市民全体の負担を増やすのではなく、公平で合理的な財政運営を行うべき。
- ・ 市民生活に余裕の生まれるような市政を行ってほしい。
- ・ 納税者として市のサービスの恩恵を実感できるような市政を行ってほしい (情報発信を含む)。
- ・ 市政の方針がわかりやすいように情報発信を行ってほしい。
- ・ 「対話のわ」など、市政への市民参加がしやすい取り組みを進めてほしい。
- ・ 市民にとって身近に感じられる市政を行ってほしい。
- ・ 市政において、当事者や専門家などの意見を積極的に聴取し取り入れるべき。
- ・ 将来の税収につながる子育て世代に目を向けた市政を行ってほしい。

その他

17 件

● アンケート 11 件

- ・ 全体的に分量が多過ぎるようになった。
- ・ 情報がなく、回答しにくい設問がいくつかみられた。

● その他 6 件

- ・ 歩きたばこに関する意見
- ・ 若年層を含めた社会的弱者の雇用環境に関する意見
- ・ 議会・議員のあり方に関する意見

地域活動団体アンケート調査

1. 調査概要

① 調査の目的

市民アンケートでは把握できない「長岡京市で活動する団体」としての活動状況、課題とその対応策、市政に期待すること、今後のまちづくりへの提言等について意見を抽出し、第2期基本計画の策定に係る基礎資料とすることを目的に実施しました。

② 調査の対象

【調査対象】長岡京市で活動する地域活動団体

【選定方法】次の条件で選定した

対象数：589 団体（自治会 57 団体含む）抽出基準日：令和元年 8 月 1 日時点

- ・ 第4次総合計画策定時の団体アンケート対象団体
- ・ 市内に活動拠点を置く、京都府登録 NPO 法人
- ・ 自治会や地域コミュニティ協議会等の地縁団体
- ・ 社会福祉協議会や緑の協会等への登録ボランティア団体
- ・ 取りまとめ組織に登録している団体（市民活動サポートセンターや市老人クラブ連合会、公民館サークル連合会等への加盟団体）
- ・ その他アンケートを行うことが必要と認められる団体

（団体の類型）

地 縁 団 体…自治会（57 自治会）等（町内会は対象外）

NPO 団 体 等…サポートセンター登録団体等

自 主 組 織…単位老人クラブ、保育所保護者会、公サ連加盟団体等

そ の 他 組 織…ボランティア団体、小中学校 PTA（14 団体）等

③ 調査の方法

調査は記名式で、令和元年 8 月中旬から下旬の 2 週間程度を調査期間として、郵送、WEB、直接配布等により実施しました

④ 回収の状況

有効回答数：237 団体（うち自治会 54 団体）

有効回答率：40.2%（自治会回収率：94.7%）

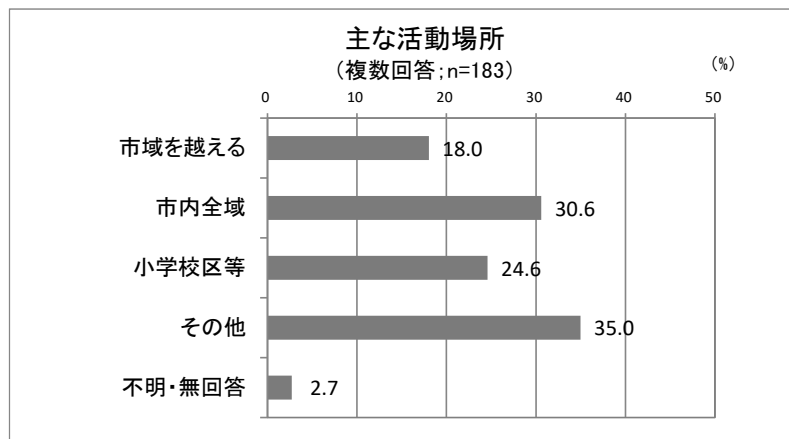
2. 調査結果

【地域活動団体】

(1) 団体の概況

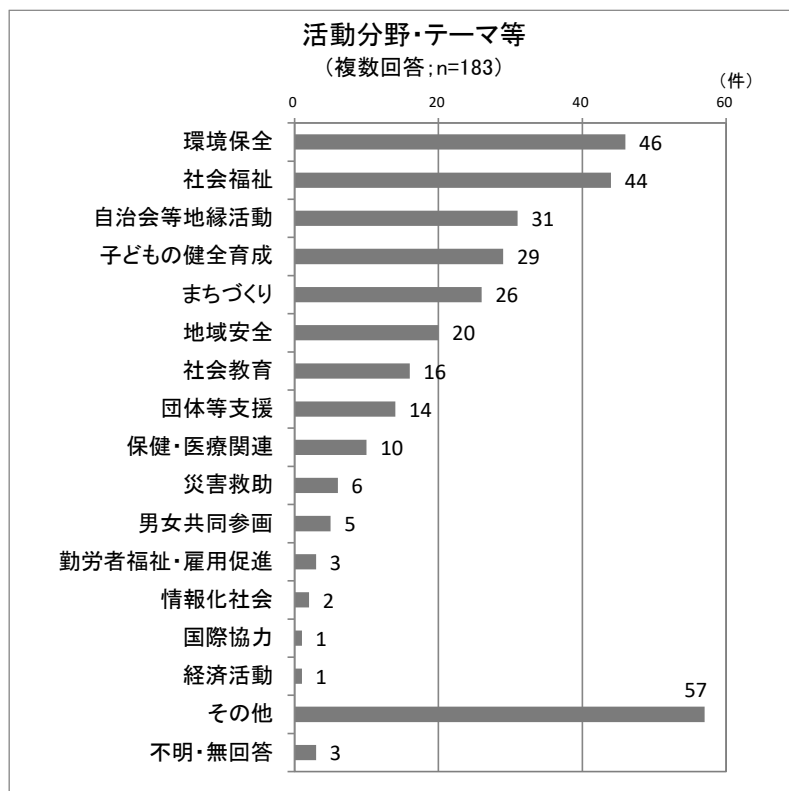
■ 主な活動場所

「市内全域」が最も多く 30.6%、次いで「小学校区等」が 24.6%、「市域を越える」が 18.0% となっています。「その他」は「自治会」「特定の施設、地域」などの回答となっています。



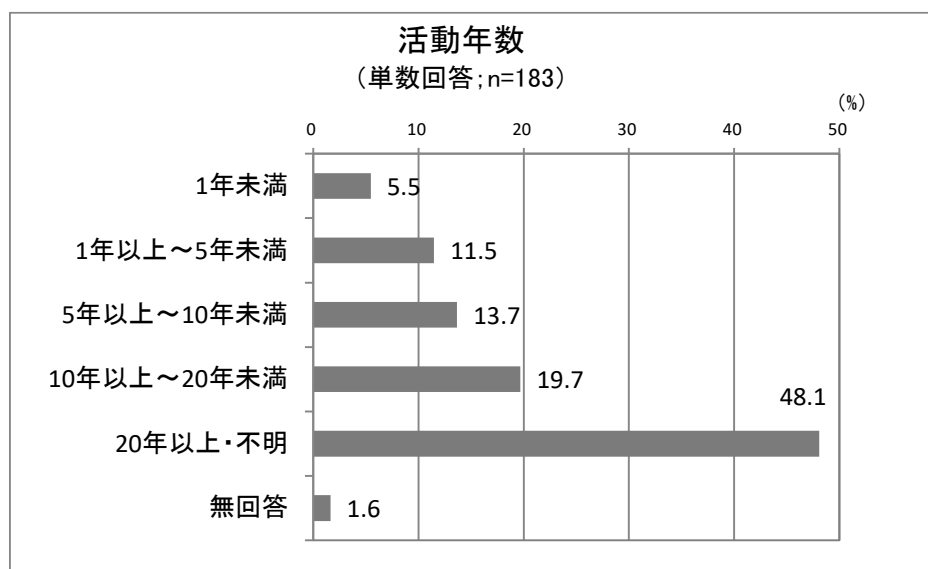
■ 主な活動分野・テーマ

「環境保全」が最も多く 46 件、次いで「社会福祉」が 44 件、「自治会等地縁活動」が 31 件などとなっています。



■ 活動年数

「20年以上・不明」が最も多く 48.1%、次いで「10年以上～20年未満」が 19.7%、「5年以上～10年未満」が 13.7%などとなっています。



(2) 団体活動を通じて感じた長岡京市の現状

長岡京市の現状について延べ 167 件の回答があり、6 つの柱をもとに整理しました。

柱 1 『こども』	11 件
・ 待機児童がいるなど、保育の設備が不十分	5 件
・ 図書館活動など地域での子育て支援が盛ん	3 件
・ その他	3 件
柱 2 『くらし』	24 件
・ 高齢者／障がい者向けの設備、施設などが不足している	11 件
・ 高齢者／障がい者への支援制度が整っている	5 件
・ 高齢者向けの市民活動が活発である	3 件
・ その他	5 件
柱 3 『かがやき』	58 件
・ 高齢化、マンネリ化などで地域活動が減速している	27 件
・ 市民と行政が一体となった地域活動ができている	21 件
・ 文化やスポーツに関心の深い地域である	9 件
・ その他	1 件
柱 4 『まち』	30 件
・ 長岡天神駅周辺など市街地の整備が不十分	8 件
・ 道路の拡張や補修が必要	8 件
・ さびれた地域の再開発、駐車場等の補充が必要	6 件
・ 道路照明など、防犯設備が不十分	5 件
・ その他	3 件
柱 5 『みどり』	33 件
・ 自然環境との維持／共存ができている	14 件
・ 公園などの緑地の整備が不十分	19 件
柱 6 『けいえい』(市政全般について)	5 件
・ 行政による情報発信や協力体制が整っている	2 件
・ その他	3 件
・ 特になし	6 件

(3) 団体の活動にあたっての問題点・課題と対応策

【問題点・課題】

団体の活動にあたっての問題点・課題については、延べ 243 件の回答がありました。団体の活動内容に関わらず、下記のような共通した課題があげられていました。

・ 会員が高齢化している	52 件
・ 会員数が減少している	51 件
・ 活動内容の見直しが求められる.....	41 件
・ 役員や後継者などの人材が不足している.....	29 件
・ 広報活動が不十分である	20 件
・ 活動の場所に困る	13 件
・ 費用が不十分である	12 件
・ 行政の協力が不十分である	12 件
・ 特になし	13 件

【問題点・課題への対応策】

団体の活動にあたっての問題点・課題への対応については、延べ 21 件の回答があり、その内容を整理しました。

・ 活動が縮小／継続が困難	7 件
・ 後継者がいない／解散を検討.....	5 件
・ 他の団体と一緒に活動する	2 件
・ 民間との役割分担を進める	1 件
・ 数年後自然消滅の恐れがある.....	1 件
・ 新規加入がなく、個人情報の壁があって加入も難しい.....	1 件
・ 頑張るしかない	1 件
・ 気楽に入会できる仕組みをつくる.....	1 件
・ 信仰と観光の両立を目指す	1 件
・ 小学校の登校班の集合場所に隣接しているので生徒たちに託したい.....	1 件

(4) 団体の活動に対して市に期待／協力したい取組み

団体の活動に対して市に期待／協力したい取組みについて、延べ 107 件の回答があり、各団体で共通して市に対して期待／協力したい取組みについてその内容を整理しました。

- ・ 場所／施設の数と質的な整備..... 17 件
- ・ 関連団体／個人との連携などを円滑にすすめる支援が欲しい..... 15 件
- ・ 啓発活動をして欲しい 14 件
- ・ 助成金等の費用面の支援が欲しい..... 14 件
- ・ 適切な広報活動をしてほしい..... 13 件
- ・ 活動の「場・機会」をつくって欲しい..... 8 件
- ・ 設備を充実してほしい 7 件
- ・ 人員／人材を充実してほしい..... 4 件
- ・ その他 15 件

(5) 地域や団体の活動が活発化するために大切なこと

地域や団体の活動が活発化するために大切なことについて延べ 187 件の回答がありました。

団体の活動にあたっての問題点、課題としてあげられた「高齢化」「会員数の減少」等の問題を反映して、特に「若い世代の参加に向けて新しい層・参加方法を考える」が最も多くなっています。

- ・ 若い世代の参加に向けて新しい層・参加方法を考える..... 34 件
- ・ 団体間の協力やコミュニケーションを潤滑に行う..... 31 件
- ・ 広報の重視 24 件
- ・ 既存団体の維持／再活性化に努める..... 23 件
- ・ 行政等の外部からの支援 21 件
- ・ 活動に対する意識の向上 10 件
- ・ 地域住民の結束意識の向上 9 件
- ・ 場所の補充 7 件
- ・ 費用面の援助 6 件
- ・ 交通の利便性強化 3 件
- ・ その他 18 件
- ・ 特になし 1 件

(6) これからの長岡京市のまちづくりについて

これからの長岡京市のまちづくりについて延べ166件の回答があり、6つの柱をもとに整理しました。

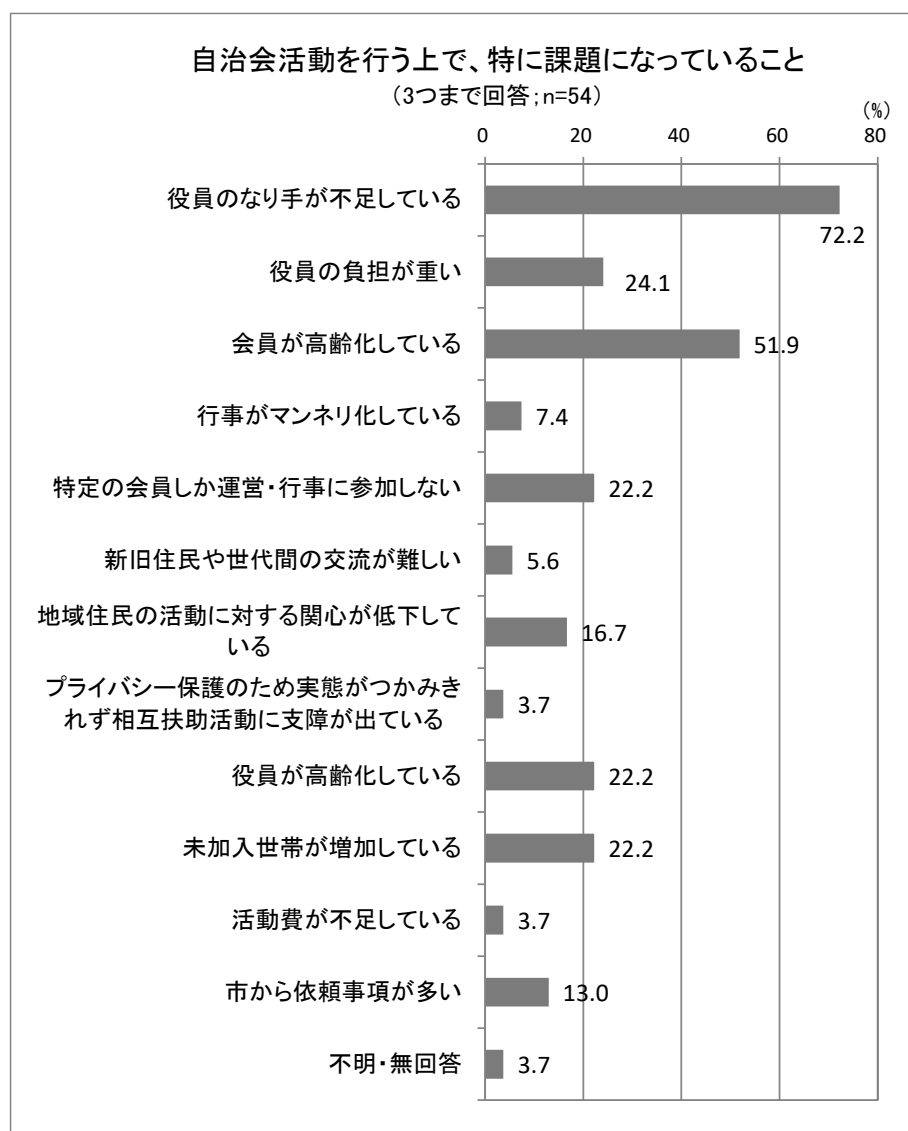
柱1『こども』	17件
・地域で子どもを見守るなど地域での子育て支援	9件
・保育など学齢期以前の支援	3件
・就学後の児童／生徒のための環境づくり	3件
・子どもを産み育てる環境づくり	2件
柱2『くらし』	37件
・地域活動の支援、既存体制の見直しなど	24件
・高齢者／障がい者支援を鑑みた地域づくり	12件
・保健／医療制度の充実	1件
柱3『かがやき』	5件
・文化やスポーツに相応しい環境	3件
・地域活動の充実	1件
・人権意識の向上	1件
柱4『まち』	66件
・道路の拡張や補修、交通機関の整備	24件
・市街地の整備と生活環境の向上	21件
・道路照明など、防犯設備の拡充	17件
・地域の再開発、新しい設備の補充	4件
柱5『みどり』	11件
・自然環境との維持／共存	7件
・公園など緑地の整備	4件
柱6『けいえい』(市政全般について)	19件
・円滑な行政の運営	11件
・広報など情報の発信力	8件
・特になし	11件

【自治会】

前述の「地域活動団体アンケート調査」に自治会も含まれていますが、今回、自治会を対象に別途、自治会の現状や課題を把握し、今後の自治会長会、各自治会、市の自治会活性化施策に活かすことを目的とした調査を実施しました。その一部の内容について、長岡京市第4次総合計画第2期基本計画の策定に係る結果を以下にまとめています。

（１）自治会活動を行う上で、特に課題となっていること

「役員のなり手が不足している」が最も多く 72.2%、次いで「会員が高齢化している」が 51.9%、「役員の負担が重い」が 24.1%などとなっています。



■ その対応方策

延べ 37 件の意見があり、主な意見は以下のとおりとなっています。

- 役員の負担軽減への対応策 7 件
 - ・ 役員の負担軽減のため、行事、集金などスリム化を図る。
 - ・ 会議等の回数を減らし、回覧にて情報発信や案内をする。
 - ・ 高齢の方や介護をしておられる方などに配慮し、そういう方々には役員をしなくてもいいように話し合っている。
 - ・ 初めての方の不安感と負担感を軽減するために一部業務をマニュアル化している。
 - ・ 高齢化のニーズに合った取組みを進める。

- 役員のなり手不足への対応策 6 件
 - ・ イベントなどに参加してもらい、親しくなった翌年に、役員になってもらえるよう声をかけるようにしている。
 - ・ 65 才～70 歳の世代に働きかけていく。また、若い現役世代に思い切って働きかけていく。
 - ・ 会長以外の役員は輪番制としている。また、女性にも積極的に役員になってもらおうと同時に、元気な高齢者にも役員になってもらう。
 - ・ 現役員達と検討中だが、役員活動ができない会員には会費をアップする。役員を積極的に引き受けてくれる会員には役員手当を支給する。

- 未加入世帯への対応策 5 件
 - ・ 集合住宅ができれば自治会加入を条件とする。また、社会体育振興会、子供会、老人会、民生児童委員、他とのタイアップを強化する。
 - ・ 各役会や団体に自治会への加入を薦めている。
 - ・ 役員任期、役職などを見直し、会則、規約も再構築し、現会員の承諾を得た上で、未加入世帯への加入促進を図りたい。
 - ・ 若い世帯には子供会などを通じて行事等を P R し勧誘していく。
 - ・ 友人・知人を介して勧誘を行う。

- 会員の高齢化への対応策 4 件
 - ・ 世代交代が進んでいるので、若い人たちに参加を呼びかけ、親睦会等の行事は自治会とそれを担う若手を中心になって進めてもらう。
 - ・ 高齢者に負担がかからないように配慮している。行事の際は顔が見られるように声かけをしている。

- 新旧住民や世代間の交流が難しいことへの対応策 4 件
 - ・ 若い人たちが気遣うことなく、接点を持ってもらえるよう声かけするようにしている。
 - ・ 子どものいる家庭や子供会などに喜ばれる行事を考えて実施している。
 - ・ 地域での安心安全に関わる困りごとはすぐに手当てし、会長、役員への信頼を得ていく。同時に、老人会や子供会、民生児童委員、社会体育振興会と関係を築き、うまく信頼しあえるようにしておく。
 - ・ 住民間のコミュニティーを築き、自主防災協力へとつなげる。

- 地域住民の活動に対する関心の低下への対応策 4 件
 - ・ 地域住民が参加しやすい催しなど、自治会活動の「おもしろさ」を伝える必要がある。
 - ・ 新旧住民の親睦、企業会員の増強、防災知識の啓発、防火防犯パトロールなどを行う。
 - ・ 自治会ニュースを充実させ、関心を持ってもらうように心がけている。また、規約を改正したことで、参加しやすい取組みとしている。

- 特定の会員しか参加しないことへの対応策 3 件
 - ・ 自治会意識の高い人への兼任役務で何とか繰りまわしができているが、何らかの方策を講じる必要がある。
 - ・ 年長者主催の朝のラジオ体操への参加、人つなぎ事業「おしゃべりサロン」などへの参加によって、さらに多くの方とコミュニケーションの機会を持つようにする。

- 役員の高齢化への対応策 2 件
 - ・ 規約を改正して、高齢などの事情のある人は役員を辞退できるようにしている。
 - ・ 役割分担の上で無理をされないように工夫した上で、高齢の方にも役員になっていただくようにしている。

- その他 2 件
 - ・ 現状で対応している。対応策等は特になし。地道に取り組んでいく以外はない。

(2) 自治会活動に関連し、市に期待する取組み、市と協力して進めたい取組み

延べ 33 件の意見があり、主な意見は以下のとおりとなっています。

- 未加入世帯についての取組み 7 件
 - ・ 自治会の入会世帯に対し、日常生活において何かメリットとなるような施策、自治会員プライオリティー制度の導入などを講じてもらえればありがたい。
 - ・ 自治会として、いざという時の対応が最も大事である。隣付き合いが最近は希薄になっていると思うので、そのことを踏まえた取組を考えてほしい。
 - ・ 負担が少なく、ハードルが低い活動を考えたい。
 - ・ 市への転入及び市内住居移動者の方に、自治会加入のためのパンフレット等で P R 活動を行っていただきたい。
 - ・ 防災訓練、大運動会等、自治会員だけでなく会員以外の方の参加が活発にできるような工夫をしてもらいたい。

- 役員の負担軽減についての取組み 4 件
 - ・ 市からの各委員の推薦人数を減らし、最小の役員の人数で運営するなど、役員の負担感を軽減する方法を考えてほしい。
 - ・ 高齢化する中で会員の負担を少なくし、会員でいてもらえるようにしたい。
 - ・ 敬老の日の行事について、自治会員以外の方も訪問し、参加確認などは市の方か、民生児童委員会の方をお願いしたい。「自治会加入者でないのに」と班長会でも問題になった。あくまでも自治会員のみの仕事にしてほしいとの声があった。

- 市から依頼事項が多いことについての取組み 4 件
 - ・ 自治会として処理すべき文書などは、他の課と連絡を取り合って、ひと目で理解できるようにしてほしい。忙しい時期の文書処理など混乱する。
 - ・ 定例自治会長会へ付託する案件が多すぎる。市の広報もあるのだから減らすべき。
 - ・ 電子化により申請手続きの簡素化をお願いしたい。また、周知、通知をメールにすることでのペーパーレス化もお願いしたい。

- 会員の高齢化についての取組み 3 件
 - ・ 独居老人の安全対策急病や犯罪者からの見守りを進めてほしい。各家庭に防犯ブザーベルを設置する。昔は高齢者だけのお宅で防犯ベルが鳴ると、何があったのかと隣近所がかけつけた。
 - ・ 「やはり自治会に入っていて良かった」と思ってもらえる事業、催事等の仕組みづくり。
 - ・ 高齢化が進み、寝たきり、独居、高齢世帯が増えている。最近、特に食品・日用品の移動販売車や病院通院の乗合コミュニティカーの希望意見が多く寄せられるようになった。市行政と自治会連携でのモビリティ社会の一考をお願いしたい。

- プライバシー保護についての取組み 3 件
 - ・ 個人情報保護は重要であるが、防犯防災の観点からは、自治区内住民の情報は把握しておく必要があり、住民への理解を得るためにも行政からのアピールが不可欠である。
 - ・ 自治会未加入世帯の名簿があれば助かる。
 - ・ 個人情報保護法のため、子育て世帯等の情報がなく、接点を持つことが難しい。子どもの貧困があったとしても情報がなく、現状把握ができない。必要情報の開示を進めてほしい。

- 地域住民の活動に対する関心低下についての取組み 2 件
 - ・ 市全体の取組みを、どのようにして個人まで理解してもらえればよいのか。告知・回覧以外に知ってもらう方法があればお願いしたい。
 - ・ 出前講座映画会などで、自治会活動に関心を持ってもらう。

- 活動費不足についての取組み 2 件
 - ・ 自治会への補助金が少ない。
 - ・ 高齢化対策、公民館の老朽化、建替えの声もあるが、資金の面で前に進むことができない。

- その他 8 件
 - ・ 自治会の活動に議員の参加や市民との交流をお願いしたい。
 - ・ 市の職員も町内の事業に積極的に取り組むよう市で教育してほしい。現状では町内事業に参加してもらえない。
 - ・ 防災の取組みに関するきめ細やかなプログラム作成に、他地域や市と協働で取り組みたい。勉強会、講演会、情報の共有などの自主防災会の育成と活動支援を期待したい。
 - ・ 日常的なアドバイザーがほしい。他にも今年の管外研修では防災活動に向けて四国の大学教授を招聘していたが、大学教授と自治会をつなぐような、パイプ役を市には期待したい
 - ・ 今のように連携を密に協働して取り組むことが重要である。
 - ・ 校区の役員が情報を共有するため、必要に応じて校区自治会長会の開催を希望する。
 - ・ 市に自治会運営に対する相談室のようなセクションの設置が望まれる。

資料編

1. 調査票

(1) 市民アンケート調査



長岡京市まちづくりのための『市民アンケート調査』

ご協力をお願い

皆様には日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、長岡京市では、平成28年4月から長岡京市第4次総合計画がスタートし、「住みたい住みつけたい 悠久の都 長岡京」を目指し、各種の取組みを進めているところです。

総合計画とは、市の将来の長期的な展望の下に市政のあらゆる分野を対象とした15年間のまちづくりの指針であり、市の各種の行政計画の最も上位に位置するものです。

第4次総合計画は、5年ごとに見直す計三期の基本計画から構成されており、令和2年度に現行の第1期基本計画が目標年度を迎えることから、次期計画となる第2期基本計画を策定するため、まちづくりに対する評価やニーズ等、皆様からの率直なご意見を伺いたいと考えています。

つきましては、市内にお住まいの18歳以上の方々の中から3,000人を無作為に選ばせていただいて、調査へのご協力をお願いすることといたしました。

この調査でご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、所期の目的以外には一切使用いたしません。回答者の皆様にご迷惑をおかけすることはありませんのでご安心ください。

今後の市政の方向性を考えるうえで重要な調査です。ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご回答くださいますようお願いいたします。

令和元年(2019年)7月

長岡京市長

中ノ路 健吾

ご記入にあたってのお願い

1. あて名ご本人のお考えやご意見を回答してください(ご本人が記入できない場合、家族の方などの代筆でも結構です)
※ あて名ラベルにお名前が2つ印字されている場合、下段にお名前のある方がご回答ください。
2. 原則として、質問ごとにあてはまる番号を○で囲んでください
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、8月9日(金)までに投函してください(切手は不要です)

<お問合せ先>

長岡京市役所 総合政策部 総合計画推進課

電話 : 075-955-9502(直通) FAX: 075-951-5410(代表)

E-mail: sougoukeikaku@city.nagaokakyo.lg.jp

1. あなたご自身のことについておたずねします。(令和元年7月1日現在でお答えください。)

問1 あなたの年齢のあてはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 10 歳代 | 3. 30 歳代 | 5. 50 歳代 | 7. 70 歳代 |
| 2. 20 歳代 | 4. 40 歳代 | 6. 60 歳代 | 8. 80 歳以上 |

問2 あなたの性別に○印をつけてください。

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. () |
|------|------|--------|

※戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

問3 あなたのお住まいの小学校区のあてはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|------------------------------------|
| 1. 神足小学校区 | 5. 長岡第五小学校区 | 9. 長岡第九小学校区 |
| 2. 長法寺小学校区 | 6. 長岡第六小学校区 | 10. 長岡第十小学校区 |
| 3. 長岡第三小学校区 | 7. 長岡第七小学校区 | 11. わからない(住所をご記入
ください。番地は不要です。) |
| 4. 長岡第四小学校区 | 8. 長岡第八小学校区 | 長岡京市() |

問4 あなたはいつから長岡京市にお住まいですか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 生まれた時から | 2. 転入してきた |
|------------|-----------|

問4-2 それはいつ頃ですか。

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 昭和 30 年以前
(1955 年以前) | 3. 昭和 41～50 年
(1966～1975 年) | 5. 昭和 61～平成 7 年
(1986～1995 年) | 7. 平成 18～27 年
(2006～2015 年) |
| 2. 昭和 31～40 年
(1956～1965 年) | 4. 昭和 51～60 年
(1976～1985 年) | 6. 平成 8～17 年
(1996～2005 年) | 8. 平成 28 年以降
(2016 年以降) |

問5 あなたの職業を次から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------|---------|-------|
| 1. 会社、官公署などに勤務
(パートや契約社員を含む) | 4. 家事専業 | → 問7へ |
| 2. 自営業(商工、建設、自由業など) | 5. 無職 | |
| 3. 農林業(家族従事者を含む) | 6. 学生 | → 問6へ |
| | 7. その他 | |

※ 4. 又は 5. を選択された方は問7へ、それ以外の方は問6へお進みください

問6 あなたはどこで就業・就学していますか。次から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 長岡京市内 | 2. 長岡京市外 |
|----------|----------|

2. 長岡京市の住み心地についておたずねします。

問7 あなたは、長岡京市に今後も住み続けたいとお考えですか。次から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|---------------|-------|-------------|-------|
| 1. 住み続けたい | → 問8へ | 3. できれば移りたい | → 問9へ |
| 2. できれば住み続けたい | | 4. 移りたい | |

※ 1.又は2.を選択された方は問8へ、3.又は4.を選択された方は問9へお進みください

問8 問7で「1. 住み続けたい」「2. できれば住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。住み続けたい主な理由は何ですか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 緑などまちの自然環境がよいから | 5. 地域に愛着があるから |
| 2. 通勤・通学や買物など生活する上で便利がよいから | 6. 住宅の事情で |
| 3. 娯楽や文化など生活の楽しみがあるから | 7. 個人的な事情で |
| 4. 福祉や教育など市民サービスが整っているから | 8. その他() |

※ 問9には回答せずに、問10へお進みください → 問10へ進む

問9 問7で「3. できれば移りたい」「4. 移りたい」とお答えの方にお聞きします。移りたい主な理由は何ですか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 緑などまちの自然環境が不満だから | 5. 地域に愛着がないから |
| 2. 通勤・通学や買物など生活する上で不便だから | 6. 住宅の事情で |
| 3. 娯楽や文化など生活の楽しみが不足しているから | 7. 個人的な事情で |
| 4. 福祉や教育など市民サービスが不足しているから | 8. その他() |

問10 あなたが長岡京市で自慢できるもの、誇りに思うものは何ですか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. おいしい水 | 9. まつりやイベント(ガラシャ祭、観光まつり、名月の宴など) |
| 2. きれいな空気 | 10. 交通の利便性 |
| 3. おいしい食べ物(たけのこ、なす、花菜など) | 11. 充実した生活利便施設(スーパー、商店街など) |
| 4. 季節の花々(桜、きりしまつつじ、あじさい、紅葉など) | 12. 閑静な住宅街 |
| 5. 緑の景観(西山、竹林、田畑、寺社の森など) | 13. 充実した福祉サービス |
| 6. 長い歴史(古墳、第国宮、長岡京など) | 14. 特になし |
| 7. 歴史的景観(長岡天満宮、光明寺、楊谷寺、乙訓寺、西園街道など) | 15. その他 |
| 8. 充実した文化・体育施設(図書館、中央公民館、埋蔵文化財調査センター、西山公園体育館など) | () |

3. 市の政策についておたずねします。

■市の政策に関する設問(政策分野1～21)の構成と記入の仕方

市で行っている取組みを、「こども」、「くらし」、「かがやき」、「まち」、「みどり」、「けいせい」の6つの柱と、21の政策分野に整理しています。

それぞれの政策分野について「重要度」「満足度」「今後の方向性」「特に重要と思う取組み」の4つの設問についてお答えいただきます。

設問の構成、ご回答の方法は以下の通りです。

政策分野名と現計画の目標					
政策分野 3 学校教育					
子どもが学校・家庭・地域に学びながら「生きる力」を培って、未来に夢を描いている。					
政策分野の満足度 【該当番号に1つ○】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ○】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ○】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ○】	1. 児童・生徒の確かな学力の向上 2. 英語教育や国際理解教育の推進 3. デジタル教科書やタブレット端末等、ICT教育※の推進 4. 不登校やいじめ、心身の発達など、子育てに関する課題への支援体制の充実 5. 老朽化対策など、安全で快適な学校施設の整備				

※印部分は下に用語説明を掲載しています。

※ICT教育:情報通信技術(ICT)の利用・活用方法を教育の一環として取入れ、ICTを駆使した教育のことを指します。

設問は4つ

①「政策分野の満足度」

政策分野の内容についてお読みいただき、あなたが感じている政策分野の満足度(満足と感じている程度)を1つ選び、番号に○印をつけてください。

②「政策分野の重要度」

政策分野の内容についてお読みいただき、あなたが考える政策分野の重要度(重要と考える程度)を1つ選び、番号に○印をつけてください。

③「政策分野の今後の方向性」

政策分野を達成するために、現在の財政負担などをどのようにすべきか、選択肢から1つ選び、番号に○印をつけてください。

④「特に重要と思う取組み」

政策分野を達成するために市が進めている取組みを欄内に挙げています。この中から政策分野を達成する上で、あなたが最も重要と思う取組みを1つ選び、番号に○印をつけてください。



柱1『こども』（政策分野 1～4）

政策分野 1 産み育てる環境

安心して子どもを産み育てられる環境が充実し、すべての子どもがその子らしく健やかに育っている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 情報提供や相談・支援を行うための地域の子育て拠点の充実 2. 児童虐待の未然防止や早期発見のための体制強化 3. 妊娠・出産・乳幼児期の切れ目のない子育て支援体制の充実 4. 発達障がい児(者)への支援システムづくり 5. 子育て世帯の経済的負担の軽減				

政策分野 2 就学前教育・保育

就学前の子どもが、家庭や地域に守られ、良好な育ちと学びの環境で伸びやかに生活している。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 待機児童の解消を目指した保育環境の整備・充実 2. 夜間や休日、一時保育等の多様な保育サービスの提供 3. 病児・病後児保育サービスの充実 4. 幼児が小学校入学の変化に対応できるよう、保育所・幼稚園と小学校との連携				

政策分野 3 学校教育					
子どもが学校・家庭・地域に学びながら「生きる力」を培って、未来に夢を描いている。					
政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 児童・生徒の確かな学力の向上 2. 英語教育や国際理解教育の推進 3. デジタル教科書やタブレット端末等、ICT教育※の推進 4. 不登校やいじめ、心身の発達など、子育てに関する課題への支援体制の充実 5. 老朽化対策など、安全で快適な学校施設の整備				

※ICT教育:情報通信技術(ICT)の利用・活用方法を教育の一環として取入れたり、ICTを駆使した教育のことを指します。

政策分野 4 地域子育て支援					
子どもが地域社会の一員として尊重され、多様な体験機会に恵まれて、まちの将来を担う心と力を培っている。					
政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 放課後に家庭に代わり児童が過ごす、放課後児童クラブの充実 2. 放課後や週末などの子どもの活動拠点の充実(すくすく教室) 3. 地域住民と小中学校との連携強化により、学校教育を地域全体で支援する体制の充実 4. 地域の見守りや交流等、地域ぐるみでの青少年の健全育成の推進				



柱2『くらし』（政策分野 5～8）

政策分野 5 保健・医療

健康づくりの意識と行動が浸透し、限られた医療資源の適正利用が進んで、市民の健康寿命が延伸している。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 生活習慣病や介護状態の予防等のため、健康づくりの意識の向上 2. 予防のための健康診査やがん検診の受診体制の充実 3. 食生活と栄養についての知識の普及など、食育の推進 4. 地域医療（休日、夜間の救急医療体制など）の充実				

政策分野 6 高齢福祉・障がい福祉

介護が必要になっても、障がいがあっても、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らしている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 介護予防の取り組みや高齢者の健康や生きがいづくりの推進 2. 認知症の早期発見や進行抑制、地域での見守りを可能とする体制づくり 3. 老人福祉施設等の整備 4. 障がいのある人の社会参加の促進（外出支援や雇用・就労支援） 5. 障がい福祉支援者の人材育成と確保				

政策分野 7 地域福祉・生活の安定

地域での支えあい、助けあいと公助が連携し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 民生児童委員や民間団体等の活動への支援 2. 地域で支え合い、安心して生活できる環境の整備 3. 福祉や生活に関わる多様な問題に対応する相談体制の充実				

政策分野 8 社会保障

年金と医療・介護保険の制度が円滑に運用され、生活困窮の状態の人に適切な保護と自立支援が行われている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 生活保護に至る前段階での、生活困窮者の自立支援の充実 2. 生活保護受給者の自立と社会参加の促進 3. 年金や国保・介護・後期高齢者医療の各種制度の適正な運用				



柱3 『かがやき』（政策分野 9～11）

政策分野 9 地域活動・市民活動

地縁型・テーマ型の多様な市民活動の中で生まれるふれあいと交流、協働によって、まちが元気になっている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 自治会活動等への支援 2. 地域コミュニティ協議会等、校区単位の住民連携組織への支援 3. 市民参画協働のため、市民活動団体が活動しやすい環境づくりや拠点の充実				

政策分野 10 人権					
一人ひとりの人権が尊重される居心地のよいまちで、誰もがその人らしく、自らの個性と能力を発揮している。					
政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 人権教育・啓発の推進 2. 平和施策の推進 3. 男女平等・男女共同参画の推進 4. DV 被害をはじめとした様々な問題や悩みの相談体制の充実 5. 障がい者差別の解消や理解促進				

政策分野 11 生涯学習・文化・スポーツ					
誰もが学びの喜びに満ち、文化や歴史に親しみ、運動・スポーツを楽しむ機会が充実し、生活にうるおいと心身の健康を感じている。					
政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. サークル活動等の生涯学習の機会の創出や環境の充実 2. 図書館サービスの充実 3. 文化・芸術活動の機会確保や活動団体への支援 4. 史跡等の整備や歴史資料の保存・活用の推進 5. スポーツ環境の充実や施設の整備				



柱4『まち』（政策分野 12～15）

政策分野 12 市街地

自然環境、都市機能と住生活の調和が保たれたまちで、都心拠点の充実と市街地の魅力向上が展望できる。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 阪急長岡天神駅周辺などの中心市街地整備の推進 2. 住居・工業・商業の計画的な土地利用による、良好な住環境の推進 3. 駅を中心としたコンパクトで利便性の高いまちづくりの推進 4. 老朽化した公共施設の更新や集約化・複合化の推進				

政策分野 13 道路・交通

道路の整備や、交通のネットワーク化が進み、誰もが移動しやすいまちになっている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. バス路線の維持など、持続可能な公共交通の確保 2. 自転車の安全で快適な利用環境の整備 3. 通学路等、歩行者が安全・安心して利用できる道路空間の整備				

政策分野 14 産業

工業、商業、農林業がさらなる都市の魅力・活力をつくり、市内外からの観光が新たな交流を生み出している。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 新たな企業の誘致推進 2. 創業・起業支援(子育て中の女性やシニア世代等) 3. 地域の商工業者への支援や中小企業の育成 4. 観光誘客の促進 5. 農業振興や地産地消の推進				

政策分野 15 防災・安全

防災機能が強化されたまちで市民生活の安全が守られ、地域のつながりによる日常生活の安心が保たれている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 大雨に対する都市の防災機能の向上 2. 災害に関する情報伝達手段の整備 3. 避難所機能の向上 4. 防災訓練や地域の自主防災組織の強化 5. 災害時に一人で避難が難しい人の避難支援体制の整備 6. 地域の防犯活動への支援				



柱5『みどり』（政策分野 16～19）

政策分野 16 環境共生

市民・企業等との協働のもとで環境共生のまちがつくられ、西山の森林の美しさと生物多様性が保たれている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 西山の森林整備などの自然環境の保全 2. 市内の木竹資源の利活用推進 3. 大気・水質などの環境基準が守られた生活環境の保全 4. 学校や環境活動団体などによる環境教育の推進				

政策分野 17 水資源

安全でおいしい水が供給され、使用後もきれいな水として返し、公共の水域の水質を保全している。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 水資源の適切な利用や観測による地下水の保全 2. 安全で安心な水道水の安定供給 3. 老朽化した水道・下水道施設や設備の更新・維持管理				

政策分野 18 循環型社会

資源・エネルギーが効率よく循環する社会づくりが進んで、市民生活による環境への負荷が小さくなっている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 省エネ・再生可能エネルギー設備の情報提供や設置助成 2. 低炭素社会に向けた啓発や環境活動団体への支援 3. 食品ロス削減など、ごみ減量化に向けた取組みの推進 4. 分別によるリサイクルの推進				

政策分野 19 都市景観

西山から農地・住宅地につながる緑の流れなど、魅力的な都市の景観が協働のもとでつくられ、守られている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 長岡京市らしい良好な都市景観の保全 2. 西国街道の石畳など、歴史を感じさせる景観の形成 3. 市民が心地よく過ごせる公園の整備や改修 4. まち全体の緑地化を推進するための市民・団体への支援				



柱6 『けいえい』（政策分野 20～21）

政策分野 20 魅力発信

「住みたい 住みつづきたい 悠久の都 長岡京」としてまちのイメージが広く知られている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 長岡京市の魅力を発信するシティプロモーションの推進 2. ふるさと納税による市の魅力発信 3. ガラシャ祭による魅力発信				

政策分野 21 都市経営

挑戦する基礎自治体として、市民の信頼が厚く、対話に基づいた自律的で持続可能な行財政運営を行っている。

政策分野の満足度 【該当番号に1つ〇】	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
政策分野の重要度 【該当番号に1つ〇】	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要でない	5 重要でない
政策分野の今後の方向性 【該当番号に1つ〇】	1 拡充	2 やや拡充	3 維持	4 やや縮小	5 縮小
特に重要と思う取組み 【該当番号に1つ〇】	1. 持続可能な行財政運営のための行財政改革の推進 2. 市所有の土地や建物等(市有財産)の有効活用 3. 市政に関する情報の市民との共有と対話の場の確保				

4. 個別の政策に関しておうかがいします。

(1) 地域・団体活動への参加

問11 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。次から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 付き合いは全くしていない
2. あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない
3. 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている
4. お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる

問12 あなたの「人への信頼に関する考え方」についてお聞きします。
(ア)～(ウ)の項目について、自身の考え方に近いと思うレベルの数値を選んでください。

	全く 思わ ない						強く 思 う
ア 一般的に人は信頼できると思う	1	2	3	4	5	6	
イ 同じ地域に住む人を信頼している	1	2	3	4	5	6	
ウ 同じ地域の人が困っていたら手助けをする	1	2	3	4	5	6	

問13 あなたは、地域・団体活動へ参加されていますか。次から1つ選び、番号に○印をつけてください。

活動の種類	参加して いない	年に数回 程度	月に1回 程度	月に 2-3回 程度	週に 1-2回 程度	週に 3日以上
(回答例)自治会の活動	1	2	3	4	5	6
自治会の活動	1	2	3	4	5	6
地域コミュニティ協議会の活動	1	2	3	4	5	6
高齢者・障がい者の福祉活動	1	2	3	4	5	6
子育て支援活動	1	2	3	4	5	6
スポーツ・文化活動	1	2	3	4	5	6
環境活動	1	2	3	4	5	6
災害に関する活動	1	2	3	4	5	6
防災・防犯活動	1	2	3	4	5	6
国際協力活動	1	2	3	4	5	6
その他()	1	2	3	4	5	6

問14 地域・団体活動に「参加したくない」と思われたご経験はありますか。

- | | | |
|-------|--------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらともいえない | 3. ない |
|-------|--------------|-------|

問14-2 「ある」とお答えになった方は、どのような理由ですか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 役員などをやりたくない | 4. 興味がない |
| 2. 近所・人付き合いがわずらわしい | 5. 参加する方法が分からない |
| 3. 仕事が忙しい | 6. その他() |

(2) 市政への参加

問15 あなたは、長岡京市政に対して、意見をどのように反映させたいと思いますか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市の審議会や委員会などに委員として参加し、意見を述べたい | 6. 意見公募手続(パブリックコメント制度)を通じて、意見を述べたい |
| 2. 市民の自主的な集まりに参加し、意見を述べたい | 7. 市長への手紙などで意見を述べたい |
| 3. 陳情・請願を提出し、意見を述べたい | 8. アンケート調査があれば回答したい |
| 4. 市長・議員との懇談会などに参加し、意見を述べたい | 9. 市長・市役所や議員に任せる |
| 5. ワークショップなどがあれば参加したい | 10. 市政に意見を言うことに関心がない |
| | 11. その他() |

(3) 市政に関する情報

問16 市政に関する情報のうち、あなたが知りたい内容は何ですか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. 新しい制度や手続き | 7. 市内の自治会やNPO、ボランティア団体などの取組み |
| 2. 市の予算の内容や使われ方 | 8. 市の施設の内容や利用方法 |
| 3. 重点的な施策の内容 | 9. 審議会や協議会での議論 |
| 4. 将来構想の内容 | 10. 市の統計資料 |
| 5. 市内の行事や催しなどの情報 | 11. その他() |
| 6. 市内での出来事や歴史などの地域情報 | |

問17 あなたは、市政に関する情報をどのような手段で入手していますか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 市の広報紙 | 9. 市長と語る「対話のわ」や出前ミーティング |
| 2. 市のホームページ | 10. 自治会などの回覧板 |
| 3. フェイスブック | 11. 市の広報板 |
| 4. インスタグラム | 12. 新聞やTVなどのメディア |
| 5. ツイッター | 13. FMおとくに(コミュニティラジオ) |
| 6. 公共施設にある市民情報コーナー | 14. チラシやパンフレット |
| 7. 市役所への電話や窓口への訪問 | 15. 近所の人などからの口コミ |
| 8. 市民講座などの市の主催事業 | 16. その他() |

(4) 防災に関すること

問18 災害発生時又は発生しそうなときに、あなたは災害・防災に関する情報をどのような手段で入手していますか。よく使用する手段をすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. テレビ | 8. ツイッター |
| 2. FMおとくに(コミュニティラジオ) | 9. 市のホームページ |
| 3. ラジオ | 10. 電子メール(市防災情報お知らせメール) |
| 4. ウェブサイト | 11. 地域での連絡網や直接的な声掛け |
| 5. スマートフォンアプリ | 12. ハザードマップ等の冊子 |
| 6. フェイスブック | 13. その他() |
| 7. ライン | |

問19 どのような情報提供手段を充実すれば、あなたは災害・防災に関する情報を得やすくなりますか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. テレビ | 8. ツイッター |
| 2. FMおとくに(コミュニティラジオ) | 9. 市のホームページ |
| 3. ラジオ | 10. 電子メール(市防災情報お知らせメール) |
| 4. ウェブサイト | 11. 地域での連絡網や直接的な声掛け |
| 5. スマートフォンアプリ | 12. ハザードマップ等の冊子 |
| 6. フェイスブック | 13. その他() |
| 7. ライン | |

問 20 あなたの地区の自治会、自主防災会、コミュニティ協議会などが、防災についての活動を行っていることを知っていますか。知っている活動をすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 防災訓練 | 6. 活動を行っていない |
| 2. 防災に関する地域での話し合い | 7. いずれも組織されていない |
| 3. 地域での避難場所・経路の指定 | 8. わからない |
| 4. 地域の危険箇所の把握 | 9. その他() |
| 5. 高齢者、障がい者などの災害時要配慮者の把握 | |

問 21 あなたは過去5年以内に、防災訓練などに参加したことはありますか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 市の総合防災訓練(10月末) | 4. その他() |
| 2. 自治会など主催の防災訓練 | 5. どれも参加・体験したことがない |
| 3. 防災講演会や防災イベント | |

※ 5.を選択された方は問 21-2 へ、それ以外の方は問 22 へお進みください

問 21-2 5.を選択された方は、どのような理由ですか。次からあてはまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 訓練などがあることを知らなかった | 4. 興味がなかったから |
| 2. 他の予定があった | 5. その他() |
| 3. 訓練などの必要がないから | |

(5) 空き家に関すること

問 22 近隣の空き家が管理されておらず、周囲の迷惑になっている場合、あなたはどのような対応をとりますか。次からあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 所有者に直接連絡をとる | 5. 所有者が空き家を訪れたときに伝える |
| 2. 近隣に所有者の連絡先を聞く | 6. 何もしない |
| 3. 自治会長や民生児童委員に相談する | 7. その他() |
| 4. 市役所に相談する | |

問 22-2 持ち家(一戸建て・長屋建て)にお住まいの方にうかがいます。将来、持ち家をどうしていくか考えていますか。次からあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 考えていない | 4. 子や親族に任せる |
| 2. 自分で処分(売却・賃貸・解体)する | 5. その他() |
| 3. 子や親族間で事前に話し合う | |

(6) 行財政改革

問 23 行政サービスの維持や向上のために、市民の経済的な負担を増やさざるを得ないとき、どうすべきだと思いますか。次から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 市民の負担を大きく減らすべきであり、そのためなら行政サービスを大きく削減してもよい
2. 市民の負担を増やさないようにするべきであり、そのためなら行政サービスを削減してもよい
3. 行政サービスを維持するべきであり、そのためなら市民の負担が増えてもよい
4. 行政サービスをさらに向上させるべきであり、そのためなら市民の負担が大きく増えてもよい
5. わからない
6. その他()

問 24 今後、市のさらなる行財政改革として優先すべきものは何であると思いますか。次からあてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

1. 行政サービスの見直しや統廃合
2. 公共施設の統合や廃止
3. 広告収入、ふるさと納税など税外収入の確保
4. 職員数の適正化
5. NPO やボランティアなど市民と行政の役割分担の見直し
6. 窓口業務などへの民間委託の積極的な導入
7. 公共料金や使用料・手数料などの利用者負担の適正化
8. 各種団体・事業への補助金などの整理・統合
9. 公共工事の見直しや経費の削減
10. 情報提供・情報公開の推進
11. 情報通信技術を活用した申請手続きの効率化・迅速化
12. わからない
13. その他()

5. 最後に、市政に対するご要望、ご意見についておうかがいします。

問 25 市政に対するご意見やまちづくりに対するアイデアがございましたら、ご提案ください。
(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、無記名で **8 月 9 日(金)**までにお近くのポストに投函してください。(切手は不要です)



[illegible]

問3 貴団体の活動を通じ、長岡京市の現状についてどのように感じられていますか。

問4 貴団体の活動にあたっての問題点・課題と対応策はどのようなものですか。

問5 貴団体の活動に関連し、今後、市に期待する取組みや、市と協力して進めたい取組みはありますか。

問6 地域や団体の活動が活発化するには、どのようなことが大切とお考えですか。

問7 これからの長岡京市のまちづくりについてご意見をご記入ください。

ご協力ありがとうございます。

(3) 自治会アンケート調査

自治会活動に関するアンケート

■ アンケート概要

(1) 目的

市内自治会の現状や課題を把握し、今後の自治会長会、各自治会、市の自治会活性化施策に活かすことを目的とする。

また、自治会活動の活動状況や課題、まちづくりに対する評価や意見等の一部内容については、まちづくりの指針である長岡京市第4次総合計画第2期基本計画の策定(令和2年度予定)にも活用する。⇒『※』の設問

(2) 期間

【配布時期】7月自治会長会定例会

【提出期限】8月末

【提出方法】郵送(返信用封筒有り)・持参・FAX・メール

FAX:075-951-5410 メール: jichishinkou@city.nagaokakyo.lg.jp

様式ダウンロード: <http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000008972.html>

【参考】市役所ホームページから「自治会長アンケート」と検索

■ 調査内容

(1) 自治会長について

1-① ご職業

☐会社員 ☐公務員 ☐自営 ☐無職 ☐その他()

1-② 現在、働きながら自治会長をされている方にお伺いします。

苦労されている点や工夫されている点等ありましたらをお教え下さい。

2-① 会長の任期

☐1年 ☐2年 ☐3年 ☐4年 ☐5年以上

2-② 会長の在職年数

☐1年目 ☐2年目 ☐3年目 ☐4年目 ☐5年目以上 ☐10年目以上

2-③ 任期が1年の自治会長様にお伺いします。

任期を複数年にすることはできますか? ☐できる ☐できない

2-④『できない』と回答された方にお伺いします。

- ☐ 1年でないといけないの確保が難しい ☐ 過去から1年になっているため
☐ その他（ ）

2-⑤ 在任1年目の自治会長様にお伺いします。

1年目の会長様は所属自治会の内容把握に加えて、行政関係の手続き等を把握する必要があり、1年目の会長様は特にご苦労が多いと存じます。そこで、年度当初に経験年数の長い自治会長様から自治会活動のポイントの説明や行政から年間スケジュール等の勉強会をご希望されますか？

- ☐ 希望する ☐ 希望しない ☐ どちらでも良い

3 会長の選出方法

- ☐ 投票制（総会で選出） ☐ 輪番制（当番制） ☐ 推薦制（合議制）
☐ 互選（役員会等で選任） ☐ その他（ ）

（2）自治会活動について

1 自治会活動に月に何日ぐらい従事していますか？（行政との調整等含む）
（ ）日

自治会加入促進の取組みについて

2-① 転入者への勧誘はどなたが行っていますか？

- ☐ 会長 ☐ 役員 ☐ 班長（組長） ☐ 特に決めていない ☐ その他（ ）

2-② どのような方法で勧誘していますか？

- ☐ 訪問 ☐ 勧誘チラシをポストに投函 ☐ イベント時に勧誘チラシを配布
☐ その他（ ）

2-③ 未加入世帯について、加入しない理由は何だと思えますか？（複数可）

- ☐ 近所づきあいがわずらわしい ☐ 加入しなくても困らない
☐ 自治会活動に関心がない ☐ 役員になりたくない
☐ 会費を払いたくない ☐ 高齢のため活動に参加できない
☐ 短期の居住のため加入の必要性を感じない
☐ その他（ ）

2-④ 途中退会される世帯について、その理由は何だと思いますか？（複数可）

- ☐近所づきあいがわずらわしい ☐加入しなくても困らない
☐自治会活動に関心がない ☐役員になりたくない
☐会費を払いたくない ☐高齢のため活動に参加できない
☐施設に入居するため
☐その他（ ）

3 活動情報をどのように発信していますか？（あてはまるものすべて）

- ☐独自の広報誌を作成 ☐会合時に報告
☐独自のホームページを作成 ☐回覧による情報提供
☐自治会館に情報掲示 ☐掲示板に情報掲示
☐その他（ ）

4-① 自治会活動を行っていくうえで、現状と特に課題となっていることは何ですか？（3つ以内）

- ☐役員のなり手が不足している ☐役員が高齢化している
☐役員の負担が重い ☐未加入世帯が増加している
☐会員が高齢化している ☐活動費が不足している
☐行事がマンネリ化している ☐市から依頼事項が多い
☐特定の会員しか運営・行事に参加しない
☐新旧住民や世代間の交流が難しい
☐地域住民の活動に対する関心が低下している
☐プライバシー保護のため実態がつかみきれず相互扶助活動に支障が出ている

4-② その対応策はどのようなものですか。『※』

5 自治会の活動に関連し、今後、市に期待する取組みや、市と協力して進めたい取組みはありますか。『※』

6 地域や団体の活動(自治会以外も含む)が活発化するには、どのようなことが大切とお考えですか。『※』

7 これからの長岡京市のまちづくりについてご意見をご記入ください。『※』

(3) 自治会長会について

自治会長会定例会について

1-① 会議の回数(年6回)について

☐ 適当である ☐ 多い ☐ 少ない ☐ その他()

1-② 会議開始時間について

☐ 適当である ☐ 変更を希望する ⇒ ☐ 夜 ☐ 朝 ☐ その他()

1-③ 会議にかかる時間について

☐ 適当である ☐ 長い ☐ 短い ☐ その他()

1-④ 会議の内容・進め方について

☐ 現状のままで良い ☐ 意見交換の時間を増やす
☐ その他

【現状】①市政協力委員案件において行政からポスター・回覧等の依頼について説明し、その後、②自治会長会案件、③テーマを決めた学習会・意見交換会を実施しています。①②で1時間15分程度、③学習会で45分程度で実施することが多いです。

自治会長会役員会について（現役員及び役員経験者のみ回答）

2-① 会議の回数（年12回）について

☐ 適当である ☐ 多い ☐ 少ない ☐ その他（ ）

2-② 会議開始時間について

☐ 適当である ☐ 変更を希望する ⇒ ☐ 夜 ☐ 朝 ☐ その他（ ）

2-③ 会議にかかる時間について

☐ 適当である ☐ 長い ☐ 短い ☐ その他（ ）

2-④ 会議の内容・進め方について

☐ 現状のままで良い ☐ 意見交換の時間を増やす

☐ その他（下に記載下さい）

（4）その他

自由記載欄

自治会について

自治会名	
自治会活動年数	☐ 1年未満 ☐ 1年以上～5年未満 ☐ 5年以上～10年未満 ☐ 10年以上～20年未満 ☐ 20年以上・不明
会員数	人

長岡京市まちづくりのための市民・地域活動団体アンケート調査
報告書

発 行 日：令和元（2019）年 12 月

編集・発行：長岡京市総合政策部総合計画推進課

〒617-8501 長岡京市開田一丁目 1 番 1 号

電話／075（951）2121 Fax／075（951）5410